

ラレタル事實ヲ熟慮セル者ハ何人ト雖委員ノ意見ニ同セザル  
 テ得サル可シ而テ余ハ銀行ヲ專業トセル證報者即愛爾蘭銀行  
 取締役及其他委員ノ諮問ヲ受ケタル銀行者ガ己レノ事業ヲ支  
 配シ己レノ遵守シテ以テ其政略ヲ定メザル可カラザル所ノ原  
 理ヲ毫モ會得セザリシコニ注目セザルヲ得ズ反テ真正ノ原理  
 ハ銀行者以外ノ證報者ノミ明ニ之ヲ會得シテ委員ニ陳示シ而  
 テ委員ヲ組成セル政治家ノ採テ以テ確立スル所トナレリ左レ  
 ハ余輩ハ銀行者ガ得意者ノ憤怒ヲ招キ己レノ職業及利潤ヲ失  
 ハンコヲ恐レテ爲メニ幾分カ其思想ヲ感亂セラレタル者ト想  
 像シテ可ナラン  
 抑各國互ニ貨幣ヲ異ニスル間ハ仕拂ヲ爲ス可キ共同普通ノ媒  
 介物ナクシテ勢ヒ爲替ノ方便ニ依ラザル可カラザルコト明ナル  
 ガ故ニ委員ハ強ク左ノ策ヲ主張セリ曰現川貨幣ト勸定上ノ名

稱トハ之ヲ一ニセザル可カラズ而テ愛爾蘭銀行紙幣ハ英蘭銀  
 行紙幣ヲ以テ兌換ス可キ者ト爲サバル可カラズ又愛爾蘭銀行  
 ハ此目的ノ爲メニ倫敦ニ資金ヲ設ケ置キ凡テ其手形ハ期日拂  
 ノ者ト爲サバル可カラズ此策ハ曩キニ蘇格蘭ニ關シテ施セシ  
 ニ爲メニ蘇格蘭ノ爲替ヲ平均點ニ回復シ一千七百六十三年後  
 ハ政治上及商業上ノ激騒凶慌アルニ拘ラズ常ニ之ヲ平均點ニ  
 維持スルノ結果ヲ生シタリト  
 委員ノ此報告書出デタリト雖多年後ニ至ルマデハ爲メニ議院  
 ニ於テ討論ヲ起サバリシニ似タリ一千八百九年ニ至リバルコ  
 ル氏ハ委員ノ勸告ニ從ヒ英蘭及愛爾蘭ノ貨幣ヲ一ニス可シト  
 ノ議ヲ出セシニ此議ハ起立ヲ取ルニ及ハズシテ否決セラレタ  
 リ又報告書ハ一千八百二十六年マデハ公衆ノ爲メニ出版セラ  
 レザリシト雖愛爾蘭銀行ニハ回附セラレ爲メニ該銀行ノ政略

ニ多少ノ影響ヲ生ゼシ者ノ如シ蓋フスター氏ハ議院ニ於テ言  
 フテ曰一千八百四年五月六月七月ニ於テ取締役ハ其紙幣ヲ三  
 百萬磅ヨリ二百五十萬磅ニ減少シ而テ爲替相場騰貴セリ然ル  
 ニ八月ニ至リ再ヒ其紙幣ヲ増加シ而テ爲替相場亦再ヒ下落セ  
 リト出納局長アッドイングトン氏ハ紙幣下落ノ爲メニ爲替相場ノ  
 上ニ實ノ影響ヲ及ホス者ト論スルガ如キハ言語ノ誤用ニ出ル  
 者ナリト公言セリ氏謂ヘラク紙幣ノ過發ハ其下落ヲ起スア  
 ラント雖各國互ニ異ナルノ流通媒介物ヲ有スルガ故ニ其何レ  
 ガ下落スルモ唯爲替相場ノ上ニ名ノミノ影響ヲ及ブスニ過ヤ  
 ズト然レモアッドイングトン氏ハ仕拂ヲ爲スニ愛爾蘭銀行紙幣ヲ  
 以テシ爲替相場ハ其紙幣ヲ以テ算セラレシコトヲ全ク忘却セル  
 者ナリ若シ夫レ仕拂ヲ爲スニ十分ノ量目アル銀貨ヲ以テセシ  
 ナラフニハ爲替ハ紙幣下落ノ爲メニ攪擾セラレザルコト實ニ然

リシナラン然レモ爲替相場ナル者ハ現ニ爲替ノ仕拂ニ充ツ可  
 キ媒介物ノ如何ニ因ル者ニシテ此媒介物ダニ下落セバ爲替ノ  
 仕拂ニ用ヒラレサル他ノ貨幣ハ假令如何ナル有様ナルニ拘ラ  
 ズ爲替相場ハ必ス不利ナラザルヲ得ザルナリ夫ノ一千六百九  
 十六年ニ於テ銀貨ノ改良セラル、ニ及ビ假令英蘭銀行紙幣ハ  
 爾後尙ホ久シク下落セシト雖爲替相場ハ直チニ回復セシテ見  
 ルトハ吾人此事ノ最モ明ナル實例ヲ有スルナリフョツクス氏ハ  
 大ニ満足ノ狀ヲ表シ言テ曰余ハ出納局長ガ紙幣ノ過發ハ其下  
 落ヲ起スコアル可キナ許セシヲ聽キ大ニ喜ブナリ本院ハ夫ノ  
 紙幣ノ下落ニ非スシテ金貨ノ騰貴ナリト云フ如キ妄説ヲ決シ  
 テ再ヒ聞クコアラザル可シト蓋氏ノ斯ク喜ヘルハ早キニ失セ  
 ル者ナリ何トナレバ氏ニシテ僅ニ六年後ノ將來ヲ前見シ得タ  
 ラフニハ此妄説ノ單ニ再發スル耳ナラズ從前ヨリモ一層ノ頑

固執拗ヲ以テ主張セラル、イナ悟リシナル可ケレバナリ  
 議院ノ委員ガ銀行紙幣ノ發行ハ外國爲替ノ有様ニ徴シテ序理  
 セラレザル可カラズトノ主義ヲ初メテ唱ヘシ時ノ景況ハ以上  
 述ブル所ノ如シ此時ノ委員ハ説ヲ異ニシ黨ヲ異ニセル諸大政  
 治家ヲ殆ド凡テ網羅セル者ナリ蓋當時ニ在テハ委員會ノ決議  
 ニ於テ賛成者及反對者ノ名簿ヲ公刊セザルノ習慣ナリシヲ以  
 テ余輩ハ委員ガ悉ク其意見ヲ同フセシヤ否ヤヲ知ルニ由ナシ  
 ト雖其報告書ノ語氣強クシテ斷乎タルヲ見レバ委員ノ意見モ  
 亦強クシテ斷乎ナリシヲ推決シテ可ナル可ク又假令少數黨  
 ノ多數黨ノ決議ニ反對セル者アリシトスルモ其甚微弱ナリシ  
 イナ推決シテ可ナル可シ  
 余輩ハ之ニ次ク數年間ニ於テハ多ク論ス可キ者ナシ一千八百  
 四年ニ於テ銀貨ノ匱乏極メテ甚シカリシヲ以テ英蘭銀行ハ其

缺ヲ補ハンガ爲メニ五志ノ弗銀貨ヲ發行シ其流通セシメタル  
 額一百四十一萬九千四百八十一枚ニ及ベリ一千八百六年ニ於  
 テ英蘭銀行ガ一千八百年ノ條例繼續ヲ得ルノ代償トシテ政府  
 ニ貸セシ貸付金其期限ニ達セリト雖該銀行ハ年三分ノ利息ヲ  
 以テ平和條約ノ批准後六ヶ月マテ其償還ヲ延期スルヲ諾セリ  
 一千八百七年ニ於テ議院ハ政費ノ各科目就中英蘭銀行ニ爲シ  
 タル仕拂ヲ調査セシメンガ爲メニ委員ヲ任シタリ而シテ委員  
 ノ第二報告書中ニ英蘭銀行ト政府トノ關係ニ就テ興味アル事  
 實ヲ記セルヲ見ルナリ  
 此時ニ當リ英國ノ貨幣ニ大攪擾ヲ生ズ可キ政治上ノ事情起レ  
 リ余請フ簡短ニ其要ヲ摘載セシ一千八百五十年前十年間普國ハ  
 獨リ自カラ信シテ以爲ヘラク昂然局外ニ立ツキハ暴風ヲ避ケ  
 得可ク而テ佛國及壤國ガ互ニ無謀必死ノ戰爭ニ從事スルニ乘

固執拗チ以テ主張セラル、トチ悟リシナル可ケレバナリ  
 議院ノ委員ガ銀行紙幣ノ發行ハ外國爲替ノ有様ニ徴シテ序理  
 セラレザル可カラズトノ主義チ初メテ唱ヘシ時ノ景況ハ以上  
 述ブル所ノ如シ此時ノ委員ハ説チ異ニシ黨チ異ニセル諸大政  
 治家チ殆ド凡テ網羅セル者ナリ蓋當時ニ在テハ委員會ノ決議  
 ニ於テ賛成者及反對者ノ名簿チ公刊セザルノ習慣ナリシチ以  
 テ余輩ハ委員ガ悉ク其意見ヲ同フセシヤ否ヤチ知ルニ由ナシ  
 ト雖其報告書ノ語氣強クシテ斷乎タルヲ見レバ委員ノ意見モ  
 亦強クシテ斷乎タリシトチ推決シテ可ナル可ク又假令少數黨  
 ノ多數黨ノ決議ニ反對セル者アリシトスルモ其甚微弱ナリシ  
 トチ推決シテ可ナル可シ  
 余輩ハ之ニ次ク數年間ニ於テハ多ク論ス可キ者ナシ一千八百  
 四年ニ於テ銀貨ノ匱乏極メテ甚シカリシチ以テ英蘭銀行ハ其

缺チ補ハンガ爲メニ五志ノ弗銀貨チ發行シ其流通セシメタル  
 額一百四十一萬九千四百八十一枚ニ及ベリ一千八百六年ニ於  
 テ英蘭銀行ガ一千八百年ノ條例繼續チ得ルノ代償トシテ政府  
 ニ貸セシ貸付金其期限ニ達セリト雖該銀行ハ年三分ノ利息チ  
 以テ平和條約ノ批准後六ヶ月マデ其償還チ延期スルチ諾セリ  
 一千八百七年ニ於テ議院ハ政費ノ各科目就中英蘭銀行ニ爲シ  
 タル仕拂チ調査セシメンガ爲メニ委員チ任シタリ而シテ委員  
 ノ第二報告書中ニ英蘭銀行ト政府トノ關係ニ就テ興味アル事  
 實チ記セルチ見ルナリ  
 此時ニ當リ英國ノ貨幣ニ大攪擾チ生ズ可キ政治上ノ事情起レ  
 リ余請フ簡短ニ其要チ摘載セシ一千八百五年前十年間普國ハ  
 獨リ自カラ信シテ以爲ヘラク昂然局外ニ立ツキハ暴風チ避ケ  
 得可ク而テ佛國及壤國ガ互ニ無謀必死ノ戰爭ニ從事スルニ乘

シテ己レハ靜カニ日耳曼ノ北部ニ其領地ヲ廣メ其權勢ヲ加ヘ以テ利スルヲ得可シト而テ此時ニ至ルマデハ普國ノ政略ハ驚ク可キ功ヲ奏シタリキ然ルニ忽焉此期望ハ消滅シ去リ斯カル曖昧タル政略ハ既ニ不而目トナリシ耳ナラズ又到底大ニ危險アルコトハ普國ノ宰相ト雖又之ヲ悟ルニ至レリ普國ハ各國ノ爲メニ賤蔑セラル、所トナリシコト曩キニクリミヤ戰爭ノ時ニ該國ガ同一ノ政略ヲ執リシガ爲メニ賤蔑セラレタルガ如クナリケレバ最早該國ト雖流石ニ之ニ堪ユル能ハサルニ至レリ而テ此時恰モ露帝アレキサンドルノベルリンニ着スルニ會シ帝ノ力ニ因リ歐州ニ於ケル佛國ノ權勢ヲ挫折センガ爲メニ露普二國ノ間ニ秘密條約成リ十一月三日ヲ以テ調印セラレタリ此條約ニ於テ普國ハ先ツナポレチンニ向テ或ル要求ヲ爲シ若シ彼レノ之ヲ諾セザルニ於テハ十二月十五日ヲ以テ彼レニ對シテ

開戰ヲ宣告ス可キ旨ヲ約シ而テ普王ハ最モ嚴正ナル誓ヲ行ヒ此ノ約ヲ履行ス可キ旨ヲ證セリ是ニ於テ乎普國宰相ハ大ニ躊躇セシ後チ遂ニ二十八日ヲ以テ佛帝ノ本陣ニ赴ケリ此時ナポレチンハオーステライツノ戰爭ノ準備ヲ爲シ練兵ヲ行ヒ居シト雖普相ホーグウツツノ來リシ理由ヲ能ク察セシヲ以テ暫ク之ニ接見スルヲ避ケンガ爲メニ彼レヲシテウインナニ赴カシメタリ而テ十二月二日ナポレチンハオーステライツノ大戰爭ヲ以テ露帝及壤帝ノ目前ニ於テ大ニ露壤ノ兵ヲ破リシニ驚ク可キ哉普相ハ直ニナポレチンノ許ニ馳セテ此勝利ヲ祝賀シ且ナポレチント同盟ノ條約ヲ結ヒ此條約ニ因テ普國ハ其同盟者タル英王ガ歐州大陸ニ有スル領地ヲ攻取センコト申出ダセリ而テ遂ニナポレチントノ此條約ハ十二月十五日ヲ以テ調印セラレタリ蓋此日ヤ曩キニ普國ガ露帝ト結ビタル條約ニ從ヘ

ハナポレテンニ對シテ開戦ヲ宣告セザル可カラザルノ日タルナリ翌年三月ニ至リ普國ハナポレテンノ強迫ヲ受ケ英國商品ノ普領各港ニ入ルヲ禁スル令ヲ發シ斯クシテ英國ニ穀物ノ供給ヲ得ル重モナル泉源ヲ遮斷セリ

普國ハ一千八百五年ニ於テ此ノ如ク不廉恥及不信實ヲ極メタル處置ニ出テシカバ速ニ其復讐ヲ蒙ラザルヲ得ザリキナポレテンハホーグウイツツノ來リシ理由ヲ十分ニ能ク知レリナポレテン曰汝ハ汝ノ君主ヨリ托セラレタル勝利ノ賀狀ヲ示サンガ爲メニ來レリ然レモ機運變ヒシガ爲メニ其賀狀ノ宛名ヲ變ゼリト而テナポレテンハ普國ノ爲メニ世ノ賤蔑ヲ買フノ結果アル一政略ヲ施シ英國ト普國トノ間ニ不和ヲ煽起スルヲニ熱心セシト雖而カモ此時ヨリシテ苟モ機來ラハ乘シテ以テ普國ヲ破ラントノ決心ハ瞬時モ止ムキナカリシ也普國トノ條約調印

セラレシ以來ハ彼レ常ニ普國ヲ憎ミシ耳ナラズ最モ強ク之ヲ賤蔑セリ左レバ彼レハ無限ノ驕傲ヲ以テ之ヲ遇シ而テ不信實ナル普國ハ屢非常ノ凌辱ヲ受ケシ後チナポレテンガハノーヴヰルチ其正當ナル君主ニ復センヲ竊カニ英國ト商議セルヲ發見シテ大ニ驚ケリ此時ニ當リ佛國、英國、露國ノ間ニ平和ノ商議久シク行ハレシト雖モ其功ヲ奏セザリキ而テ普國ノ醜名日一日ト愈著シキヲ加ヘケレバ人民ノ沸騰亦愈甚シキヲ加ヘ遂ニ政府ハ輕躁、急劇、無謀ヲ極ハメ前回ノ不信實ナル處置ノ外ハ其愚之ニ超ユルナキノ一處置ニ出テタリ即日耳曼ヲ立去ル可シトノ驕傲ナル命令ヲ突然チナポレテンニ送レリ而テ此狂妄不禮ナル命令ハ十月一日ヲ以テ巴里ニ達セシガ此時チナポレテンハベルリンニ赴カントシテ既ニ其途ニアリキ而テ十四日ニ至リ普國ハジュナ及オーエルステッドノ二戰爭ニ於テチナポレテン

ノ爲メニ破ラレタリ蓋該國ノ茲ニ至ルハ然ル可キノ理アリト云フ可シ戰爭後ナポレオンハフレデリッキ、ゼ、グレイトノ墳墓ニ參拜セシガ此日ヤ恰モ前年普王ガ此場所ニ於テ最モ嚴正ナル誓ヲ行ヒ條約ヲ履行ス可キ旨ヲ露帝アレキサンドルニ證シタル日ノ一週年期ナリキ

ナポレオンガベルリンニ着スルヤ直ニ十一月廿一日ヲ以テベルリン布告ヲ發シ以テ英國ノ商業ヲ禁シタリ是ニ於テ乎英國樞密院ニ於テモ直ニ佛國ノ商業ヲ禁スル令ヲ出シテ以テ復讐ノ處置ニ出デタリ而テ一千八百七年間ハ英佛二國互ニ粗暴、殘忍、愚妄、不法ヲ以テ他ニ先ンゼラレザラシテ是レ競ヒ種々ノ令ヲ出ダセリ然レ此事ノ結果タルヤ獨リ瑞典ヲ除クノ外ハ悉ク歐洲大陸ノ各港ヨリ英國々旗ヲ逐除スルニアリキ抑此等ノ軍略タルヤ公然英國ノ商業ヲ破壞スルヲ以テ其目的トスル所ニ

シテ之ガ爲メニ英國ニ於テハ商品ノ供給乏シキヲ告ゲ世人ハ我製造ノ材料ニ充ツ可キ歐洲産ノ各物品ハ其供給ナキニ至ラシトテ恐レタリ左レハ此等ノ物品ニ關シテ無限ノ投機取引行ハレタルハ自然ノ勢ニシテ此投機取引ノ爲メニ露國及歐洲東方ノ物品ノ直段大ニ騰貴シ通常ニ一倍若クハ二倍スルニ至レリ而テ此時西班牙ハ佛國ノ爲メニ占領セラレ、所トナリシテ以テ西班牙ノ羊毛ニ關シテモ同様ノ投機取引行ハレ其直段二倍若クハ三倍ノ騰貴ヲ呈セリ又佛國ハ伊太利ニ於テモ最上權ヲ有セルガ故ニ伊太利ノ諸物品就中生糸ノ如キモ同様ニ騰貴セリ又我政略ハ他ノ點ニ於テモ之ニ讓ラザル有害ノ結果ヲ生シタリ蓋我樞密院ガ復讐ノ爲メニ出ダシタル諸令ハ大ニ中立國ノ權利ヲ侵スノ効アリシカバ爲メニ米國トノ戰爭目前ニ迫リ煙草綿花ノ如キ同國ノ産物ニ關シテモ投機取引行ハレテ其

直段大ニ騰貴セリ  
 供給減少ス可シトノ豫期ヨリシテ此等ノ物品ニ關シ投機取引  
 ナ起シタルニ際シ更ニ性質之ニ反スル事情起リテ商業通常ノ  
 順路ヲ一層攪擾セリ蓋佛軍ノ西班牙及葡萄牙ニ侵入セシガ爲  
 メニ此二國ガ其殖民地ニ對スル權力地ニ墜チ南米大陸ハ此時  
 ヨリシテ實際獨立トナレリ從前ニ在テハ此等殖民地ハ英國ノ  
 商業ニ對シテ嚴ニ閉鎖セラレシナリ然ルニ一千八百七年十一  
 月十三日ナポレオンハ「ブラガンザ」家チ葡萄牙ノ王位ヨリ廢  
 止スルノ令ヲ出ダシズ「ハリスボン」ヲ攻取シ王族ハ直ニ  
 「ブラズイル」ニ逃レンガ爲メニ乗船セリ即此等ノ事件ノ爲メニ南  
 米大陸ノ商業英國ニ對シテ開カレ而テ英國ハ新クニ斯カル廣  
 大無邊ノ市場ヲ得タルガ爲メニ商人ノ投機商業ヲ行フニ甚シ  
 ク澎漲セリ是ニ於テ平投機ノ狂亂全國人民ノ心ヲ奪テ商業上

ヨリ更ニ進ンテ合本會社ニ及ボシ一千七百二十年ノ狂亂玆ニ  
 再演セラレタリ堀割、橋梁、保險、酒造其他種々ノ事ニ關シテ數多  
 ノ合本會社勃然トシテ起リ之ト同時ニ英國銀行ハ遙ニ尋常組  
 暴ノ境域ヲ越ヘテ投機ノ氣焰ヲ獎勵セリ地金調査委員ノ諮問  
 ニ應シテ陳示セルフランシス、ペーリリング氏ノ說ニ據レバ兌換  
 停止以來百磅ノ資産ヲモ有セザル書記吏ガ商人トシテ起リ五  
 千磅乃至一萬磅ノ割引ヲ許サレタル者甚多シト云フ而テ此割  
 引ノ需要ハ英國銀行之ヲ起セシ者ニシテ正當ノ商業ニ因テ起  
 リシ者ニ非ザレバ若シ兌換停止ニシテ除カル、モハ決シテ起  
 ル能ハザリシ所ナリト云フ左レハ英國銀行ノ割引セル手形ハ  
 一千七百九十五年ニハ二百九十四萬六千五百磅ナリシニ一千  
 八百九年ニハ一千五百四十七萬五千七百磅トナリ一千八百十  
 年ニハ二千零々七萬零六百磅トナレリ



此過度ノ投機取引行ハル、ト同時ニ各地方ニ於テ無數ノ地方銀行起リ恰モ一千七百九十三年前ノ狀ニ同シク其紙幣ヲ以テ國內ニ充溢セシメタリ是レ蓋一部ハ投機取引ノ結果タリ一部ハ之ガ原因タル者ナリ左レバ地方銀行ノ數ハ一千七百九十七年ニハ二百七十ニ減セラレタリト雖一千八百八年ニハ六百トナリ一千八百十年地金調査委員ノ任セラレシキニハ七百二十一ニマデ増加セリ此等銀行ガ流通セシメタル紙幣ノ額ハ三千萬磅ナリト算セラレタリ之ト同時ニ英蘭銀行ハ其紙幣發行ヲ二千一百萬磅ニ増加セリ而テ最モ敬重ス可キ諸證報者ノ説ニ據レバ此額ハ遙ニ國內正統ノ需要ニ超ユル者ナリト云ヘリ此非常ノ投機取引及紙幣増發ト共ニ地金直段速ニ騰貴シ爲替相場速ニ下落シ一千八百四年ニ愛爾蘭ニ起リタルト同一ノ兆候ヲ現ハセリ左ノ一表以テ地金ノ騰貴及外國爲替ノ下落ヲ示

スニ足ル可シ

造幣金直段

銀直段

ハムホルグニ對スル爲替

年	造幣金直段 (磅志片)	銀直段 (志片)	ハムホルグニ對スル爲替 (志片)
一八〇五年一月	四、〇、〇	五、四	三五、六
一八〇五年十月	四、〇、〇	五、五	三三、九
一八〇八年七月	四、一〇、〇	五、三	三四、九
一八〇九年二月	四、一〇、〇	五、三	三一、〇
一八〇九年五月	四、一、〇	五、五	二九、六
一八〇十年一月	四、一、〇	五、七	二八、六

事情此ノ如クナルニ當リ一千八百十年二月一日ヲ以テホル子ル氏ハ貨幣及爲替ニ關スル種々ノ事實ヲ調査セシムルノ議ヲ起セリベトリング氏ノ説ニ據レバ當時「ギニ」金貨ノ相場ハ二十六志乃至二十七志ナリシト云フ而テ此時夫ノ地金調査委員任セラレタリ

此有名ナル地金調査委員ノ報告書及委員ニ供セラレタル證報ヲ觀察スルニ先チ余輩ハ一言ス可キ者アリ即二若クハ二以上ノ人若クハ事件相合シテ一結果ヲ生シ其中一人若クハ一事件ノ就中著明ナル者アルキハ他ノ人若クハ事件ハ歲月ヲ經ルニ從ヒ忘却セラレ其事ノ褒貶毀譽ハ最モ世人ノ眼ヲ引キタル一人若クハ一事件ニ全ク歸セラル、ニ至ルト是レニシテ此事ヤ實ニ屢起ル所ナリ而テ今論スル場合ニ於テモ亦此事起レリ蓋一千八百十年ノ地金報告書ハ種々ノ事情ヨリシテ最モ世人ノ注意ヲ引ク所トナリ之ガ爲メニ一千八百四年ノ愛爾蘭貨幣ニ關スル報告書ハ全ク覆ハレテ其影後ニ沒セリ而テ該報告書ハ最モ速ニ世ノ忘ル、所トナリシト見ヘ一千八百十年ニ於テ英蘭銀行ノ取締役ハ殆ト毫モ之ヲ知ラザリシ程ナリキ然レモ一千八百四年ノ委員ガ調査セシ愛爾蘭貨幣混亂ノ狀ハ一千八百

十年ニ於テ地金調査委員ヲ任セシムルニ至リタル英蘭貨幣混亂ノ狀ト精密ニ同シカリシナリ而テ銀行ヲ專業トセル證報者ハ此二ノ場合ニ於テ同一ノ説ヲ陳示シ固執セリ又委員報告書ノ趣意ハ此二ノ場合ニ於テ全ク相同シカリキ即何レノ場合ニ於テモ最モ痛ク銀行取締役ノ主義政略ヲ非難セリ一千八百十年ノ委員ノ報告書ハ論体一層能ク整ヒ學理上ノ法則ニ合ヘリ故ニ文學上ヨリ之ヲ觀察スレバ優レル者アリト雖而カモ其探リテ以テ主張セシ所ノ原理ニ至テハ一千八百四年ノ委員ノ探リシ原理ニ全ク同シカリシナリ此二委員ハ紙幣兌換停止ノ際ニ在テ銀行紙幣ノ發行ヲ支配ス可キ原理如何ノ問題ニ關シ時代ヲ異ニシテ同一ノ決論ニ達セシ者タルバ此二委員ヲ組成セル政治家ノ名ヲ比較スルハ興味アルコトタル可シ即一千八百十年ノ委員ハホルチル氏、スベンセ

ル、ベルシヅアル氏、トールチー氏、アムプル公、ブランド氏、パルチル氏、マゼンス氏、ジョンストン氏、ギッデー氏、ドイツキンソン氏、ソルントン氏、シェリダン氏、ベリンダ氏、マンニング氏、シャープ氏、グレンフォール氏、フオスター氏、タムソン氏、イルヴィング氏、ハスキソン氏、アベルクロムビー氏ヨリ成レリ而テ之チ一千八百四年ノ委員ニ比較スルニ共ニ此二委員中ニ入リシ者ハシェリダン氏及フオスター氏ノ二人アルノミ

又委員ノ諮問ヲ受ケタル證報者ノ種類モ相同シカリキ第一銀行取締役、第二私立銀行者、第三普通商人、第四局外證報者即是ナリ而テ此各種證報者ノ證報ヲ讀ムニ余輩ハ英蘭銀行取締役及商人ノ説ハ愛爾蘭銀行取締役ノ説ニ全ク同シキヲ見ル也二銀行ノ取締役ハ齊シク銀行紙幣下落セリトノ説ヲ固ク拒ミ正貨騰貴セリトノ説ヲ主張セリ又正貨ヲ以テ紙幣ヲ兌換セザル

可カラザル時ニ在テハ外國爲替及地金相場ニ徴シテ紙幣發行ヲ序理セザル可カラザリシヲ許シ兌換停止後ハ復タ從來ノ此規則ヲ遵守セザリシヲ許シ又之ヲ遵守スルノ必要ヲ拒ミシガ如キモ二銀行ノ取締役全ク同一轍ニ出デタリ又二銀行取締役ハ齊シク其紙幣發行ガ爲替ノ上ニ影響ヲ及ボセシヲ拒ミ假令其紙幣發行ヲ制限スルモ爲替ヲ平均點ニ回復スル微少ノ効モナキヲ主張セリ又荷モ真正ノ取引ヨリ起リタル確實ナル手形ヲ割引センガ爲メニノミ紙幣ヲ發行スルニ於テハ決シテ紙幣ノ發行多キニ過クルヲナキヲ主張セシガ如キモ二銀行ノ取締役全ク相同シカリキ

二銀行ノ取締役ガ各點ニ於テ其意見及主義ヲ全ク相同フセシ事ノ如ク著シキハ又之アラズ然レモ余輩ハ大ニ其説ノ力ヲ減ス可キ一事情アルヲ記セザル可カラズ其一事情トハ他ナシ

取締役ハ此事ニ利害ノ關係アル證報者タル一是ナリ第一ニ彼輩ハ正貨ノ仕拂ヲ禁セラレ隨テ兌換ノ義務ヲ免レシ以來ハ大ニ其紙幣發行ヲ擴張シ其紙幣發行ノ擴張セラル、ニ從テ利益亦増加シ株主ヘノ割賦金大ニ増加セリ第二ニ彼輩ノ主義ハ大ニ攻撃セラレ彼輩ハ稍被告者タルノ地位ニ立ツ者ニシテ調査委員ハ彼輩ノ處置ヲ審問ス可キ法廷ノ如キ者タリ而テ彼輩ノ施セル主義ハ銀行ノ株主ニ取テ彼レノ如ク大利益アリシ者ニシテ彼輩ハ自カラ施セル主義ノ不正ナルヲ許ス可シトハ期ス可カラズ又普通商人ノ如キモ此事ニ利害ノ關係アル證報者タルヲ免レズ何トナレバ彼輩ハ銀行ヨリ成ル可ク大ナル融通ヲ得ルヲ利トシ若シ銀行紙幣ノ發行減縮セラル、トハ其投機取引若クハ其他ノ取引沮害セラレザルヲ得ザレバナリ故ニ彼輩ハ銀行取締役ノ執リシ主義政略ヲ以テ己レニ利アリトスルナ

リ然レモ前回及今回ノ委員ハ此事ニ何等利害ノ關係ヲモ有セザル獨立ナル局外證報者ニ諮問シ而テ何レノ場合ニ於テモ此等ノ證報者ハ全ク銀行取締役ノ意見ニ反對シ其政略ヲ痛撃セリ又何レノ場合ニ於テモ委員ハ斯ク地位ヲ異ニシ意見ヲ反對ニセル諸證報者ニ諮問セル後チ銀行取締役ノ意見及處置ヲ強ク非難シ其政略ヲ改メン、トテ彼輩ニ要スル報告書ヲ出ダセリ愛爾蘭ノ場合ニ於テハ其報告書ノ語氣極メテ嚴ニシテ英蘭ノ場合ニ於テハ其報告書ノ精神ハ齊シク嚴ナルモ其語氣ニ至テハ稍寛ナル所アリキ

理財上ノ此等ノ疑問ニ關シテ二黨意見ノ乖離ハ其根底甚深クシテ且永遠ニ續ク、ト政治上ノ疑問ニ異ナラザルガ故ニ茲ニ雙方ノ相爭ヲ所ナ簡且明ニ對照スルヲ便トス可シ蓋事實ニ至テハ容易ニ之ヲ確定シ得可キ所ニシテ雙方ノ互ニ一致スル所ヲ

リ即ノ如シ

第一地金ノ造幣價即法律公定ノ貨幣本位ハ一匁ニ付三磅十  
七志十片半タリ

第二當時地金ノ市場價ハ一匁ニ付四磅十志タリシナリ

第三外國爲替ハ甚シク下落シ即ハムホルグニ對スル爲替ハ

九分下落シ巴里ニ對スル爲替ハ一割四分下落セリ

第四過クル數年間銀行紙幣ノ増加ハ甚大ニシテ當時尙ホ速

ニ増加シツ、アリシナリ

第五正貨去リテ市場ニ跡ヲ絶テリ

此等ノ事實ハ一般ニ認知セラレシ所ニシテ二黨ノ主張スル所

ノ反對ノ意見左ノ如シ

甲黨ハ主張シテ曰

第一(い)銀行紙幣下落セリ

(ろ)地金ノ造幣價ト市場價トノ差額ハ紙幣ノ下落ヲ測ル  
ノ尺度タリ

第二(い)如何ナル場合ニ於テモ外國爲替相場下落ノ達ス可キ  
極點ハ定マレル者ニシテ容易ニ知り得可キ所タリ即

其極點ハ貨幣回送賃、保險料其他些細ナル費用ヨリ成  
レル者ニシテ之ヲ越ヘテ下落ス可キ者ニ非ス

(ろ)然ルニ當時爲替相場ハ遙ニ此極點ヲ越ヘテ下落シ此  
下落ハ以上諸原因ノ何レニモ歸ス可カラス

(は)爲替相場ノ斯ク餘分ニ下落シ地金ノ市場價ノ造幣價  
ノ上ニ騰貴セルハ銀行紙幣ノ過發ニ原因ス

第三銀行紙幣ノ數額ヲ減少セバ內國貨幣ノ價值ヲ増加シ爲  
替相場ヲ平均點ニ回復セシメ地金ノ市場價ヲ造幣價ト  
同一ナラシム可シ

第四 英國銀行取締役ハ紙幣兌換停止ノ際ト雖其紙幣發行ヲ  
 増減スルニ於テ停止前ニ遵守セザルヲ得ザリシ所ト同  
 一ノ規則ヲ遵守セザル可カラズ即外國爲替ノ有様ニ徴  
 シテ之ヲ序理セザル可カラズ若シ外國爲替利トナリ地  
 金流入スルニ當テハ取締役ハ之ヲ増發シテ可ナラン若  
 シ外國爲替不利ナルニ當テハ之ヲ減縮セサル可カラザ  
 ルナリ

此等ノ主義ニ反對シ乙黨ハ主張シテ曰

第一(イ)銀行紙幣下落セルニ非ズシテ正貨ノ直段騰貴セルナ  
 リ

(ろ)紙幣ヲ以テ仕拂フモ若クハ正貨ヲ以テ仕拂フモ地金  
 ノ直段ニ差額アルナシ

第二 外國爲替ノ下落ハ決シテ之ヲ紙幣ノ下落ニ歸ス可カラ

ズシテ是レ全ク英國ガ外國ニ負債ヲ擔フ事、軍兵ニ送金  
 スル事、ナポレテノ大陸政略、其他政治上ノ處置ニ原因  
 スルナリ

第三 英國銀行ガ紙幣ヲ増加シ若クハ減少スルハ外國爲替  
 及地金ノ市場價ヲ騰貴セシメ若クハ下落セシムルニ於  
 テ何等ノ影響ヲモ及ボス者ニ非ス

第四 兌換停止後ハ停止前ト同一ノ規則ヲ遵守シ外國爲替ノ  
 有様ニ徴シテ紙幣ノ増減ヲ序理スルノ必要ナクシテ唯  
 標準ト爲ス可キハ世人ノ需要ニ在ルノミ而テ取締役カ  
 世人ノ需要ヲ標準トスルノ規則ヲ遵守スル間ハ決シテ  
 紙幣ノ發行多キニ過クルノ患アルナシ

以上二黨ノ相争フ第一點ニ關シテハ余前ノ一章ニ於テ之ニ含  
 ム諸原理ヲ十分ニ詳述シタルヲ以テ又茲ニ喋々スルヲ要セズ

何トナレバ金ガ「金ヲ仕拂フ可キ約束」ニ對シテ騰貴スルヲ得可  
 シト想像スルノ極メテ愚ナルコトハ既ニ論セシ所ニ徴シテ十分  
 ニ明ナレバナリ然レモ英國ノ場合ト愛爾蘭ノ場合トノ間ニ相  
 異ナル一事情ノ存スルアリ蓋愛爾蘭ノ場合ニ於テハ銀行紙幣  
 公然割引ヲ生シ各取引ニ於テ正貨直段ト紙幣直段トノ二種ノ  
 直段立テラレタリ而テ正貨賣買ノ店舗アリテ此等ノ店舗ニ於  
 テハ公然若干ノ増打ヲ取り紙幣ニ對シテ金貨ヲ賣レリ然ルニ  
 英國ニ於テハ此事然ラザリシナリ其故如何ト云フニ英國銀行  
 紙幣ハ平價ヲ以テ租稅ニ受取リシコトノ如キモ之ガ一原因ナリ  
 ト雖其重モナル原因ハ二十一志以上ノ相場ヲ以テ金貨ヲ賣買  
 スルルハ罪トシテ罰セラル、ノ恐レアリシコト是ナリ左レバ地  
 金調査委員ノ任セラル、少時以前ニ方テテ、ヨングト云フ者二  
 十一志以上ノ相場ヲ以テ金貨ヲ賣リシ故ヲ以テ審問セラレ有

罪ノ判決ヲ受ケタリ此法律ハ重量金貨ノミニ適用セラレ五「ペ  
 ノニ、ウエイト」八「グレイン」以下ノ量目ヲ有スル輕量金貨ニ至リ  
 テハ之ヲ賣買スルモ妨ゲナクシテ通常六志若クハ七志ノ増打  
 ナ取り紙幣ニ對シテ賣ラレタリ斯ノ如ク十分ノ量目アル金貨  
 ナ其市價ニ從テ賣買スルハ法律上有罪ナリトセラレシテ以テ  
 金貨價值ノ如何ハ公然タル疑問ニ非ザリシヤ明ナリ即騰貴ス  
 可キ金貨ヲ法律抑ヘテ強ヒテ之ヲ低廉ニ保チシナリ故ニ此事  
 實ヲ以テ金紙同價ナリシコトヲ證スルノ資ト爲ス可カラザルナ  
 リ若シ夫レ此事ニシテ罪トナルニ非ザリセハ各物品ニ關シテ  
 正貨直段ト紙幣直段トノ二種ノ直段立テラレシコトナラン  
 茲ニメレル「氏」ト委員トノ問答ヲ掲ゲン

(問)地金ノ造幣價ト市場價トノ差額ハ幾割ナルヤ  
 (答)約ソ一割五分若クハ一割六分ナリ

(問) 汝金ヲ買フニ當リ銀行紙幣ヲ以テ之ヲ仕拂フ乎

(答) 然リ

(問) 銀行紙幣ヲ以テ仕拂ヲ爲スルハ其直段ハ一匁ニ付四磅十志ナル乎

(答) 余内地ノ取引ニ於テ金ヲ賣リシキ唯四磅八志ヲ受取リタリ

(問) 若シ汝金貨ヲ以テ仕拂ニ充ツルキハ更ニ低廉ナル直段ヲ以テ金ヲ買ヒ得ザル乎

(答) 余ハ金貨ヲ以テ仕拂ニ充ツル能ハズ余ハ金貨ヲ得ル能ハズ

(問) 姑ク仕拂ニ充ツ可キ金貨ヲ有スルト假定スルキハ汝ハ一匁ニ付四磅十志ヨリモ低廉ナル直段ヲ以テ金ヲ買ヒ得ザル可キ乎

(答) 否ナ余ハ決シテ低廉ナル直段ヲ申出サザル可シ余若シ若干ノ金ヲ買ヒ金貨ヲ以テ直段ヲ仕拂フコトアルハ余ハ銀行紙幣ヲ以テ其仕拂ニ充ツルコト同様ノ直段ヲ申出ス可シ

(問) 汝ハ地金ノ造幣價ハ一匁ニ付三磅十七志十片半ナリト云フキ金貨ニテ之ヲ算スル乎將テ銀行紙幣ニテ之ヲ算スル乎

(答) 余輩ハ二者ノ間ニ差ヲ立テズ余ハ金貨ヲ以テ仕拂フモ銀行紙幣ヲ以テ仕拂フモ其間ニ何等ノ差アリシヲ信セズ

(問) 一匁ノ金ガ三磅十七志十片半ノ價值ヲ有スル者ハ量目一匁ニ當ル丈ケノ金貨ガ恰モ此價值ヲ成スガ故ニ非ズヤ

(答) 然リ若シ一紳士來リテ余ニ金ヲ出ダスアラハ余ハ金貨ヲ以テスルモ銀行紙幣ヲ以テスルモ精密ニ同額ノ直段ヲ彼レニ仕拂フ可シ

(問) 金ノ造幣價トハ金貨ヲ以テ算セル地金ノ直段ナル乎



(答)然リ

(問)而テ今日ニ於テハ金ノ市場價ハ紙幣ヲ以テ算セラレ、平

(答)然リ凡テ紙幣ヲ以テ仕拂ハル  
左レハ吾人ハ市價ニ從テ地金ヲ買フニ何人モ金貨ヲ以テセス

シテ紙幣ノミナ以テセシト見ルナリ  
銀行紙幣下落セズトノ説ヲ唱ヘタル他ノ證報者中ニ就キ余ハ  
有名ナル商人チャムパー氏ノ説ヲ茲ニ引擧ス可シ氏ノ説ハ全疑  
問テ一點ニ歸着セシメタル者ナリ

(問)汝ハ何レガノ國ニ於テ過發紙幣若クハ強行紙幣ガ外國ニ  
對スル爲替相場ノ上ニ及ボシタル影響ヲ曾テ考察セシトア  
ル乎

(答)余曾テ少シク之ヲ考察セシトアリ

(問)汝ハ斯カル過發紙幣ヨリ如何ナル影響ヲ外國爲替ノ上ニ

及ボス者ト思惟スル乎

(答)余ハ強行紙幣下落スルハ隨テ影響ヲ爲替相場ノ上ニ及  
ホス可キヲ思フナリ

(問)汝ハ強行紙幣ニ非ザル過發紙幣ニ關シテハ如何ニ思惟ス  
ル乎

(答)余ハ此ノ如キ者アリ得可シト思惟セス

(問)汝ハ何チ強行紙幣ト云フ乎

(答)強行紙幣トハ余ガ己レノ意ニ反シ實價ニ越ユル價ヲ以テ  
強ヒテ受取ラサルヲ得ザル者ヲ云フ人民好ンテ紙幣ヲ受取  
ル間ハ是レ強行紙幣ニ非ズシテ紙幣下落セサル以上ハ人民  
固ヨリ好ンテ之ヲ受取ル可シ

(問)鐵山ノ產出増加セルガ爲メニ金屬貨幣ノ數額仕拂上ニ要  
スル割合チ越ヘテ増加シ隨テ各商品ノ直段ヲ騰貴セシムル

ガ如キコトナカル可キ乎

(答)余ハ金若クハ銀ノ増加シ若クハ豊多ナルモ他ノ商品ノ過産ガ其商品市場ニ及ボスト同一ノ結果ヲ金銀市場ニ及ボス可キヲ思惟ス

(問)然ラバ之ト同様ノ理ニテ能ク其信憑ヲ維持シ人民ガ好シテ受取ル所ノ紙幣ト雖一地方商品ノ直段ヲ騰貴セシムルガ如クニ其數額ノ増加セラル、コアラザル可キ歟

(答)余ハ之ニ對シテ有價ナル物品ヲ與ヘザルヲ得ザル所ノ紙片ガ其需要ヲ越ヘテ増加セラレ得可シトハ思惟セズ何人ト雖己レ需要セザル紙片ニ向テ有價物ヲ與フルヲ爲サバ爾可シ

(問)汝ハ三十年前ト四十年前トノ間ニ於ケル蘇格蘭紙幣ノ歴史及一千八百四年頃ノ愛爾蘭紙幣ノ歴史ヲ曾テ考察セシ

アルヤ

(答)余ハ數年前少シク此等ノ歴史ヲ讀ミシコアリシト雖今余ノ心ニ記憶スル所寧ロ薄シ

(問)汝ノ説ニ從ヘバ法律ノ力ニ因リ若クハ輿論ノ力ニ因リ所持人ノ望ニ應シテ正貨ニ交換セラル、コナクシテ行ハル、紙幣ヲ強行紙幣ト稱セントスル乎

(答)若シ此紙幣ニシテ割引ナク余ガ満足スル他ノ物品ト交換セラル、アラバ余ハ之ヲ強行紙幣ナリト思惟セズ

(問)我國造幣金ノ造幣價ヨリ算スルモハ一磅ノ英蘭銀行紙幣ハ幾何ノ金ヲ表スル者ナルヤ

(答)五「ペンニ」ウ「エ」ト「三」グ「レイ」ン「チ」表ス

(問)一「ウ」ニ付四磅十二志ノ今日造幣金ノ市場價ヨリ算スルモハ汝ハ一磅ノ英蘭銀行紙幣ニ對シテ幾何ノ金ヲ得ル乎

(答)四「ペニー、ウェイト」八「グレイン」ナリ

(問)汝ハ今日ノ事情此ノ如クナルニ際シ一磅ノ英蘭銀行紙幣ハ其表スルダケノ金ニ對シテ交換シ得可シト思惟スルヤ

(答)余ハ金ヲ以テ英蘭銀行紙幣價值ノ尺度ト爲ス可カラザルハ猶ホ洋藍若クハ大緞ヲ以テ其尺度ト爲ス可カラサルガ如シト思惟ス

(問)同上ノ問ヲ反覆ス

(答)若シ英蘭銀行紙幣ニシテ造幣價ニ從ヒ金ノ二十志ヲ表スル者トスレバ今日其表スルダケノ金ト交換スルヲ得ズ

(問)汝ハ今日英國ト歐洲大陸トノ爲替ノ我國ニ不利ナルハ如何ナル原因ニ出ツル乎ニ關シテ汝ノ說ヲ委員ニ示スヲ肯ニスル乎

(答)我國ガ仕拂ノ差額ヲ外國ニ借ルニ原因ス

(問)汝ハ我國ガ仕拂ノ差額ヲ外國ニ借ルヲ以テ其原因ナリト爲セシガ此事實ヲ説明ス可キ例證ヲ舉示シ得ルヤ

(答)英國ノ大軍兵歐洲大陸ニ在ルヲ、輸出ニ對スル代償ヲ得ルノ遲キヲ、輸入ニ對スル代償ヲ拂フノ速ナルヲ、今日我國ニ貯フル輸入品在高ノ甚大ナルヲ、如キ是ナリ

(問)汝ハ爲替ノ今日ノ狀ヲ起セル他ノ原因尙ホ存スルアリト思惟スル乎

(答)余ハ下落セル強行紙幣ヲ外ニシテ爲替ニ影響ヲ及ボス可キ其他ノ原因アルヲ知ラズ

(問)汝ノ說ハ英國ノ紙幣下落セリト云フニ在ル乎

(答)決シテ然ラズ  
此問答ニ關シテハスキントン氏記シテ曰此等ノ答辯ヲ見ルニ此一大主義ノ強ク且巧ミニ確言セラレ主張セラレタルヲ知ル可

シ而テ銀行紙幣下落セズトノ論ヲ唱フル人々ハ其言語ニ如何ナル異同アルニ拘ラズ其説ク所到底此一點ニ歸着セサルヲ得ス」ト而テ氏ノ所謂此一大主義トハ銀行紙幣ハ一切商品ノ價値ヲ測ル可キ確定セル真正ノ尺度ニシテ金ノ如キハ他ノ物品ト同シク此不變普通ノ尺度即銀行紙幣ニ因テ其價値ヲ算セラレ可キ一物品タルニ過ギズト云フ一是レナリ而テ此主義ハ此等ノ人々ノ自カラ信シ且人ヲシテ信セシメント欲スル所ナリト云フニ在リ

苟モ尋常ノ智力ヲ具フル人ガ如何ニシテチャムバース氏ノ如キ答辯ヲ爲ス乎ヲ考ヘ且委員ノ諮問ヲ受ケタル商人ノ答辯ニ凡テ同様ノ意見行ルハ其見ル所ハ吾人之ニ驚カザルヲ得ズ蓋此説ノ非ヲ示ス一容易ナリトス抑銀行紙幣ハ造幣局公定ノ性合ヲ具フル一定量目ノ金ヲ仕拂フ可キ約束ニシテ決シテ洋藍若

クハ大絨ノ如キ物品ヲ表スル者ニ非ズ一磅ノ英蘭銀行紙幣ハ造幣金五「ペンニー」ウエイト「三」グレインヲ表スルモノニシテ其他何物ヲモ表スル者ニ非ズ此事ヤ實ニ斯ク論決スルノ外アル可カラザルナリ五「ペンニー」ウエイト「三」グレインノ金ヲ仕拂フ可シトノ約束カ一磅ノ銀行紙幣ハ假令其實價ノ單ニ四「ペンニー」ウエイト「八」グレインナルニ拘ラズ尙ホ一磅ナリト主張スル論者ハ葡萄酒一「ピント」入ノ壘ヨリ其五分ノ一ノ漏出セシニ拘ラズ尙ホ殘餘ノ葡萄酒ハ一「ピント」ナリト主張セザル可カラズ仕拂フ可キ約束若クハ二「ピント」入ノ壘ハ之ニ含マサル可カラザル金若クハ葡萄酒ノ分量ヲ表スル外部ノ記號タルニ外ナラズ而テ其實價ハ現ニ之ニ含ム金若クハ葡萄酒ノ分量ノ如何ニ因ル者ナリ

又ウルレム三世ノ時ニ於テ正貨磨滅シ剝損セラレテ大ニ劣惡

トナリ六志三片七志ノ銀貨ガ現ニ含ム銀ノ分量ハ五志二片ノ銀貨ガ法律上含マザル可カラザル銀ノ分量ニ當ルニ過キザリ故ニ五志二片ノ銀貨ハ其實價公定ノ本位貨幣ノ四志一片ニ當ルニ過キザリシナリ然ルニ夫ノ銀行紙幣下落セズトノ説ヲ唱フル論者ハ又此等ノ銀貨ハ下落セザリシトノ説ヲ唱ヘザルヲ得ザルナリ

然レモ當時紙幣ノ取引ト正貨ノ取引トノ間ニ差別ナカリシヲ證ス可キ一論アルコトハ之ヲ許サル可ラズ何トナレバ正貨ハ悉ク市場ニ跡ヲ絶チ毫モ存在セザリケレバナリ當時我國ノ流通媒介物ハ一ニ銀行紙幣及定位貨幣ノミヨリ成リタレバナリ蓋人民ハ良好ナル金貨ヲ以テスルモ下落セル銀行紙幣ヲ以テスルニ比シテ多額ヲ買フ能ハザルヲ發見ヒシカバ良好ナル金貨ハ悉ク之ヲ匿藏シ或ハ空シク之ヲ貯ヘ或ハ溶解シテ之ヲ

輸出セリ而テ之ヲ輸出スルガ爲メニ得ル所ノ利ハ一亨ニ付十二志ナリシナリ抑何故ニ斯カル現像ヲ呈セシヤト云フニ之ヲ解釋スルコト亦容易ナルニ銀行紙幣ノ正貨ニ兌換ス可カラズト布告セラレシ後ハ以前貨幣ノ代理物タルニ過キザリシ銀行紙幣ハ銀貨ト同様ニ一種ノ貨幣タルノ地位ヲ占メシナリ今金銀價値ノ割合ハ其各自數額ノ多少ニ準スル者ニシテ若シ法律ヲ以テ定メタル割合ガ實際市場ノ割合ト符合セザルキハ過低ニ算セラレタル金屬ハ流通上ヨリ驅逐セラル、コトハ吾人ノ幾回トナク經驗セシ所ナリ之ト同シク若シ重量貨幣ト輕量貨幣トガ相竝ンテ行ハル、キハ重量貨幣ハ必ス流通上ヨリ驅逐セラレ、ナリ何トナレバ重量貨幣ハ過低ニ算セラレタル者ニシテ五亨ノ銀ヲ以テ能ク買ヒ得可キニ拘ラズ故ラニ六亨ノ銀ヲ與フルガ如キハ何人ト雖爲サマル所ナレバナリ銀行紙幣ニ於

ケルモ其理又之ト一ナルノミ銀行紙幣ニシテ金貨ニ對スル其  
 價值ヲ維持セシムルニハ二者相對スルノ數額ヲ或ル一定ノ度ニ維  
 持スル時ニ於テ始テ之ヲ能クスキナリ故ニ銀行紙幣ノ數額  
 此度ヲ越ヘテ増加セラル、ヤ其金貨ニ對スル價值忽チニ下落  
 セリ然ルニ法律ヲ以テ銀行紙幣ト金貨トノ間ニ一定ノ割合ヲ  
 立テ居ルヲ以テ實際市場ノ相場ニ變動ヲ生ズルヤ恰モ金銀ノ  
 市場價ト法律價トノ間ニ差ヲ生セシト同様ノ結果ヲ來タシ  
 タリ即過低ニ算セラレタル金貨ハ流通上ヨリ驅逐セラレタル  
 ナリ是レ斯カル場合ニ際シテハ常ニ然リシ所ニシテ今後ト雖  
 永遠ニ然ル可キナリ四「ペンニ」一、「ウエー」ト「八」グレイ「ソ」ノ金ヲ以テ  
 能ク買ヒ得可キモノニ對シテ五「ペンニ」一、「ウエー」ト「三」グレイ「ソ」ノ  
 金ヲ與フルハ何人ト雖之ヲ爲ササルナリ左レハ強ヒテ金貨ノ  
 價值ヲ低廉ナラシメントスル不正且愚妄ナル此法律ハ已レト

共ニ己レ蒙ムル所ノ罰ヲ携ヘ來レリ即此法律ハ流通媒介物ト  
 シテノ金貨ノ存在ヲ破レリ然レモ斯ク一トタビ金貨ノ消滅シ  
 去リシ後ハ實ニ正貨ノ取引ト紙幣ノ取引トノ間ニ差別ナキニ  
 至レリ嗚呼金紙ノ間ニ有害ナル差別ヲ立ツル一此法律ニ因テ  
 天晴レ能ク救治セラレタルナリ

二黨相爭フ第二點ヲ觀察センニ倫敦ニ對シテ爲替取引ノ確立、  
 セラレタル重モナル場所ハ阿姆斯特ダム、ハムボルク、巴里ニ  
 シテ此等ノ都府ニ於テハ凡テ金屬貨幣行ハレシナリ而テ調査  
 委員ノ諮問ヲ受ケタル諸證報者ノ證セシ所ニ據レバ運賃、保險  
 戰爭ノ危險、其他ノ失費ヲ合シテ貨幣回送費ノ總額ハ四分ヨリ  
 五分五厘マデノ間ニ在リト云ヘリ然ルニ當時爲替ノ下落ハ之  
 ニ越ユル一割二分乃至一割四分ニシテ是レ以上ノ諸原因ヲ  
 以テ全ク解釋シ得可ラザル所タリ爲替ノ此下落ハ歐洲大陸ニ

於テ金ノ需要切ナルガ爲メニ起リタリト云フノ説ニシテ果シテ實ナランニハ金ハ歐洲大陸ニ於テモ齊シク騰貴セザル可カラザルノ理ナルヤ明ナリ然ルニ此説ヲ唱フル者ハ全ク之ガ證ヲ示ス能ハサリキ之ニ反シテ外國ニ於テハ金ノ造幣價毫モ變更セラル、一ナク其市場價ハ決シテ英國ニ比ス可キ程ノ騰貴ヲ呈セザリシヲ證セラレタリ

英國ノ商人ガ爲替ノ下落ハ全ク英國ガ仕拂ノ差額ヲ外國ニ借ルニ原因スル者ニシテ銀行紙幣下落セズトノ説ヲ固執セルコト其レ斯ノ如シ故ニ當時ノ事情ニ關シ之ト異ナル觀察ヲ下シタル一外國商人ノ説ヲ擧ゲテ之ニ比較スルヲ可トス可シ蓋此商人ハ倫敦トハムボルクトノ爲替ノ平均點ハ一地ニハ銀貨行ハレ一地ニハ金貨行ハル、ノ故ヲ以テ精密ニ之ヲ算定スル能ハザルコト説キシ後チ當時爲替相場ハ英國ニ不利ナルコト一割五

分ナリト見做シテ可ナル可キ旨ヲ述ベタリ

(問)巨額ノ正貨流通スルコトハ爲替ヲ安定ニス可キ強キ傾向ヲ生セザル可キ乎

(答)然リ正貨ハ爲替ノ平均點ヲ序整ス可キ唯一ノ基礎ヲ成ス者ニシテ若シ其輸出入ノ禁制セラレザルニ於テハ必ス此ノ如キ傾向ヲ生ス可シ

(問)左レハ如何ナル國ニ於テモ若シ其重モナル流通媒介物紙幣ヨリ成ルキハ爲メニ外國ニ對スル爲替相場ニ大浮沈ヲ起ス可シト思ハレザル乎

(答)余ノ見ル所ヲ以テスレバ若シ其紙幣ニシテ正貨ニ兌換セラル可キ者ニ非サルキハ真正的ノ價值ヲ有セスノ輿論ニ從テ定マル想像的ノ價值ヲ有スルニ過ヤズ故ニ輿論ノ大變動ヲ受クルニ從テ其紙幣モ大浮沈ヲ受ケザルヲ得ザル可シ

(問) ハムボルクニ於テハ銀行貨幣ハ世ニ流通スル貨幣ニ對シテ増打ヲ有セザル乎

(答) 否ナ余ノ説ニ從ヘバ之ニ反シテ世ニ流通セル諸種ノ貨幣ガ銀行貨幣ヨリモ劣レル價值ヲ有セルナリ而テハムボルクニ於テハ凡テ價值ハ銀行貨幣若クハ一定量目ノ純銀ニ因テ算セラレ、者ニシテ流通セル貨幣ノ價值ハ日々昇降セリ  
(問) 一定ノ價值アル正貨若クハ一定量目ノ金銀ニ兌換シ得可キ或ル物ヲ以テ爲替ノ仕拂ニ充ツル者ト假定スルキハ汝ハ今日歐洲ノ何レノ國ニ於テモ爲替ハ如何ナル點マテ下落シ得ル者ト思惟スル乎

(答) 正貨ヲ回送スル費用ト其回送ノ危険ヲ償フ可キ利潤トハ是レ即爲替相場浮沈ノ極點ナリ  
而テ此證報者ハ此等ノ原因ヨリ起ル失費ヲ合スルキハ五分

五厘若クハ六分ニ達ス可キ旨ヲ述ベタリ

(問) 左レバ過クル十五月間ニ於テ我爲替ガ金銀回送ノ費用ヲ償フニ必要ナル額ヲ越ヘテ下落シタル者ハ正貨ニ兌換シ得可カラザル紙幣ノ行ハル、ニ原因セザルヲ得ズト汝ハ思惟スル乎

(答) 然リ確カニ然リ

(問) 左レハ過クル十五月間ニ於テ我爲替ノ受ケタル一割五分乃至二割ノ下落中ニテ其一割ヨリ一割二分乃至一割三分マデハ正貨ニ兌換シ得可カラザル紙幣ノ行ハル、ニ原因スト汝ハ思惟スル乎

(答) 然リ余ハ明カニ其説ヲ懐ク者ナリ

(問) 左レバ汝ハ我紙幣ガ正貨ニ兌換シ得可カラザルガ爲メニ一割乃至一割三分ヲ下落セル者ト思惟スル乎



(答)余ハ地金ニ因テ諸物品ノ價值ヲ算スルニ英國紙幣ハ一割五分若クハ二割ヲ下落セルヲ思フナリ寧ロ適當ニ之ヲ云ヘバ地金ノ市場價ト其造幣價トノ差額ダケ下落セルヲ思フ也  
 (問)汝ハ我國ガ歐洲大陸ニ對シテ今日貿易ノ差額ヲ貸スト思惟スル乎將タ借ルト思惟スル乎

(答)余ハ英國ガ大ニ之ヲ貸スヲ信スルナリ尤モ其額ハ一般ニ統計表ニ示スガ如クナラズシテ余ノ見ル所ヲ以テスレバ其實額ハ此等ノ統計表ニ示ス額ノ約ソ八割ナル可シ  
 二黨ノ相争フ第三點ヲ觀察セシニ紙幣ノ流通額ヲ減少スルハ一切ノ他ノ商品及金ニ對シテ其價值ヲ増加セサル可カラズシテ蓋此事ヨリモ明ナルハアラザルナリ抑金ノ市場價ハ銀行紙幣ヲ以テ算シタル直段ニシテ決シテ金貨ヲ以テ算シタル直段ニ非ザレバ若シ紙幣ノ數額ヲ減少スルハ紙幣ヲ以テ算シ

タル金ノ直段ヲ下落セシメ隨テ紙幣ノ實價ヲ愈其名目價ニ近邇セシメザル可カラズ而テ此ノ如クニシテ貨幣全体ノ價值ヲ騰貴セシムルガ故ニ紙幣ヲ減少スルコト十分ノ度ニ達スルハ必ズ外國爲替ヲ平均點ニ騰貴セシメ金ヲシテ再ヒ流通上ニ出テシメザルヲ得ズ  
 二黨ノ相争フ第四點ハ曩ニ愛爾蘭銀行取締役ガ唱ヘタル紙幣ニ關スル一新主義ヲ含ム者ナリ此主義ハ紙幣ニ關スル最モ有名ナル主義ノ一ト見做シテ可ナルベキガ故ニ余ハ後章ニ至リ紙幣ニ關スル諸主義ヲ併論スル時マデ之ガ觀察ヲ遷延スルヲ便トス可シ唯茲ニ於テハ地金報告書ガ特ニ此主義ヲ非難セシコト一言シ置クヲ以テ足レリトス可シ  
 以上ハ調査委員ノ諮問ヲ受ケタル諸證報者ガ相争フ要點ニシテ我本論ニ關係アル者ノ概略ナリ而テ余ハ是ヨリ委員報告書

ノ議論ト勸告トヲ簡短ニ摘要ス可シ蓋其報告書ハ先ツ第一ニ金ノ市場價ト造幣價トノ間ニ當時存セシ差額ヲ記シ其市場價ハ約ソ四磅十志ニシテ即其造幣價ヨリモ貴キ一割五分五厘ナルヲ述ベタリ又銀ノ直段ニモ同様ノ差額存スルヲ記シ又外國爲替相場ハ一千八百八年ヨリ非常ニ英國ニ不利トナリ一千八百九年ヲ通シテ益不利トナリ當時ハムボルクニ對スル爲替ハ平均點ヨリ下ルヲ七分、アムステルダムニ對スル爲替ハ平均點ヨリ下ルヲ七分、巴里ニ對スル爲替ハ平均點ヨリ下ルヲ一割四分ナルヲ記セリ地金市場價ノ其造幣價ヨリモ騰貴セルヲ此ノ如ク外國爲替ノ下落セルヲ又此ノ如クナリシヲ以テ其原因ハ內國貨幣ノ有様ニ存セサル可カラサルヲハ委員ノ夙トニ悟ル所トナレリ然レモ委員ハ此等ノ點ニ關シテ廣ク商人ノ說ヲ蒐集センヲ勉メタリ

大抵ノ證報者ハ金ノ騰貴ヲ以テ全ク其匱乏ニ歸シ且大陸ニ於テ金ノ需要非常ニ切ナルガ爲メニ此匱乏ヲ來タセル者ト爲セリ然レモ一千八百九年間ニ在テ我英國ニ於テハ金ノ騰貴彼レノ如ク甚シカリシニ拘ラズハムボルクニ於テハ其動搖三分若クハ四分ニ越ヘザリシヲ證セラレタリ蓋ハムボルクニ於テハ金ノ直段ハ他ノ諸物品ノ直段ト同シク銀ヲ以テ算セラレシ者ニシテ委員ハ過クル數年間ハムボルク及アムステルダムニ起リタル金ノ市場價ト造幣價トノ差額ハ金銀ノ割合ガ全世界ヲ通シテ變セシヲ證スル者ナリト爲セリ即全世界ヲ通シテ銀ハ金ニ對シテ下落シ隨テ銀ヲ法貨トセル諸市場ニ於テハ金ノ直段騰貴シ又金ヲ法貨トセル諸市場ニ於テハ銀ノ直段下落セリト爲セリ

委員ノ報告書ニ曰歐洲ニ於テ金ノ需要切ナルガ爲メニ其市場

價騰貴セリトノ説ニ關シテハ若シ此説果シテ是ナラシムハ以前ノ戦争ノ際ニモ同一ノ結果ヲ生セシナラザル可カラズ然ルニ夫ノ七年戦争ノ際ニハ此ノ如キヲナク又亞米利加戦争ノ際ニモ我國ニ於テ地金ノ匱乏セシヲアラザリキ曾テ地金銀ノ市場價ガ造幣價ヨリモ騰貴シタル最モ著明ナル時期二回アリテ即ウイルンム王ノ世トジョージ三世在位ノ初年ト是ナリ而テ右第一ノ時期ニ於テハ銀貨大ニ劣惡トナリ又第二ノ時期ニ於テハ金貨大ニ劣惡トナリ居タリキ左レバ何レノ場合ニ於テモ貨幣ヲ改良スルニ及ンデ地金銀ノ市場價下落シ其造幣價ト同一トナルニ至レリ而テ金貨ノ改良セラレタル一千七百七十三年ヨリ一千七百九十七年マデハ復タ市場價ノ著シク造幣價ノ上ニ騰貴スルヲナク一千七百九十六年及九十七年ニ於テハ地方銀行ガ金ノ取付ケニ應センガ爲メニ金ヲ需要シ隨テ其匱乏ヲ起

セシト雖尙ホ此事アラザリキト且委員ハ金匱乏セリトノ事實ヲ全ク信ゼザリキ而テ或ル證報者ハ陳述シテ曰人若シ相當ノ直段ヲダニ仕拂ハハ幾何ノ金ニテモ之ヲ得ルニ於テ毫モ困難アラザリシナリト又曰近頃起リタル商業上ノ變勢ノ爲メニ巨額ノ金銀ヲ我國ニ流入セシムルニ至レリト故ニ所謂金匱乏セリトノ説ハ之ヲ證スルノ事實ナカリシ耳ナラズ事實ハ反テ其然ラザルヲ證セルナリ

又委員ノ報告書ニ曰假令金匱乏シタリトスルモ其市場價ガ其造幣價ノ上ニ騰貴スルヲ得ルトノ思想ハ全ク誤謬ヨリ出デズンバアラズ我國ニ於テハ金ハ習慣ニ因リ又法律ニ因リテ一切商品市價ノ尺度タリシナリ故ニ商品ガ多少ノ金ニ對シテ貿易セラルハニ從ヒ商品ノ直段或ハ貴シト稱セラレ或ハ廉ナリト稱セラレシナリ然レモ若干ノ金ガ同一性合ノ金ト貿易セラル

〇於〇其〇得〇額〇多〇少〇アル〇ガ〇如〇キ〇ハ〇決〇シ〇テ〇之〇アル〇可〇カ〇ラ〇ザ  
 ル〇所〇ナ〇リ〇唯〇地〇金〇ヨリ〇モ〇寧〇口〇金〇貨〇ヲ〇便〇ト〇シ〇又〇ハ〇金〇貨〇ヨリ〇モ〇寧〇口  
 地〇金〇ヲ〇便〇ト〇スル〇ノ〇故〇ヲ〇以〇テ〇其〇間〇ニ〇微〇差〇ヲ〇生〇スル〇ヲ〇アル〇可〇キ〇モ  
 之〇ヲ〇除〇キ〇テ〇ハ〇又〇差〇額〇ヲ〇生〇スル〇可〇キ〇ノ〇理〇ナ〇シ〇左〇レ〇バ〇三〇磅〇十〇七〇志〇十  
 片〇半〇ノ〇貨〇幣〇ニ〇含〇ム〇所〇一〇号〇ヨリ〇モ〇少〇ナ〇キ〇ニ〇非〇ザル〇ヨリ〇ハ〇造〇幣〇金  
 一〇号〇ノ〇直〇段〇ハ〇決〇シ〇テ〇三〇磅〇十〇七〇志〇十〇片〇半〇ノ〇上〇ニ〇騰〇貴〇スル〇ヲ〇アル  
 可〇カ〇ラ〇ザル〇ナリ〇而〇テ〇金〇若〇シ〇非〇常〇ニ〇匱〇乏〇セ〇バ〇其〇價〇値〇他〇ノ〇商〇品〇ニ  
 對〇シ〇テ〇騰〇貴〇シ〇隨〇テ〇商〇品〇ノ〇直〇段〇下〇落〇ス〇可〇ク〇而〇テ〇金〇ノ〇市〇場〇價〇ニ〇至  
 テ〇ハ〇必〇ス〇變〇スル〇ナク〇シ〇テ〇從〇前〇ノ〇如〇ク〇ナラザル〇可〇カ〇ラ〇ズ〇然〇ル〇ニ  
 今日〇ノ〇狀〇此〇ノ〇如〇ク〇ナラズ〇シ〇テ〇一〇切〇商〇品〇ノ〇直〇段〇騰〇貴〇シ〇金〇ノ〇直〇段  
 モ〇亦〇騰〇貴〇セリ〇故〇ニ〇此〇事〇實〇ハ〇貨〇幣〇ノ〇有〇様〇ヲ〇以〇テ〇スル〇ノ〇外〇ハ〇之〇ヲ  
 解〇釋〇スル〇能〇ハザル〇ナリト  
 次ニ報告書ハ金ノ造幣價ト其市場價トノ間ニ差額ヲ起スノ事

情ヲ説明シ其事情ハ貨幣ノ劣惡トナレル事地金ヲ貨幣ニ鑄造  
 スルニ時間ヲ要スル事貨幣輸出ノ禁制セラル、事ノ三者ニシ  
 テ第二第三ノ原因ヨリ生ズル影響ハ五分五厘ナリト云ヘリ而  
 テハムボルクニ於テハ銀ニ關シテ此等ノ原因一モ存スルナク  
 貨幣ハ公定ノ性合ト量目トヲ有スル銀ニシテ之ヲ輸出スルハ  
 毫モ禁制セラル、所ナクシテ最モ自由ナリシト云ヘリ而テ英  
 國ニ於テモ英蘭銀行ガ金ヲ以テ紙幣ヲ兌換シ且正貨十分ノ量  
 目ヲ有スルニ當テハ市場價ト造幣價トノ差額ハ決シテ五分五  
 厘ニ越ヘザリシト云ヘリ  
 然ルニ金貨仕拂停止後ハ或ル點ヨリ云ヘバ金貨ハ價值ノ尺度  
 タル性質ヲ失ヒ英蘭銀行ト地方銀行トヨリ發行スル紙幣ノ外  
 ハ他ニ直段ノ尺度タル者ナク而テ此等紙幣ノ價值ハ一ニ其數  
 額ノ多少ニ準シテ浮沈スル者ナリト云ヘリ而テ此等紙幣ノ價

値ヲシテ法律ヲ以テ定メタル其真正ノ本位即地金ノ價值ト符  
 合セシムルノ最モ望マシキ旨ヲ述ヘタリ  
 又報告書ニ曰若シ我國ノ金貨大ニ其量目ヲ失フカ若クハ其性  
 合劣惡トナレハ隨テ其市場價其造幣價ノ上ニ騰貴スルヤ明ナ  
 リ何トナレハ金ノ造幣價トハ或ル量目例セハ一弓ノ地金ト其  
 價值ヲ同フスルダケノ金貨ヲ云フ者ニシテ若シ其金貨ノ實價  
 減少セハ其金貨ハ從前ヨリモ少量ノ地金ニ相當スルニ至ラザ  
 ル可カラザレバナリ而テ正貨ニ兌換シ得可カラザル紙幣過度  
 ニ發行セラル、キハ之ト同一ノ結果ヲ生ス可シ何トナレバ此  
 過度ノ紙幣ハ外國ニ輸出セラル、能ハズ又正貨ニ兌換セラル  
 、コナキガ故ニ常ニ流通上ニ留マリ次第ニ諸物品ノ直段ヲ騰  
 貴セシムルニ至ル可ケレバナリ而テ此場合ニ於テ諸物品直段  
 ノ騰貴スルハ寶金ノ増加セルニ當テ其騰貴スルト毫モ異ナラ

ザルナリ故ニ諸物品ノ直段騰貴セザルヲ得ズシテ地金ノ如キ  
 モ亦騰貴セザルヲ得ズ而テ近隣諸國ノ貨幣價值齊シク下落セ  
 ズシテ獨リ一國ノ貨幣價值ノミ下落スルキハ諸國貨幣ノ相對  
 スル割合ハ最早從前ノ如クナラズシテ隨テ外國爲替ハ此一國  
 ノ不利トナラザルヲ得ズ蓋如何ナル國ニテモ輸出スル能ハズ  
 又正貨ニ兌換スル能ハザル貨幣ヲ過度ニ發行スルキハ其結果  
 此ノ如キニ至ラザル可カラズト  
 又曰貿易ノ有様及仕拂ノ差額ヨリ起ル所ノ二地間爲替ノ動搖  
 ハ一地ヨリ一地へ貨幣ヲ回送スル運賃及保險料ニ超ユル者ニ  
 非ズ其事ヤ極メテ明晰ニシテ商業家タルト政治家タルト問  
 ハス凡テ實際家ノ一致スル所タルバ眞ニ争フ可カラザルノ點  
 ト云フ可シ戰爭ノ際ニ在テハ無論ニ危險増加ス可シ然レモ此  
 事情ヲ斟酌スルモ地金ヲ和蘭ニ回送スル費用ハ合計七分ニ過

キズシテ之ヲ巴里ニ回送スル費用ハ少シク之ニ加ハ、ルノミ故ニ此等ノ原因ヨリシテ七分前後マテハ爲替ヲ下落セシム可シト雖決シテ此度ヲ超ヘテ下落セシムル者ニ非ズ然ルニ近時爲替ノ下落ハ殆ト二割ニ達セリ故ニ以上ノ原因ヨリ起ル可キ下落ノ外ニ更ニ大ナル餘分ノ下落アリテ是レ他ノ原因ヲ以テ解釋セザル可カラザル所タリ而テ此餘分ノ下落ハ内國貨幣ノ下落ニ基ク者ニシテ此一事項ヲ以テシテ始メテ之ヲ解釋スルヲ得ルナリト

然ラバ則以上列舉セル原理ト事實トノ結果ハ當時ノ如ク貨幣人爲ヲ以テ支配セラル、有様ニ於テハ外國爲替及地金ノ市場價ニ注目スルハ最大緊要ノ點ナリト云フニ在リ而テ委員ハ英蘭銀行取締役ガ此事ニ關シテ同一ノ觀察ヲ下スヤ否ヤ彼輩ガ前年間金ノ市場價及外國爲替ニ非常ノ攪擾ヲ呈セシヲ見テ紙

幣ノ發行多キニ過ギシヲ悟リシヤ否ヤヲ知ランヲ勉メタリ然ルニ取締役ハ全ク此等ノ意見及思想ヲ排斥シ其紙幣發行ハ外國爲替及金ノ市場價ニ對シテ何等ノ關係ヲモ有セザルヲ主張シ彼輩ハ其紙幣ヲ發行スルニ於テ爲替相場若クハ地金相場ニ毫モ注目セザリシヲ述ベ紙幣ノ増減ハ爲替相場若クハ地金相場ニ對シテ何等ノ影響ヲモ及ボス者ニ非ズト爲セリ

次ニ報告書ハ歷史上ノ事實ニ徴シテ英蘭銀行ノ意見ノ非ナルヲ示セリ即チ報告書ハ一千七百六十三年蘇格蘭貨幣ノ混亂セシキノ實例ヲ引舉セリ蓋此ニ實例ハ此書ニ於テ十分ニ記載セル所ナリ又報告書ハ一千六百九十六年ヨリ九十七年マデノ英蘭銀行ノ有様ヲ引舉セリ而テ此時ノ事情モ此書ノ前章ニ於テ詳密ニ之ヲ記載シ報告書ニ云フ所ヲ摘出シテ之ヲ批評シタリキ抑地金

報告書ニ記スル所悲ム可キ誤謬多クノ余ハ之ヲ指摘セザルヲ得ザリシト雖此等ノ誤謬ヲ匡正セルガ爲メニ地金報告書ノ論趣ヲ弱ハメ若クハ撞着セシムルヲナカリシ耳ナラズ反テ報告書主張スル所ノ原理ニ一層ノ大勢力ヲ加ヘタリキ

往時ニ在テハ地金ノ市場價騰貴シ外國爲替不利トナルルハ英蘭銀行取締役ハ金貨ノ流出ヲ妨ゲテ己レノ安全ヲ謀ランガ爲メニ紙幣發行ヲ減縮セザルヲ得ザリシナリ往時ノ取締役ト雖恐クハ當時ノ取締役ト同シク原理ヲ會得セザリシナル可シト雖實際ニ不便ヲ感シ不知不識之ニ從ハザルヲ得ズシテ爲メニ紙幣ノ發行制限セラレシナリ然ルニ兌換停止後ハ取締役實際ニ不便ヲ感スルヲナキヲ以テ此制限除カレシナリ然レモ委員ハ明瞭ニ斷言シテ曰英蘭銀行ハ兌換停止ノ際ニ在テモ停止前ニ於ケルト同シク地金相場及爲替相場ニ徴シテ其紙幣發行ヲ

序理セザル可カラズ而テ地金相場ノ大ニ騰貴シ外國爲替ガ前ニ陳示セル極點ヲ越ヘテ下落セルハ該銀行ガ適當ニ紙幣發行ヲ制限スルヲ怠レルニ歸セザル可カラズト

委員ハ右ノ制限除カレシ以來取締役ガ如何ナル主義ニ從テ其紙幣發行ヲ序理セル乎ヲ知ラノヲ勉メタリ而テ取締役及或ル商人ハ其固ク執リテ眞理ナリト確信スル主義ヲ陳示セシニ熱心セリ其主義タルヤ他ナシ英蘭銀行ガ眞正ノ商業取引ヨリ起リタル確實ナル短期手形ヲ割引センガ爲メニノミ其紙幣ヲ發行スル間ハ決シテ紙幣ノ發行多キニ過クルヲナシト云フ

ト是ナリ是レ則取締役ガ遵守セシ所ノ主義ニシテ彼輩ハ之ヲ以テ其紙幣發行ニ關スル眞正唯一ノ制限ナリト信セシナリ然レモ報告書ハ斯カル主義ハ理ニ於テ全ク誤レル者ニシテ危険ナル結果ヲ生スル者ナリト云ヘリ而テ次ニ報告書ハ紙幣ニ關

スル此主義ノ誤レルヲ論シタリト雖余ハ既ニ述ヘシ如ク後章ニ至テ紙幣ニ關スル他ノ主義ト共ニ之ヲ觀察ス可シ又報告書ニ曰法律ヲ以テ利息ノ割合ヲ五分ニ制限セルヲハ投機ノ精神ヲ獎勵シ割引ノ需要ヲ一層大ナラシメ爲メニ有害ナル結果ヲ生シタリ左レバ取締役ト雖屢其割引ヲ制限セザルヲ得ザルヲアリテ己レガ正確ナリ安全ナリト信スル主義ヲ終始遵奉スルヲ能ハザリキ故ニ彼輩ハ己レヲ導ク可キ明確ナル主義ヲ有セザリシ者ト云ハザル可カラズト

又曰金貨仕拂ノ停止ハ全ク己レノ隨意ヲ以テ國內ノ流通媒介物ヲ供給スルノ大權ヲ英蘭銀行取締役ノ手中ニ投シタル者ナリ最モ明ニ商業ノ事情ニ通曉シ最モ深ク貨幣ニ關スル諸原理ヲ講究シクル人々ト雖常ニ商業ノ有様如何ニ從テ流通媒介物ヲ適當ニ序理スルハ能ハザル所ナリ唯適當ニ之ヲ序理スル者

ハ資金ノ一アル耳ニシテ如何ナル智能若クハ熟練ヲ以テスルモ決シテ之ニ代ユルヲ能ハザルナリ而テ英蘭銀行取締役ハ己レガ公衆ノ利ナリト思惟スル所ニ從ヒ豫期セラレシヨリモ一層ノ堪忍ヲ以テ己レニ托セラレタル此大權ヲ使用セリ然レモ不幸ニシテ其依據セル所ノ主義ハ全ク誤レル者ニシテ實ニ貨幣制度ノ大攪擾ヲ久シキニ續カシムルノ原因タリシナリト

次ニ報告書ハ兌換停止以來ノ紙幣流通高ニ關スル統計ヲ示セリ然レモ單ニ流通紙幣ノ數額ヲ以テ紙幣ノ過多ナルヤ否ヤヲ判スルノ標準ト爲ス可カラスシテ貿易ノ繁閑及取引ノ廣狹如何ニ因リテ要セラル、紙幣ニ多少アルヲナ説キタリ曰若シ信憑十分ニ行ハル、時ニ在テハ世人恐慌ヲ感シ貨幣ヲ貯フル時ニ比スレバ要セラル、紙幣少ナシ且取引ヲ行フ方法ノ異同及貨幣ノ用テ節省ス可キ方法ノ異同ハ大ニ一國ニ適當トシ必用



トスル紙幣ノ數額ニ影響スル者ナリ而テ取引ヲ行フ方法ノ改良セル事、英國銀行ノ執リシ政略、地方銀行紙幣増加セシ事ノ如キハ凡テ商業ニ必要ナル英國銀行紙幣ノ數額ヲ減少スルノ傾向アリキ故ニ單ニ流通紙幣ノ數額ヲ以テ其過不足ヲ判スルノ標準ト爲ス可カラズシテ真正ノ標準ハ爲替相場及地金相場ニ於テノミ之ヲ求ム可キナリト

又曰紙幣ノ制度ニ在テハ時トシテ地方ニ於テ信憑ノ破壊スルヲアルヲ免レズシテ之ヲ救済ス可キ真正ノ方法ハ辨金ヲ擴張スルニ在ルヲハ一千七百九十三年ノ恐慌ノ實例ニ徴シテ明ナリ蓋一千七百九十三年ニ於テモ英國銀行ハ辨金ヲ擴張スルヲ拒ミシハ實ニ然リ然レト出納局手形ヲ發行セシハ理ニ於テ銀行紙幣ヲ發行セシニ異ナラズノ爲ニ其結果ヲ生セリ左レバ若シ英國銀行ガ一千七百九十七年ニ於テ其紙幣ヲ減縮セズシテ

其辨金ヲ擴張スルノ勇氣ヲ有セシナラニハ當時起リシ大凶難ハ之ヲ避ケ得シヲ知ル可キナリ當時ニ在テモ或ハ斯ク思惟セル人ナキニ非スシテ取締役ノ如キモ一千七百九十七年ノ經驗ニ徴シ當時英國銀行ガ施セシ主義ノ大ニ世ノ凶難ヲ加ヘシヲ許セル者多シト而テ委員ハ全ク此意見ニ同セリ

又曰金ニ對スル内國ノ需要ハ信憑ノ一時破壊スルヨリ時トシテハ大ニシテ且俄然ニ起ル者ニシテ此内國ノ需要ト貿易ノ差額ヨリ起ル金ノ流出トノ間ニ緊要ナル區別ノ注意セザル可カラザル者アリ即前ノ現像ヲ救済ス可キ正當ナル方法ハ慎ンテ辨金ヲ擴張スルニ在リト雖後ノ現像ヲ救済ス可キ正當ナル方法ハ紙幣發行ヲ減縮スルニ在ルヲ是ナリト

又曰今日ノ紙幣流通高ハ多キニ過ク然レモ國內商業ノ利益ヲ謀リ又紙幣濫發ノ際ニ締結セラレタル商業上ノ契約ヲ履行セ

シメシハ之ヲ減少スルニ漸チ以テシ大ニ儆戒ヲ加フルヲ要ス」ト而テ次ニ報告書ハ地方銀行紙幣ノ大ニ増加セルヲ詳述シ地方銀行紙幣ニ關スル當時現行ノ法律ガ其濫發ニ便チ與ヘシヲテ説キタリ

以上ニ記スル如キ事實ト論理トニ基キ遂ニ報告書ハ左ノ決論ニ達シタリ曰今日紙幣發行高ハ多キニ過ク而テ此事ノ最モ明瞭ナル第一ノ徵候ハ地金相場ノ騰貴セシメ是ニシテ其第二ノ徵候ハ爲替相場ノ下落セシメ是ナリ斯ク紙幣ノ過發セラレシ者ハ金貨仕拂ヲ停止シテ以テ英蘭銀行紙幣ノ發行ニ關スル制限ヲ除キシニ原因ス左レバ初メ一時ノ者トシテ施サレタル停止條例ガ永遠ノ軍事上ノ政略トシテ繼續セラル、ニ至リシハ實ニ歎ス可キヲタリ而テ價值ノ尺度ノ大動搖ヲ呈セシガ爲メニ社會各階級ノ人民ニ怖ル可キ凶害ト不正トヲ蒙ラシメシ

ハ最モ著明ナルヲ以テ今又之ヲ喋々スルヲ要セズ且此凶害及不正ハ尙ホ今日ニ存シテ益増加スルノ景况アリ故ニ議院ノ正直ト榮譽トヲ證センニハ成ル可キダケ速ニ此有様ヲ救治スルヲ最モ須要トス」ト

又曰斯カル有様ノ久シク續キシガ爲メニ議院ハ貨幣本位ヲ變更シ金貨ヲ劣惡ニスル策ニ出ツルノ誘惑ヲ受クルニ至レリ蓋此策ヤ斯カル場合ニ際シテ數多ノ政府ノ施セシ所ニシテ此弊害ヲ醫ス可キ最モ容易ナル方法タル可シ然レニ紙幣ノ價值ヲシテ法律定ムル所ノ貨幣本位ニ回復セシムルヲ爲サズシテ反テ貨幣本位ヲ劣惡ニシテ紙幣ト同位ナラシムルガ如キハ國家ノ誠信ヲ破リ政府ノ第一ノ義務ヲ破ルノ處置ナリ」ト

又曰英蘭銀行ノ辨金即割引若クハ其利益金即割賦金ヲ制限シテ以テ此弊害ヲ醫セントノ議ヲ出ダセル者アリ然レニ此等ノ

策ハ凡テ非ナリ何トナレバ必用ナル敷額ヲ確定スルコトハ決シテ能ハザレバナリ又假令之ヲ確定シ得可シトスルモ之ガ爲メニ金融一時壅塞セルト不便ヲ大ニ増加ス可ケレハナリ此等ノ策ヲシテ其効アラシムルモ是レ甚有害且不適當ナル干涉ヲ商業上ノ財産權ニ加フル者ナレバナリト

又曰故ニ凡テ以上ノ諸弊害ニ對スル真正適當ナル唯一ノ救治策ハ金貨仕拂ヲ再始スルニ在リ然レモ是レ最モ活機ノ事業ニシテ之ヲ實行スルハ一ニ之ヲ英蘭銀行ノ裁斷ト遠謀トニ任セザル可カラズ即議院ハ唯其時期ヲ定ムル耳ニシテ其他ノ事ハ悉ク之ヲ該銀行ニ任セザル可カラズ而テ如何ナル事情ニ於テモ其時期ヲ二年後ト定ムルヲ必要トス可クシテ該銀行ヲシテ之ニ準備スルヲ得セシメゾニハ是レ長キニ失スル者ニ非ザル可シト而テ委員ハ遂ニ此時ヨリ二年後ニ至テ金貨仕拂ヲ再

始セザルヲ得ザラシムル一條例ヲ制定セシコトヲ勸告シ以テ其報告書ヲ結ベリ

此有名ナル報告書ハ曾テ議院ニ出サレタル如何ナル報告書ニリモ著明ナル所ニシテ上記スル所以テ公平ニ其要旨ヲ解剖シ得タリト余ハ信スルナリ此報告書ハ永遠不滅ノ原理ヲ含ム者ニシテ苟モ紙幣ノ價值ヲシテ其表スル金ノ價值ニ符合セシメシメニハ必ス此等ノ原理ニ據テ紙幣ヲ序理セザル可カラザルナリ而テ若シ紙幣ニ關シテ法律ヲ設クルヲ必要ナリト思惟スルニ於テハ此報告書ノ原理ヲ實際ニ應用スルコトヲ勉メザル可カラズシテ其愈此等ノ原理ヲ離レ若クハ之ニ抗スルニ從ヒ愈經濟學ノ永遠不滅ノ原理ヲ離レ若クハ之ニ抗スル者タルヲ發見ス可シ然ラバ則紙幣ニ關スル凡テノ法律ハ一ニ此等ノ原理ヲ實行スル最良ノ方法ヲ具フルヲ以テ其目的トセザル可カラ

ズ此報告書ニ於テ説キタル諸原理ハ其正確ナルヲ毫モ幾何學ノ原則ニ讓ラズ而テ報告書ノ此事ヲ論スル方法ハ極メテ學理ニ合ヒ物理學上ノ大理ヲ發見シテ曾テ世ノ嘆美ヲ博シタル如何ナル論文ニ比スルモ讓ル所ナシ且此報告書ハ苟モ尋常ノ智力ヲ有シ議論ノ力ヲ感シ得ルノ人ハ容易ニ會得シ得可キ所タリ然ルニ此報告書ノ發行セラル、ヤ忽チニ無數ノ小冊子記者ノ攻撃スル所トナレリ此等ノ記者ハ世ノ殆ト忘ル、所トナリ又今日之ヲ想起セシムル程ノ價ナキナリ蓋此報告書ハ利害ノ及ホス所極メテ深ク且廣キヲ以テ世人ハ及フ可キタダノ嘲罵刺譏ヲ逞フシテ之ヲ攻撃セリ而テ余輩ハ是レヨリ下院ニ於テ此報告書が如何ナル待遇ヲ受ケシ乎ヲ觀察セサル可カラズ此報告書ハ一千八百十年六月九日ヲ以テホル子ル氏之ヲ出タシタリト雖翌十一年五月六日ニ至ルマデ之ニ關シテ嚴正ニ討

論ヲ開カザリキ而テ此報告書ハホル子ル氏ハスキントン氏、ヘンリー、ソルトン氏ノ合草ニ係ル所ニシテホル子ル氏ハ三時以上ニ亘ルノ演説ヲ爲シテ以テ討論ヲ開キケルニ聽者擧テ之ヲ嘆美セザルハナカリキ然レモ茲ニ氏ノ演説ヲ觀察スルハ不要ニ屬ス何トナレバ其大趣意ハ報告書ニ關シテ既ニ記セシ所ニ同シケレバナリ而テ氏ハ十六箇條ノ決議案ヲ出シテ以テ其演説ヲ終レリ其第一條ヨリ第七條マデハ我國ニ於テ據テ以テ一切ノ契約ヲ表稱スル所ノ價值ノ合法本位ノコトニ係レリ其第八條ハ英蘭銀行ノ約束手形ハ請求ニ應シテ其表面ニ記載セル若干ノ磅金貨ヲ仕拂フノ約束ナリト云フニ是ナリ其第九條ハ議院ガ初メ紙幣兌換停止條例ヲ出タスニ當テ紙幣價值ノ變セラル、トナ期セザリシト云フニ是ナリ其第十條ハ實際紙幣ノ價值ガ久シク其正當ノ價值ヨリモ下落セリト云フニ是ナリ

其第十一條ハ斯ク紙幣ノ下落セルハ英蘭銀行及地方銀行ガ共ニ其紙幣ヲ過發セルニ原因スト云フ是ナリ其第十二條及第十三條ハ外國爲替ノ甚シク下落セル者ハ專ラ外國ノ貨幣ニ比シテ我國ノ貨幣ノ下落セルニ原因スト云フ是ナリ其第十四條ハ兌換停止ノ際ニ在テモ英蘭銀行取締役ハ地金相場及爲替相場ニ徴シテ其紙幣發行ヲ序理セサル可カラズト云フ是ナリ其第十五條ハ紙幣ヲシテ其正當ノ價值ヲ維持セシムル唯一ノ方法ハ請求ニ應シ我國ノ金貨ヲ以テ之ヲ兌換セシムルニ在リト云フ是ナリ其第十六條ハ此時ヨリ二年後ニ至リ金貨仕拂ヲ再始セザル可カラズト云フ是ナリ

ロース氏ハホルチルノ説ヲ反駁セリ曰余ハ英蘭銀行紙幣ガ過發ノ爲メニ下落セズシテ委員ノ報告書ハ謬論誤説ヲ以テ滿ル

ト曾テ議院ニ出サレタル如何ナル報告書ヨリモ甚シキヲ證

スルヲ得可シ余ハ英蘭銀行紙幣ノ發行ハ地金相場若クハ爲替相場ノ上ニ何等ノ影響ヲモ及ボス者ニ非ザルヲ信ゼリ余ハ商品直段ノ騰貴ハ銀行紙幣ノ増加ニ原因ストノ説ヲ決シテ容ル、能ハズ委員ノ報告書ハ諮問ヲ受ケタル凡テノ證書者ノ説ト相反スル者ニシテ委員ト同一ノ説ヲ爲セシ證報者ハ唯二人

ト相反スル者ニシテ委員ト同一ノ説ヲ爲セシ證報者ハ唯二人

ト相反スル者ニシテ委員ト同一ノ説ヲ爲セシ證報者ハ唯二人

幣ト地金相場及爲替相場トノ間ニ何等ノ關係モ存セザルヲ證セシガ爲メニ銀行紙幣流通高ノ増減、地金相場ノ高低、ハムボ

ルシニ對スル爲替相場ノ浮沈ヲ示ス統計表ヲ出ダシ且論シテ曰然レモ單ニ紙幣流通額ヲ以テ其下落セルヤ否ヤヲ判スルノ標準ト爲ス可カラサルヲハ委員モ亦最モ強ク論セシ所ナリ而

テ過クル二年間英國ガ歐洲大陸ニ巨額ノ仕拂ヲ爲セシヲハ以テ爲替ノ下落セシ所以ヲ解釋スルニ足レリ歐洲大陸中紙幣ノ

行ハレザル諸國ニ於テ諸物品直段ノ騰貴セルヲ英國ト同様ノ  
 度ニ達セリト而テ氏ハ銀行紙幣ノ發行ハ地金相場若クハ爲替  
 相場ニ影響スト云フ說ノ非ナルヲ證センガ爲メニ長キ論ヲ爲  
 セリ

ヘンリー、ソルトン氏曰地金調査委員ト英蘭銀行ト相争フ大  
 疑問ハ其紙幣發行ヲ序理スルニ地金相場及外國爲替相場ヲ以  
 テセザル可カラザルヤ否ヤ又タ其紙幣過發ヨリ地金相場及外  
 國爲替相場ノ上ニ影響ヲ及ボセシヤ否ヤニ在リト而テ氏ハ報  
 告書ノ原理ヲ辨護スル長キ論ヲ爲シ其眞理タルコトヲ徵ス可  
 キ明證トシテ一千八百五年ノ佛蘭西銀行ノ實例ヲ指摘セリ蓋  
 此時佛蘭西政府ハ國債ヲ募集セザル可カラザルノ事情ニ際會  
 セント雖佛蘭西銀行ニ就テ之レヲ募集スルガ如キハ該銀行ノ  
 規則ニ反スル所ナルヲ以テ商人中ヨリ之ヲ募集セリ是ニ於テ

乎商人ハ募集ノ金額ニ應スル丈ケノ手形ヲ造リ之ヲ佛蘭西銀  
 行ニ携ヘテ割引ヲ請ヘリ故ニ到底該銀行ハ眞ノ債主トナリシ  
 者ニシテ之ガ爲メニ該銀行ノ紙幣大ニ増加シ隨テ又正金ノ取  
 付ケ大ニ増加セリ是ヲ以テ該銀行ハ大損失ヲ冒シテ諸地方ヨ  
 リ正金ヲ回收セザルヲ得ザリシ耳ナラズ遂ニ仕拂ヲ停止セザ  
 ル可カラザルニ至リシカバ其紙幣ハ一割乃至一割二分ノ割引  
 ナ生シ外國爲替相場ハ一割ヲ下落セリ然レモ該銀行ハ勉メテ  
 其紙幣ヲ減少シ三ヶ月ニシテ容易ニ紙幣兌換ヲ再始セシカバ  
 外國爲替相場モ直ニ回復セリ又ソルトン氏ハ同一ナル現像  
 ノ起リシ他ノ諸國ノ實例ヲモ指摘シ次ニ貨幣本位ノ問題ニ論  
 及シ紙幣ノ斯ク絶ヘズ下落セルガ爲メニ大ニ貨幣本位ノ攪擾  
 セラレタルヲ述ベタリ氏曰貨幣ヲ劣惡ニセントノ議論ハ日  
 一日ト強キヲ加フルナリ蓋或ル歲月ヲ經過セシ後ハ反テ貨幣

チ劣悪ニスルヲ以テ正道ニ合ヘリト爲スニ至ル可ケレハナリ  
 吾人若シ下落紙幣ヲ用ユルヲ僅ニ二三年ニ止マラシムニハ從前  
 ノ本位ニ複スルヲ以テ正道ニ合ヘリト爲スト雖若シ紙幣ノ下  
 落セシ以來十年若クハ二十年ノ久シキヲ經過スルニ及ンデハ  
 從前ノ本位ニ複スルヲ反テ不正トナルニ至ル可ケレバナリト  
 而テ氏ハ機ノ未タ過キザルニ先チテ速ニ從前ノ本位ニ複セン  
 ヲ議院ニ強諫シ以テ其論ヲ結ベリ  
 ヴァンシタート氏ハホルチル氏ニ反對スルノ決議案ヲ動議シ長  
 キ論ヲ爲シテ以テ報告書ノ主義ヲ駁セリ氏曰正貨ヲシテ外國  
 爲替相場ヲ騰貴スルノ影響ヲ生セシムル唯一ノ方法ハ之ヲ輸  
 出スルニ在リ而テ正貨ノ輸出法律ヲ以テ禁セラル、以上ハ正  
 貨ハ如何ナル影響ヲモ爲替相場ノ上ニ及ホス者ニ非ズト此說  
 ノ驚ク可ク誤レルヲハ此書ノ前諸章ニ於テ十分ニ之ヲ證シタ

ルヲ以テ今又茲ニ之ヲ反覆スルヲ要セザルナリ然レモ此說ハ  
 氏ガ次ニ突入セル數多ノ暴論ニ比スレバ尙ホ稍々實着ナル者  
 アリト云フ可シ氏ハホルチル氏ノ決議案中前ノ七箇條ハ本位  
 ナル者ヲ以テ觸知シ得可キ者ト爲スノ謬想ニ基ケルヲ述ヘ  
 論シテ曰此等ノ紳士ガ本位ナル語ヲ用ユル意義ニ從ヘバ本位  
 トハ價值ノ尺度トナル資金ノ一定不變ノ量目ヲ指ス者ト爲セ  
 ドモ余ハ斯カル本位ノ曾テ我國ニ存セザリシヲ斷言セント  
 スト而テ氏ハ法律上通用ヲ許サレタル貨幣ノ量目ハ一定セル  
 者ナリト爲スホルチル氏ノ決議案ノ趣旨ヲ嘲笑セリ且氏ハ己  
 レノ狂論ヲ證センガ爲メニ貨幣劣惡トナリテ其量目ヲ失ヒシ  
 ニ拘ラズ尙ホ法貨トシテ行ハレシヲアルノ實例ヲ指摘シ主張  
 シテ曰貨幣トハ地金一定ノ量目ヲ云フ者ニ非ザルヲハ此等ノ  
 實例ニ因テ之ヲ證ス可シト氏ハ又紙幣下落セルヤ否ヤノ疑問

ハ此一點ニ屬スルコトヲ述ベ論シテ曰金銀一定ノ量目ニ因テ算シタル價值ノ如キハ英蘭銀行紙幣及我國ノ合法正貨ノ曾テ決シテ有セザリシ所タレバ銀行紙幣ガ此價值ヲ失ヒタリト云フ説ハ余ニ於テハ之ヲ許スヲモ要セズ又拒ムヲモ要セズト思惟ス蓋銀行紙幣ハ世人ガ英蘭銀行ニ置ク所ノ信憑ヨリ起ル通<sub>レド</sub>用價值ノ外ハ他ニ何等ノ價值ヲモ有スル者ニ非ス而テ銀行紙幣ガ從前ト同シク十分ニ此價值ヲ有スルコトハ余ノ固信スル所ニシテ余ノ決議案ノ第三條ニ明瞭ニ此事ヲ記セリト而テ氏ノ演説ノ爾餘ノ部分ハ單ニ斯カル狂説ヲ反覆シ布衍セルニ過ギザルヲ以テ茲ニ更ニ之ヲ詳察スルハ徒ラニ時間ヲ空費スル者ナルノミ然レモ茲ニ更ニ指摘セサルヲ得ザル所ノ今一ノ點アリ氏曰然ラハ則貨幣價值ノ減少ハ外國爲替相場ヲ騰貴セシムルノ結果アラント雖決シテ之ヲ下落セシムルノ結果ナキヲ知

ル可キナリト即此語ノ意タル一國貨幣ノ愈劣惡トナリ愈下落スルニ從ヒ外國人ハ愈之ヲ重シ外國爲替相場愈騰貴ス可シト云フニ在リ故ニ此説ニ從ヘバ夫ノ佛國ノ紙幣ガ内國ニ於テ日ニ益下落セシニ當テ外國人ハ之ニ對シテ益多クノ正貨ヲ與ヘシナラザル可カラズ即佛人ハ一千二百法ノ紙幣ニ對シテ單ニ一「リザル」ノ正貨ヲ與ヘシニ當テ英人及其他ノ外國人ハ紙幣ノ額面價ニ當ル丈ケノ正貨ヲ與ヘシナラザル可カラズ加之<sub>ツ</sub>ンシタ<sub>リ</sub>ト氏ノ説ニ從ヘハ其以上ノ正貨ヲモ與ヘシナラザル可カラズ而テ次ニ氏ハ銀行紙幣ノ取引ト正貨ノ取引トノ間ニ差ナキコトノ事實ヲ擧ゲテ喋々己レノ説ノ當レルヲ誇レリ氏ハ己レガ一千八百四年ノ愛爾蘭委員ノ一人タリシコト及ヒ當時愛爾蘭銀行紙幣下落セリトノ説ニ同意セシコトヲ許セリ然レモ氏論シア曰此二ノ場合ハ相比ス可カラズ何トナレバ愛爾蘭ニ於



アハ正貨公然増打ヲ以テ賣買セラレシ耳ナラズ正貨ニテ仕拂  
 フキト銀行紙幣ニテ仕拂フキトハ物品直段ニ確然タル差アリ  
 シト雖英蘭ニ於テハ銀行紙幣ハ正貨ニ同一ナリトシテ通用セ  
 ラレタレバナリト然レモ氏ハ愛爾蘭銀行紙幣ノ此下落ハ紙幣  
 ノ過發ヨリ來リシトノ説ヲ拒ミ當時ノ政治上ノ事情ヨリ來リ  
 シ者ト爲セリ

報告書ノ決論ニ反對スル重モナル議論ハ以上掲グルガ如クニ  
 シテ此等ノ議論タル其形ヲ小變シテ絶ヘズ再出セシ所ナリ然  
 レモ余ハ造幣篇ニ於テ既ニ詳論セシ所アルヲ以テ大英國ノ貨  
 幣ハ金銀ノ一定ノ量目ヲ有ス可キ者ニ非ズト云フ説ノ暴且愚  
 ナルヲ茲ニ再ヒ痛論スルハ全ク無用ニ屬センノミ若シ此説  
 眞ニシテ貨幣ノ價值ハ其含ム金銀ノ量目ニ因テ規定セラル、  
 者ニアラズトセバ貨幣ヲシテ聊サカタリトモ金銀ヲ含マシム

ルノ要果シテ何處ニカアル全ク之ヲ含マシメスシテ可ナルニ  
 アラスヤ

日常ノ賣買ニ於テ正貨ト銀行紙幣トノ間ニ差ナクシテ愛爾蘭  
 ニ於ケルガ如ク正貨公然増打ヲ以テ賣買セラレザリト云フ  
 説ニ關シテハ之ニ對スル答辨單純ニシテ且爭フ可カラザルナ  
 リ何トナレバ若シ此ノ如クナリシトモ是レ唯刑罰ヲ恐ル、  
 ガ爲メニ然リシニ外ナラザレバナリ現ニ議院ニ此討論アリシ  
 時ニ當リ二十志以上ノ相場ヲ以テ金貨ヲ賣リタリトノ告發  
 ナ受ケシ者三人アリテ此三人ハエドワード四世ノ法律ニ照ラ  
 シテ有罪ト判決セラレタリ而テ此法律ハ愛爾蘭ニハ及ハザル  
 ナ以テ該國ニ於テ金貨ノ公然増打ヲ以テ賣買セラレシ者ハ之  
 ナ禁スルノ法律ナキニ因ルヲ明ナリ然ルニ英蘭ニ於テハ此事  
 罪トシテ禁セラル、所ナリシテ以テ其結果トシテ金貨悉ク流

通上ヨリ退キタリ然モゾアンシタト氏ハ更ニ他ノ攻撃ヲ與ヘ  
 テ以テ論ヲ挑ミタリ氏ハ商人ガ正貨ヲ受取ルト銀行紙幣ヲ受  
 取ルトニ從テ其直段ヲ異ニスルハ法律許ル所タルヲ認メ而  
 テ商人ガ之ヲ爲サバリシヲ論シタリ此點ニ關シハ氏ハスキ  
 リン氏ヨリ明瞭ナル反駁ヲ受ケタリハスキントン氏曰若シ紙幣  
 ニシテ幾分ニテモ公衆ノ敬重ヲ維持シタリトセバ是レ全ク恐  
 怖ノ情ヨリ起リタル助力ニ基カザル可カラズ即當時ニ在テ將  
 サ一墮落シ來ラントセシ不幸ヲ察スルヨリ起リタル助力ニ基  
 カザル可カラズ故ニ此事ノ一トヲ比定マルニ及ンデハ公衆ノ  
 之ヲ敬重スルヲ減シ忽チニ紙幣ノ有様眞ニ如何ナル乎ヲ證ス  
 ルナル可シ既ニ今日ニ在テモ國內各地方ニ於テ二様ノ直段行  
 ハル、トニシテ余ハ此事實ノ疑フ可カラザル證左テ有セリ余  
 ハ斯カル事ニ親熟セル人ヨリ得タル書狀ヲ懷ニセリ此書狀ニ

據レバ地方ニ於テ二様ノ直段行ハレ金貨ノ通常ノ増打ハ半「ク  
 ロウン」ナリト云ヘリト  
 又地金調査委員ノ一人タルシャープ氏ハ銀行紙幣下落セルヲ  
 證ス可キ他ノ事實ヲ附加セリ氏曰キニ「屯在セル兵  
 士ニ給センガ爲メニ彼處ニ正貨ヲ送ルヲ常トセリ然ルニ近頃  
 一〇金貨ヲ二〇三志ニ算シテ之ヲ兵士ニ給シタリシニ一隊ノ兵  
 士ハ此割合ヲ以テ金貨ヲ受取ルヲ拒ミタリト又氏ノ説ニ曰  
 正貨一千「ギニー」ノ遺物ヲ受ケタル人アリテ之ヲ以テ國債證書  
 ヲ買ハントシテ三分利附國債ノ相場幾何ナルヤヲ問ヒシニ六  
 十四磅半ナリトノ答ヘテ得タリ然レモ彼レ更ニ問フニ若シ正  
 貨ヲ以テ仕拂ハバ其直段幾何ナルヤヲ以テセシニ六十磅ニテ  
 賣ル可シトノ答ヘテ得タリ而テ彼レ現ニ此相場ヲ以テ之ヲ買  
 ヘリト左レバ氏ノ説ニ據レバ政府ハウエストミンスターニ於テ

ハ金貨ト銀行紙幣ト同價ナルヲ主張セルニ拘ラズ尙ホ不正ニモ一金貨二十三志ノ割合ヲ以テ之ヲ兵士ニ給セシナリ又フランシス、バルデット氏ノ説ニ曰シユルシニ於テハ同地ノ銀行紙幣ニ比スレバ英蘭銀行紙幣ハ三分ノ割引ヲ生シタリト又曰國內ヲ通シテ一般ニ二様ノ直段行ハル、コト著明ナリト又氏ハ其自カラ實驗セシ所ヲ述ヘテ曰余ハ仕拂フ所ノ正貨タルト銀行紙幣タルトニ從ヒ大ニ異ナル直段ヲ以テ葡萄酒ヲ賣ラレタリト

余ハ此緊要ニシテ興味アル討論ニ關シ既ニ多ク紙面ヲ費ヤシタルヲ以テ又此事ニ關スル他ノ演説ヲ觀察ス可キノ餘白ヲ有セザルナリ蓋報告書ノ議論及事實ハ苟モ吾人ノ認諾ヲ與フ可キ如何ナル原理ニ徵スルモ十分ニ満足ス可キ者ナルヲ以テ吾人ハ又如何ナル議論ノ以テ之ニ反對ス可キ者アル乎ヲ知ラン

ヲテ欲セリ然ルニ其議論タルヤ他ナシ磅トハ觸知シ得可キ者ニ非ズト云フニ在ルノミ磅ハ幻想的ノ虛相ナリ曖昧不定ノ假像ナリ無形的ノ空物ナリ決シテ磅ナル實躰ノ存スルニ非ズト云フニ在ルノミ故ニ貨幣タルト地金銀タルトヲ問ハズ各物ハ此幻想的ノ虛相ヲ中心トシテ無限ニ變シ得ル者ナリト云フニ在ルノミ磅ノ實躰ヲ有セザルハ一片ノ煙ヨリモ甚シト云フニ在ルノミ磅ハ思議ス可カラザル方法ニ由テ人ヨリ人ニ通セラレ、價値ノ感覺ナリト云フニ在ルノミ而テケンニング氏ハ其演説ニ於テ此愚妄ナル説ノ主唱者ヲ寬假スル所ナク嘲罵セリ又氏ハ市價ニ從テ金貨ヲ通用スルヲ許サザルガ爲メニ金貨全ク市場ヲ去ルニ至リシヲ説キ弗銀貨ノ如キモ法律ヲ以テ強ヒテ下落セル紙幣ト同價ニ通用セシメントスルニ當テハ市場ヲ去ラントセシト雖市價ニ從テ之ヲ通用スルヲ許スニ及

ビ忽チニ再ヒ市場ニ出テシヲ述ベタリ斯ノ如ク氏ハ報告書  
 ノ原理及議論ニ悉ク一致シタリト雖尙ホ二年ノ短時期ヲ以テ  
 英蘭銀行ニ正貨仕拂ヲ再始セシムルハ得策ニ非スト爲セリ  
 四夜ノ討論ノ後チ委員會ハホルテル氏決議案ノ第一條ニ關シ  
 テ可否ノ起立ヲ取リシニ七十五人ニ對スル百五十一人ノ多數  
 ナリテ非決セラレタリ又次ノ十四箇條ハ起立ヲ取ルニ及ハズ  
 シテ非決セラレ最後ノ一箇條ハ四十五人ニ對スル百八十八人ノ  
 多數ヲ以テ非決セラレタリ而テ夫ノロベルト、ピール氏モ多數  
 黨ニ列セシ一人ナリキ  
 宰相ハ斯ノ如キ多數ヲ以テ地金調査委員ヲ破リシヲナレバ最  
 早此議論ヲ束縛ニ歸セシムルヲ已レニ取テノ得策トセシナル  
 可シ蓋銀行紙幣下落セルヤ否ヤノ二黨相爭フ事實上ノ疑問ニ  
 關シテハ更ニ一語ヲモ費ヤスノ要ナキナリ然ルニ宰相黨ハ斯

ノ如ク明瞭覆フ可カラザル事實ニ對シテ妄リニ抗論シ敢テ慎  
 ム所ナカリキ若シ夫レ宰相黨ニシテ此事實ハ則之ヲ許シ單ニ  
 其議論ヲ戰爭間ニ急激ナル變動ヲ起スハ國家ニ不利ナリト云  
 フノ一點ニ止メタランニハ容易ニ其面目ヲ維持スルヲ得シナ  
 ル可シ然ルニホルテル氏決議案ノ全敗ヲ取リシヲ以テ尙ホ足  
 レリトセズシテヴァンシタート氏ハ已レノ威權及自黨勢力ノ盛  
 ナルヲ頼ミ徒ラニ壓制ノ慾ヲ逞フセンガ爲メニ下院ヲシテ嘲  
 弄ト愚妄トノ最深ノ底ニ陥ラシム可キ處置ニ出デントニ決セ  
 リ即チ氏ハ一連ノ決議案ヲ動議シタリ此決議案ハ長キヲ以テ  
 茲ニ之ヲ引擧スル能ハズト雖其趣意ヲ摘括スレバ左ノ如シ曰  
 貨幣ノ含ム地金ノ量目ハ各君主ノ隨意ニ定ム可キ者ニシテ一  
 定ナル者ニ非ス曰英蘭銀行紙幣ハ單ニ斯カル貨幣ヲ仕拂フノ  
 約束タルニ外ナラズシテ世人ハ常ニ之ヲ我國ノ合法正貨ト同

視シ又今日ニ於テモ同視セリ而テ法律上此合法正貨ヲ使用シ得可キ一切ノ金銀上ノ取引ニ於テハ一般ニ此正貨ニ同一ナリトシテ銀行紙幣ヲ受授セリ曰地金相場ノ騰貴及爲替相場ノ下落ハ決シテ銀行紙幣ノ過發ニ原因スル者ニ非ズト氏ハ此決議案ヲ提出スルニ當リ驚ク可ク長キ演説ヲ爲シ内國貨幣ノ有様如何ハ外國爲替相場ノ上ニ何等ノ影響ヲモ及ボス者ニ非ストノ氏ノ前説ヲ反覆再陳シ未聞ノ大膽ヲ以テ議院ノ記録セラレタル意見及當時諸記者ノ萬口同音ノ意見ヲ無視シ一千六百九十六年及一千七百七十四年ニ於テ外國爲替ノ下落セシハ貨幣下落ノ原因ニシテ之ガ結果ニ非ズトノ奇怪ナル説ヲ吐ケリケンニング氏ハ宰相黨ガ地金調査委員ノ敗テ取リシニ満足シ議院外ニ在テハ何人モ笑ヲ含マズシテ語ル能ハザル此愚ナル決議案ヲ更ニ通過セシメテ以テ議院ノ營譽ヲ汚ス勿

ラソコチ宰相黨ニ勸説セシト雖其効ナク氏ノ修正説ハ四十二人ニ對スル八十二人ノ多數ヲ以テ非決セラレ而テジャンシッタート氏ノ決議案ハ遂ニ可決セラル、所トナレリ金貨ノ公然増打ヲ以テ賣買セラレザリシ者ハ此事ヲ以テ罪トセシニ因ル者ニシテ現ニ之ガ爲メニ密問ヲ受ケ有罪ト判決セラレシ者三人アリシトハ余既ニ之ヲ記セリ故ニ斯カル事情ノ下ニ在テ銀行紙幣ト正貨ト其價值ニ差ナシトノ論ヲ立ツルガ如キハ陋劣賤ムニ堪ヘタル詭辨ナルノミ然レモ此事ニ關スル法律ニ對シテ當時與ヘラレタル解釋ホド愚ナルハ非ザルナリ蓋二十志以下ノ地金ニ對シテ銀行紙幣ヲ與フルトハ有罪ナリト思惟セラレシト雖尙ホ商人ガ正貨ト銀行紙幣トニ從ヒ其賣ル物品ノ直段ヲ異ニスルハ十分ニ法律ノ許セシ所ナリ夫ノヴァンシッタート氏ハホルテル氏ノ決議案ヲ駁スル演説ニ於テ商人

ガ此事ヲ爲サバリシヲ論シテ以テ己レノ論敵ヲ嘲罵セリ然レ  
 此法律ヲ避クルハ最モ容易ナル所ナレバ氏ガ如何ニシテ斯  
 カル愚論ヲ爲シ得シ乎テ怪マザルヲ得ズ即何人ト雖廿一志以  
 上ノ相場ヲ以テ金貨ヲ賣ラント欲セハ偽賣買ノ手段ニ因テ法  
 律ヲ避クルト最モ容易ナリトス先ツ紙幣一磅及銀貨五志ニ對  
 シテ一ノ麵包ヲ賣リ再ヒ金貨一「ギニー」ヲ以テ之ヲ買戻ス可シ  
 即金貨一「ギニー」ト紙幣一磅及銀貨五志トノ交易ハ此單純ナル  
 手段ニ因テ之ヲ行フヲ得可クシテ此手段タルヤ全ク法律ニ合  
 ハル者ナリ然レ<sup>コレトナフ、コレモ、コレニス</sup>常訴裁判所ハ判事一同異議ナクシテ夫ノテ、  
 ヨングノ判決ヲ破毀シ増打ヲ以テ金貨ヲ賣買スルハ有罪ニ非  
 ズト布告セシカバ又斯カル欺計ヲ行フヲ要セザルニ至レリ  
 議院ハ斯カル粗暴氣隨ナル處置ヲ恣ニシ英蘭銀行ノ無謀ナル  
 舉動ニ向テ大ナル獎勵ヲ與ヘシテ以テ爾來各人財産ノ價值ハ

一ニ該銀行取締役ノ意志如何ニ屬スルコトハ苟モ此問題ヲ解ス  
 ル者ニ取テハ明ナラザル可カラズ而テ此事ヤ定額ノ年金ヲ受  
 クル者ニ對シテ最モ驚ク可キ結果ヲ生ジタリ何トナレバ日常  
 必要ノ諸物品ハ紙幣下落スルニ從テ益騰貴スルト雖定額ノ借  
 地料ヲ得ル所ノ地主ノ如キハ下落セル紙幣ヲ以テ之ヲ受取ラ  
 ザルヲ得ザレバナリ而テ其借地人ハ其賣ル物品ニ對シテ名ノ  
 ミノ高價ヲ受取リシナリ此ノ如ニシテ事態益甚シキヲ加ヘ三  
 月ニ至リ地金相場ハ一匁ニ付四磅十六志ニ騰貴シタリシカバ  
 キング公ハ己レノ借地人ニ廻章ヲ送り當初ノ契約ハ我國合法  
 正貨ノ若干ヲ仕拂フニ在リシ者ニシテ今日ノ紙幣ハ著シク下  
 落セルコトヲ告ゲタリ即チ氏曰余ハ將來我國ノ合法金貨ヲ以  
 テ借地料ヲ受取ラント要ス然レ<sup>レ</sup>余ノ目的ハ唯當初契約ニ  
 定メタルト同一ノ實價アル借地料ヲ受取ラントスルニ在ルガ

故ニ契約ニ定メタル「ギニー」金貨ノ額ト同量ナル葡萄牙金貨ヲ以テ之ヲ仕拂ヒ若クハ借地料ヲ仕拂フニ要スル丈ケノ造幣金ヲ買フニ十分ナル紙幣ヲ以テ之ヲ仕拂フアラバ之ヲ受取ルヲ諾ス可シト

斯カル要求ノ正當ナルヲ何人ト雖之ヲ拒ミ肯ンゼザル可シ然ルニキング公ガ下院ノ決議ニ對シテ此實際的ノ刺譏ヲ加ヘシガ爲メニ公ハ愛國心ナシトテ無限ノ誹謗ヲ敵黨ヨリ受ルニ至レリ蓋公ノ要求ハ如何ナル點ヨリ觀察スルモ法理ニ合ヘル耳ナラズ又之ヨリ公平ナルハアラザル也其借地人ハ農産物ヲ賣リテ増加セル直段ヲ受取ルニ拘ラズ從前同額ノ借地料ヲ下落セル紙幣ヲ以テ公ニ仕拂フナリ故ニ其借地人ニシテ紙幣ノ下落セルガ爲メニ穀物ニ對シテ増加セル直段ヲ得ルトスレバ公モ亦同様ニ増加セル借地料ヲ得ザル可カラザルヲ明ナリ然

ルニスタンホープロ公ハ正貨ノ仕拂ト銀行紙幣ノ仕拂トノ間ニ差ヲ立ルヲ以テ輕罪ト爲スノ議案ヲ提出シ此議案ハ大ニ修正ヲ受ケシ後チ遂ニ可決セラレタリスタンホープロ公ハ此議案ヲ提出セシト金貨「ギニー」ニ對シテ二十七志ノ代價要求セラレタル數多ノ實例ヲ述ヘタリ又ホルランド公ノ說ニ據レバ通常金貨「ギニー」ニ對シテ一磅ノ紙幣ト七志ノ銀貨與ヘラレシト云ヘリ嗚呼下院ハ僅ニ二月前ニ於テ金貨及銀行紙幣ハ同價ナリトノ決議ヲ凱歌ヲ奏シテ通過シ此決議ハ顯然トシテ其討論録ニ存スル所ナリ故ニ右ノ事實ハ此決議ニ對スル驚嘆ス可キノ註解ト云フ可キナリ

クレンヰル公ハ最モ熱心ニ此議案ニ抵抗セリ且公ハ最初兌換停止條例ヲ出シタル内閣ノ一員タリシヲ以テ公ノ說ハ特ニ價値アリトス公曰余ハ我國ノ宰相ガ彼ノ夜ニ於ケルガ如ク辱ツ





我國ニ存ゼザリシ所ナリ合法貨幣トハ紋章ヲ印刻セラレタル貨幣ヲ是レ云フナリ之ヲシテ鑄解輸出ス可カラザル合法貨幣クラシムル者ハ實ニ此紋章ニ在テ其量目及性合ニ非ザルナリ余ハ余ノ對論セザル可カラザル人ノ如何ナル數學者タルヤヲ知ラザルナリ然レモ法律ヲ以テ銀行紙幣及金貨ハ共ニ磅ニ對シテ一定ノ割合ヲ有スル者ト爲ス以上ハ銀行紙幣及金貨モ亦互ニ相同一ナリトス余ハ之ヲ證センガ爲メニ單ニ幾何學ノ原則ニ徴セバ足レリ蓋一物ニ同シキ者ハ又互ニ相同シト云フハ幾何學ノ原則トシテ確立セラル、所ナレバナリト

吾人ハ常ニ地球ノ運動ハ虛偽ナリトノ判決ヲ下タセル夫ノ宗教裁判所ノ有名ナル命令ヲ嘲笑シ該裁判所ノ糺責ヲ受ケテ退クニ當リ然ルニモ關セス地球尙ホ運動ス」ト獨語セルガリ、

ニ對シテ同情ヲ懷ケリ然レモ實際ニ「ギニー」ノ金貨ガ一磅ノ紙幣及七志ノ銀貨ニ對シテ賣買セラル、ニ拘ラス尙ホ世人ノ金貨ヲ視ルニ銀行紙幣ニ一ナリト公言セル議院ノ此有名ナル決議及法律ガ同價ナル可シト布告セルガ故ニ現ニ同價ナリト主張セルスタンホーパ公ノ此斷定説ハ其愚ナルヲ之ヲ右宗教裁判所ノ命令ニ比スルニ更ニ遙カニ越ユル所アリ而テ吾人ハ宗教裁判所ノ有力ナル祖先ヲ回顧シテ寧ロ欣然タル者アルト同時ニ又ヴァンシタート氏ノ決議案ヲ想起シテ端然カラザルヲ得ザルナリ

此議案ハ上院ニ在テハ其通過ノ各段落ニ於テ烈シク爭議セラレタリト雖遂ニ十六人ニ對スル四十三人ノ多數ヲ以テ第三讀會ヲ通過セリ又下院ニ在テモ討論激ニシテ久シキニ亘リシト雖遂ニ二十八人ニ對スル九十五人ノ多數ヲ以テ可決セラレタリ

而テ初メ此條例ハ一千八百十二年三月二十四日ニ至テ其期盡  
 クルコト定メシト雖其後兌換停止條例ノ續ク間ハ此條例モ亦  
 續クコトナレリ  
 余ハ一千八百九年及一千八百十年ノ投機過商ノ結果ニ關シテ  
 論ス可キ者アリト雖後章ニ至リ商業上ノ手形ニ對シテ紙幣ヲ  
 發行スルコトニ關スル英蘭銀行ノ主義ヲ論ス可キガ故ニ其章ニ  
 至ルマデ之ヲ遷延ス可シ  
 兌換ヲ再始スルコトニ抗シテ主張セラレタル今一ノ議論ハ英蘭  
 銀行ヲシテ騰貴セル市價ヲ以テ金ヲ買ハザルヲ得ザラシムル  
 ハ不正ナリト云フニ在リ蓋當時討論ニ與カリシ人々ノ利害ハ  
 深ク此等ノ問題ニ關セシガ故ニ隨テ公平ニ之ヲ觀察スル能ハ  
 ザル者アリシト雖今日吾人ヨリスレバ一層公平ニ之ヲ觀察ス  
 ルヲ得ル所ニシテ吾人ハ當時英蘭銀行ヲシテ金ヲ買ハザルヲ

得サラシムルモ此事ニ於テ一ノ困難アル可カラザリシコトヲ看  
 破スルヲ得可シ抑下落セル紙幣ヲ以テ仕拂ヲ受ケタル各債主  
 ハ其正當ニ受ク可キ返金ノ二割ヲ欺奪セラレシ者ナリ而テ英  
 蘭銀行ガ其紙幣ノ所持人ヲ損セシメテ己レ大利ヲ博セシコト  
 考フルキハ該銀行ハ其費用ノ幾何ナルニ拘ラズ其責任ヲ盡ス  
 ニ十分ナル金ヲ買ハザル可カラザルコト明ニシテ是レ實ニ正道  
 ノ要スル所タリ而テ紙幣所持人ノ受ケシ損害大ハ則大ナリト  
 雖尙ホ一時ニ止マレリ一般國民ノ受ケシ損害ニ至テハ更ニ之  
 ヨリモ大ナリトス何トナレハ此下落紙幣ヲ以テ募集セル國債  
 ノ負擔大ニ重キヲ加フルニ至リタレバナリ  
 一千八百十一年ノ收穫ハ非常ニ不登ニシテ加フルニ當時ナボ  
 レナンノ權勢ハ其頂點ニ達シ歐洲大陸ヨリスル供給ノ泉源全  
 ク遮塞セラレタリ左レバ同年ノ半バニ際シ穀物ノ直段速ニ騰

貴シ翌一千八百十二年八月ニ至リ戰爭間ノ最高點ニ達セシマ  
 テハ益騰貴シテ止マザリキ當時英蘭及ウェールズニ於ケル小麥  
 ノ平均直段ハ百五十五志ニシテ或ルダントズツク産ノ小麥ノ  
 如キハ百八十志ニ達セリ而テ一二ノ場合ニ於テハ大麥ノ直段  
 八十四志ニ達セシヨアリ而テ相反對スル夫ノ二主義ノ主唱者  
 ハ互ニ此非常ノ騰貴ヲ以テ相異ナル原因ニ歸シタリ即甲黨ハ  
 之ヲ以テ殆ド全ク紙幣ノ下落ニ歸シ乙黨ハ之ヲ以テ殆ド全ク  
 穀物ノ缺乏ニ歸セリトツク氏ハ後說ノ最モ有名ナル主唱者ニ  
 シテ氏ハ其說ヲ證センガ爲メニ當時殆ト正貨ノミ行ハレシ佛  
 國ニ於テモ穀價ノ同様ニ騰貴セシ事實ヲ擧ゲ以テ最モ強固ナ  
 ル議論ヲ提出セリ蓋トツク氏ノ此強固ナル議論ハ氏ガ當時ノ  
 人ヲリシ故ヲ以テ一層ノ勢力ヲ添ユル所ニシテ余ハ其許ス可  
 キハ十分ニ之ヲ許スト雖氏ガ穀物ノ騰貴ヲ獨リ其缺乏ニ歸シ

テ全ク紙幣下落ノ影響ヲ算外ニ除クニ至テハ余ハ氏ノ說ヲ當  
 レリト爲スヲ能ハザルナリ夫ノ紙幣直段ト正貨直段トテ區別  
 スルヲ禁スル條例出デシ前ニ在テハ國內ニ於テ紙幣直段ト正  
 貨直段トノ二様ノ直段一般ニ行ハレシヲハ吾人十分ノ實證ヲ  
 有スル所ナリ而テ此條例出デシ後ハ此事止ミテ獨リ紙幣直段  
 ノミ行ハレ金貨ハ地ヲ拂テ消滅スルニ至リシナリ然レモ若シ  
 仕拂ニ充ツルニ金貨ヲ以テスルニ於テハ正貨直段ト紙幣直段  
 トノ間ニ條例發布前ト同様ニ大ナル差アリシヲ必ス可クシテ  
 吾人豈之ヲ疑フヲ得ンヤ而テ金貨ヲ以テ仕拂ニ充ツル場合ニ  
 於テ斯カル差アリシナル可キヲ既ニ此ノ如シトセハ紙幣ノミ  
 ナ以テ仕拂ニ充ツル時ノ直段ハ正貨ヲ以テ仕拂ニ充ツル時ノ  
 直段ニ比スレバ此差ダケ騰貴セシナラザル可カラザルヲ明ナ  
 リ且一千八百十二年ノ穀物缺乏ハ一千八百八十年ノ穀物缺乏ヨリ

モ甚シト想像ス可キノ理由ナキ耳ナラズ之ヲ事實ニ徴スルニ  
 一千八百年ハ一千八百十二年ヨリモ反テ甚シキ者アリシニ似  
 タリ然ルニ一千八百十二年ニハ小麥ノ平均直段百五十五志ニ  
 達シ一千八百年ニハ百三十三志ニ止マレリ然ラハ則此差ハ如  
 何ナル原因ヨリ生セシ乎他ナシ據テ以テ直段ヲ算ス可キ紙幣  
 ノ下落セシニ原因セルヲ事實ニ徴シテ明瞭覆フ可カラズト余  
 ハ信ズルナリ又一千八百十二年五六月ノ交ニ在テハ地金ノ相  
 場ハ一弓ニ付約ソ四磅十八志ニシテ即此相場ヲ以テスレバ紙  
 幣ノ實價ハ十五志十一片ナリトス事實其レ斯ノ如クニシテ紙  
 幣ヲ以テ仕拂フキハ直段騰貴スルヲハスタンホーブ公ノ條例  
 發布前ニ在テハ十分ニ著明ナリシナリ然ルニ吾人ハ此直段ノ  
 騰貴ハ此條例ノ發布ト共ニ現ニ消滅セシ者ト想像ス可キ乎豈  
 此ノ如キ理アラシヤ

地金報告書ノ原理ハ議院ノ爲メニ斷然排斥セラレ二十一ヲ以  
 テ三十七ニ同一ナリト爲ス夫ノ決議ノ爲メニ誤謬ナリト宣告  
 セラレケレバ英國銀行ハ又其紙幣ノ實價ヲシテ其呼價ニ符合  
 セシメント勉ムルヲナク地金ノ市價ハ益騰貴シテ遂ニ一千八  
 百十三年十一月ニ至リ五磅十志ニ達セリ是レ實ニ其曾テ達セ  
 最高點ナリキ而テ一部ハ連年收穫ノ凶歉ニ基キ一部ハ紙幣  
 ノ下落ニ基キテ物品直段ノ騰貴久シキニ續キケレバ世人遂ニ  
 此事永遠ニ續ク可シトノ信ヲ懷クニ至レリ是ニ於テ乎土地ノ  
 賣買ニ關シテ非常ノ投機取引行ハレ荒地濕地ノ開拓セラレ、  
 者極メテ大ナリキ夫ノリンコンシヤニ於テ非常ノ農業上  
 ノ改良行ハレシガ如キハ則此時ニ在リ大抵ノ場合ニ於テハ借  
 地料ハ一千七百九十二年ニ比スレバ二倍増加シ當時新ニ締結  
 セシ所ノ一切ノ農業上ノ契約ハ斯カル法外ナル直段ニ基キテ

行ハレシ者ニシテ地主及借地人ハ齊シク其出費ヲ増加シ財産  
 ナ妻子ニ配與スルコト亦同一ノ度ヲ以テ増加セリ左レバ之ガ自  
 然ノ結果トシテ地方銀行ノ如キモ大ニ増加セリ即一千八百十  
 一年ニハ其數七百二十八ナリシニ一千八百十三年ニハ九百四  
 十ニ増加シ其紙幣發行高ハ之ヲ低算スルモ尙ホ約ソ二千五百  
 萬磅ナル可シト想像セラレタリ而テ一千八百十二年露國遠征  
 ノ役ニ於テ佛軍ガ蒙リシ大敗及レイプシクノ戰爭ノ後ハ露國  
 及北日耳曼ノ諸港英國ノ商業ニ對シテ開カレケレバ之カ爲メ  
 ニ輸出ニ關シテ非常ノ投機取引行ハル、ニ至レリ  
 一千八百十三年ノ收穫ハ驚ク可ク豊稔ナリケレバ一千八百十  
 二年八月ニ百五十五志ニシテ爾來一千八百十三年八月ニ至ル  
 マテ次第ニ下落シタリシ小麥ノ相場ハ一層下落シ一千八百十  
 四年七月ニハ僅ニ六十八志トナセリ而テ一千八百十四年ノ春

季ニ於テハ輸出ニ關スル投機取引熾ニ行ハレ輸出品ノ直段凡  
 テ騰貴シテ從前ニ比スレバ概テ一倍若クハ二倍セリ左レハ各  
 種ノ事業一トシテ前記ノ原因ノ爲メニ影響セラレザルハナク  
 當然ニシテ避ク可カラザルノ結果速ニ起レリ即激烈ナル反動  
 起リテ各種財産ノ直段一般ニ下落シ農民、商人、製造者、鑛業者、船  
 舶營業者、建築者等凡テ損失ヲ蒙リテ破産セルコト曾テ其例ヲ見  
 ザル程ノ甚シキニ至レリ蓋狂騒ノ際ニ在テ人々カ濫リニ契約  
 ナ締結シ投機取引ヲ營ムキハ其結果ノ爾後數年ニ亘リテ續ク  
 コトハ常ニ然ル所ニシテ此場合ニ於テモ亦然リシナリ即此慘禍  
 ハ一千八百十四年ノ秋季ニ始マリ翌十五年ヲ通シテ愈甚シキ  
 ナ加ヘ十六十七年ニ至テ其頂點ニ達セリ此數年間八十九ノ地  
 方銀行破産シ其一千八百十六年ノ紙幣發行高ハ之ヲ一千八百  
 十四年ニ比スレバ殆ト半額ニ減少シタリ

斯ノ如ク地方銀行紙幣ノ一般ニ信ヲ失ヒシコトハ恰モ一千七百九十三年及一千七百九十七年ノ事情ト相似タル者ニシテ世上信憑ノ破壊ヲ支ヘンガ爲メニ英蘭銀行紙幣ノ増發ヲ要シタリ而テ之ガ爲メニ英蘭銀行紙幣ヲ増發スルコト三百萬磅以上ニ及ヒタリト雖地方銀行紙幣ノ減少セルコト甚大ニシテ英蘭銀行紙幣増發高ノ三倍ニ下ラザル程ナリシカバ一般ニ紙幣ノ價值速ニ騰貴シ一千八百十五年五月ニハ地金相場五磅六志ニシテハムホルグニ對スル爲替相場ハ二八、二、巴里ニ對スル爲替相場ハ一九ナリシニ一千八百十六年十月ニハ地金相場ハ速ニ下落シテ三磅十八志六片トナリ又ハムホルグニ對スル爲替相場ハ三八トナリ巴里ニ對スル爲替相場ハ二六、一〇トナレリ而テ一千八百十七年七月マデハ概テ此相場ニテ續ケリ

是ニ於テ平地金報告書ノ原理ノ大勝利ヲ得シコト遂ニ證セラレ

タリト謂フ可シ蓋無價ナル剩餘紙幣除カレシヲ以テ一般ニ紙幣ノ價值騰貴シテ殆ト平價ニ復シ若シ此際少シク意ヲ用ヒバ之ヲ平價ニ復スルコト得テ爲ス可カリシナリ而テ地方銀行紙幣ノ濫發ヲ將來ニ制スルノ手段ヲ施シタランニハ此時ヲ以テ毫モ物議ヲ招クコトナク最モ容易ニ紙幣兌換ヲ再始スルヲ得シナル可シ

英蘭銀行ガ紙幣兌換ヲ再始スルノ最モ容易ナルコトヲ政府ニ通知セシコト數回ニ及ビシト雖常ニ政治上ノ理由ノ爲メニ之ヲ再始スル能ハザリシコトハ余既ニ之ヲ記セリ而テ一千八百十五年平和ノ遂ニ回復セラルルニ及ビ該銀行ハ何時ニテモ命ニ應シテ容易ニ紙幣兌換ヲ再始センガ爲メニ之ガ準備ヲ爲シ該年及翌十六年ニ於テ巨額ノ正金ヲ貯積シタリケレバ十六年十一月ニ至リ一千八百十二年一月一日前ニ發行シタル紙幣ヲ凡テ兌

換ス可キ旨ヲ揭示シ又十七年四月ニ至リ一千八百十六年一月  
 一日前ニ發行シタル紙幣ヲ凡テ兌換ス可キ旨ヲ更ニ揭示セリ  
 然ルニ此等ノ揭示ヲ爲セシニ拘ラズ金ヲ要求スル者ハ殆ト之  
 アルヲ見ザリキ蓋人民久シク紙幣ニ慣レシヲ以テ之ニ代ヘテ  
 金ヲ受取ルヲ最モ好マザリシニ因ルナリ英蘭西部ノ最大銀  
 行者ノ一人タルスタッケー氏ノ説ニ據レバ氏ノ得意者ハ凡テ氏  
 ノ紙幣ヲ擇ミ糞キニ金貨ヲ匿藏シタリシ人ノ如キモ多クハ之  
 ニ代ヘテ紙幣ヲ得ンヲ懇請シ地方ニ於テハ毫モ金貨ヲ拂出  
 スニ由ナカリシカバ氏ハ紙幣兌換ノ半ハ再始セラレタル此時  
 期間ニ於テ己レノ手ニ集積シタリシ剩餘ノ金貨ヲ遠ク倫敦ニ  
 送ラザルヲ得スシテ爲メニ殆ド百磅ヲ費ヤセリト云ヘリ  
 之ヨリ先キ一千八百十二年三月ヲ以テ兌換停止條例ヲ一千八  
 百十六年七月マテ延期シタリキ此議案ハナポレナンガエルバ

ヲ出デタリトノ新聞未ダ英國ニ達セザル前ニ提出セラレ且可  
 決セラレタルナリ而テ此議案ノ可決セラルト殆ド同時ニ戰  
 争新ニ起リ遂ニ夫ノウクトロロノ戦争ヲ以テ其局ヲ結ベリ  
 左レハ宰相ハ此役ノ費用ノ爲メニ金融ノ閉塞ヲ起サント恐  
 レ更ニ兌換停止條例ヲ一千八百十八年七月マテ延期セリ  
 此時紙幣兌換ヲ半ハ再始セシトハ十分ノ功ヲ奏シ之ガ爲メニ  
 敢テ大ニ金貨ノ取付ケヲ起スナク一千八百十七年十月マデ  
 ハ金貨益英蘭銀行ニ集積シ遂ニ此時一千九百九十一萬四千磅  
 ノ最高額ニ達シタリ而シテ此月該銀行ハ一千八百十七年一月  
 一日前ニ發行シタル紙幣ハ凡テ所持人ノ望ミニ應ジ正貨若ク  
 ハ新紙幣ニ兌換ス可キ旨ヲ揭示セリ然ルニ一千八百十七年間  
 ニ於テ外國政府ノ國債ヲ募集スルヲ甚多ク普露士、墺地利及歐  
 州爾餘ノ諸小國ハ其下落紙幣ニ代ユルニ正貨ヲ以テセノトナ

勉メ而テ貨幣英國ニ豊多ナリケレバ此國債ノ大部ハ英國ニ於テ募集セラレタリ左レバ之ガ結果漸ク一千八百十七年四月ノ頃ヨリ現ハレハムボルグ及巴里ニ對スル爲替相場下落シ地金相場騰貴スルニ至レリ而テ斯カル現像ハ一千八百十八年ヲ經テ翌十九年一月ニ至ルマテ次第ニ甚シキヲ加ヘ此時地金相場ハ四磅三志トナリハムボルグニ對スル爲替ハ三三、八トナリ巴里ニ對スル爲替ハ二三、五〇トナレリ而テ一千八百十七年七月ヨリ造幣局ハ巨額ノ新金貨ヲ發行セリ是ヲ以テ英國銀行ニ向テ正貨ノ取付ケ漸次ニ起リ前記ノ揭示ニ從テ金貨ノ引出サルハ六百七十五萬六千磅ニ及ベリ且恰モ此時ヲ以テ英國政府ハ出納局手形ノ利息ノ割合ヲ減少セリ而テ歐洲大陸諸政府ハ一層高キ利息ヲ與ヘシヲ以テ輸出ノ爲メニ金貨ノ需要大ニ起リ一千八百十八年ノ初メニ至テハ金貨大ニ流出セリ然ルニ英

蘭銀行取締役ハ斷シテ地金報告書ノ原理ヲ蔑如シ斯ク金貨ノ流出スルニ際シ政府ヘノ貸付金ヲ二千萬磅ヨリ二千八百萬磅ニ増加シ金貨ノ需要ハ輸出ノ爲メニ起リシ者タルヲ十分ニ知ルニ拘ラズ尙ホ其輸出ヲ妨ゲンガ爲メニ紙幣發行高ヲ減少スルヲ爲サバリキ之ト同時ニ地方銀行紙幣ノ發行高ハ一千八百十六年以後三分ノ二ヲ増加セリ金ノ需要ハ一千八百十八年及十九年間ハ益強キヲ加ヘ若シ法律ヲ以テ之ニ干渉スルニ非ズンバ英國銀行ノ金庫速ニ竭盡スルニ至ルヲ明瞭トナレリ是ヲ以テ一千八百十九年二月三日ヲ以テ上下兩院ハ英國銀行ノ實狀ヲ調査セシメンガ爲メニ委員ヲ任シ而テ委員ハ四月五日報告ヲ爲シ一千八百十六年及十七年ノ揭示ニ從ヒ金貨ヲ仕拂フヲ英國銀行ニ禁スル條例ヲ速ニ出タスヲ利トスル旨ヲ陳示セリ乃チ其後二日ニシテ此目的



ノ爲メニ一條例發布セラレタリ而テ下院委員ノ報告書ニ記スル所ニ據レバ一千八百十八年ノ前六ヶ月間ニ佛國造幣局ニ於テ金貨ヲ鑄造セシ一億二千五百萬法ニ及ヒ其四分ノ三八英國ノ金貨ヲ改鑄セシ所ニ係ルト云ヘリ此條例ヲ以テ當期ノ議院會開中ハ英蘭銀行ガ五磅以下ノ仕拂ニ於テモ又ハ其如何ナル紙幣ニ對シテモ金貨ヲ出ダスヲ全ク禁シタリ故ニ此條例ハ該銀行ノ門戸ヲ閉鎖シテ全ク正貨仕拂ヲ禁シタル者ナリ余ハ一千八百四年及一千八百十年ノ調査委員ノ名ヲ列記シタルヲ以テ又茲ニ一千八百十九年ノ上下兩院ノ調査委員ノ名ヲ列記ス可シ即下院ノ委員ハカストレリーフ公、ヴァンシッタート氏、トイルチー氏、ケンニング氏、ウエルレスリー、ポール氏、ラムプ氏、エフ、ロビンソン氏、グレンフォール氏、ハスキントン氏、アベルクロムビー氏、バンクス氏、ジェームス、マッキントシ氏、ピール氏、ジョン、ニコール氏、

リットルトン氏、ウイリントン氏、スチュアート、ウオルトレー氏、マニング氏、フランクランド、レウイス氏、アシハースト氏、シモン、ニッポルト氏ニシテ上院ノ委員ハハルロウビー公、ウエルリントン公、ランスタウソ公、モントロリス公、リヴァプール公、セイント、ゼルマインス公、パスアースト公、シドマウス公、アベルデーソン公、グレンヴィル公、キング公、グレンヴィル公、レッドスタル公、ラウデルダル公ナリ委員ノ報告書中余ノ本論ニ關係アル重モナル點ハ夫ノ地金報告書ノ大原理ニ關シテ證報者ノ懷ケル意見是ナリ蓋上下兩院ノ委員ハ何レモ貨幣ニ關スル原理ニ論及スルヲ爲サズシテ單一ノ處分法ヲ勸告スルニ止マリシト雖尙ホ最モ此問題ニ通曉セル數多ノ證報者ニ諮問シ而テ其證報者ノ答ヘシ所最モ意外ニ出テシ者アリ蓋一千八百四年及一千八百十年ニ於テハ紙幣ノ發行ハ爲替相場及地金相場ニ影響スル者ニシテ此二者ニ

因テ序理セラレザル可カラズト云フ原理ニ反對スルノ意見大ニ商人ノ答辨中ニ勢力ヲ振ヒシトハ讀者ノ記スル所ナル可シ然ルニ之ニ關セズシテ右二年ノ委員ハ全ク商人ノ答辨ニ反對スルノ意見ヲ其報告書ニ陳示セリ而テ爾來地金報告書ノ公衆ノ眼前ニ供セラレ、一九九年ニ及ヒ此問題ニ關シテ議院及新聞紙ニ於テ大ニ討論ヲ起セシト如何ナル他ノ問題ヨリモ激列ナル者アリキ故ニ若シ該報告書ノ原理ニシテ誤謬ナランニハ商業社會ノ人々ハ愈之ニ反對スルノ意見ヲ固執スルニ至ラザル可カラザルヤ明ナリ然ルニ其結果今果シテ如何ゾヤ蓋今ヤ諮問ヲ受ケタル商人ノ大多數ハ全ク地金報告書ノ原理ヲ是認スルニ至レリ商人輿論ノ強ク之ニ傾同セルト恰モ從前ニ在テ強ク之ニ反對セルガ如クナルニ至レリ嗚呼何者カ之ニ如クノ勝利アラシヤ該報告書ノ原理ハ商業社會ニ於テ覆フ所ノ多數

ヲ占メタル反對者ヲ化シテ反テ己レニ與ミセシムルニ至レリ其原理ノ詳密且正確ナルトテ徵スルニ於テ何者カ此事實ニ如クノ明證アラシヤ商人ノ輿論ニ於テ此驚ク可キ變化ヲ呈シタル一班ヲ親ハシメシガ爲メニ余ハ左ニ聊カ證報者ノ答辨ヲ摘出ス可シ英蘭銀行頭取ドルレイン氏ガ上院委員ノ諮問ニ應スル答辨中左ノ如キ語アリ

(答)出納局手形ニ對シテ英蘭銀行ヨリ政府ニ貸付スル所ノ金額ハ該銀行隨意ニ之ヲ回收スル能ハズ然レモ若シ短時期間貨幣ヲ貸付スルモハ該銀行ハ紙幣ノ過發ヲ制シテ以テ不當ナル投機取引及地金ノ輸出ヲ妨グ斯クシテ外國爲替相場ヲ支配スルヲ得ルナリ

(問)然ラハ外國爲替相場ハ紙幣流通高ノ増減ニ因テ影響セラ

ル、者ナリトノ意見ヲ汝ハ懐ク乎

(答)流通媒介物ノ何者ヨリ成レルニ拘ラズ若シ其匱乏スルハ商人ハ外國ヨリ資金ヲ吸引セザルヲ得ズ之ニ反シテ其豊多ナルキハ商人ハ國外ニ資金ヲ輸送ス可シ

貨幣匱乏ノ結果ハ商品及製造品ヲ輸出セザルヲ得ザラシムルニ在リテ之ガ爲メニ外國爲替相場ヲ我國ニ利ナラシムルニ至ルナリ

又同氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)紙幣流通高減少スルキハ爲替相場ヲ利ナラシムルノ効アル可キ乎

(答)然リ何トナレバ之ガ爲メニ必ズ商品ノ輸出ヲ起シ而テ商品ノ輸出ハ貨幣ヲ國內ニ吸引スレハナリ

(問)汝ハ紙幣發行ヲ減縮スルキハ一切ノ物品直段ヲ下落セシ

ムト云ヘリ左レバ一切ノ他ノ物品直段ト同シク又金銀ノ直段ヲモ下落セシムル者ト解シテハ不可ナル乎

(答)余ハ金銀ノ直段ヲモ下落セシムルヲ信スルナリ

(問)今日外國爲替相場ノ我國ニ不利ナルヲ五分ナリト假定セバ若シ紙幣發行ヲ減少シ隨テ商品ノ直段下落スルキハ爲メニ此爲替相場ヲ平均點ニ復スルノ結果ナカル可キ乎

(答)之ガ結果ハ勢ヒ輸出ヲ増加シ隨テ爲替相場ヲ騰貴セシムルニ在リ

又英蘭銀行副頭取ポール氏ト上院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ金ノ去テ國外ニ流出スル者ハ外國爲替相場ノ不利ナルヨリ起ルト思惟セザル乎

(答)確カニ然リ

(問)左ノハ外國爲替相場ハ英蘭銀行紙幣流通高ノ増減ニ因テ影響セラル、者ト汝ハ思惟スル乎

(答)紙幣増發ノ場合ニ於テハ我國ニテ貨幣ノ利息去廉ナラシムルヲ以テ人々其資本ヲ利息ノ一層高キ外國ノ證券類ニ放下セシガ爲メニ我國ヨリ資本ヲ輸出スルヲ利トスルニ至ル可シ故ニ我國ヨリ外國ニ仕拂フ可キ負債ヲ生スルナリ

又同氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ汝ノ紙幣發行ヲ大ニ減少スルルハ爲替相場ニ影響スル者ト思惟スル乎

(答)然リ爾少思惟ス

(問)銀行紙幣ノ減少ヨリ爲替相場ノ上ニ及ボス可キ影響ニ關スル汝ノ答辨ハ或ル特別ナル場合ノ實驗ニ基ケル乎將々純然タル理論ニ基ケル乎

(答)全ク理論ニ基ケリ蓋余ノ説ハ若シ紙幣ヲ減少スルルハ人々ヲシテ己レノ仕拂ニ應センガ爲メニ歐洲大陸ヨリ我國ニ資本ヲ吸引セザルヲ得ザラシムト云フニ在リ

又十年間英蘭銀行ノ取締役タリシ人ニシテ當時非番ナリシハルドイマンド氏ト上院委員トノ答辨中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ英蘭銀行ガ大ニ紙幣ヲ減少スルルハ爲メニ安全ニ其紙幣兌換ヲ再始スルヲ得可シト思惟スル乎

(答)斷シテ然リト信ズ

(問)左レバ汝ノ意見ハ斯ク紙幣ヲ減少スルルハ爲メニ外國爲替ヲ我國ニ利ナラシムルノ結果ヲ生スト云フニ在リト解シテ可ナル乎

(答)余ハ英蘭銀行紙幣ノ數額ハ凡テ我外國爲替ニ對シテ有力ナル木槌タルノ効ヲ有シ其昇降ヲ支配スル者タルヲ常ニ確

信セリ

余ハ外國爲替ハ地方銀行紙幣ト英蘭銀行紙幣トノ總額ニ因テ影響セラル、者ナリト思惟ス

(問)汝ハ英蘭銀行紙幣ノ數額ハ凡テ我外國爲替ニ對シテ有力ナル木槌タルノ効ヲ有シ其昇降ヲ支配スル者タルヲ常ニ確信セリト云ヘリ汝ハ地金相場ニ於ケルモ此事亦然リト思惟スル乎

(答)余ハ然リト思惟ス

(問)汝ハ理論ニ據テ此意見ヲ立テシ乎將タ汝ノ實際ニ目撃セシ所ニ據テ之ヲ立テシ乎

(答)余ハ初メ理論ニ據テ余ノ意見ヲ立テタリ而テ爾後實際ニ目撃セシ所此意見ヲ確證セリ

又此證報者ハ商業恐慌ノ有様ヲ詳記シ紙幣ノ過發ハ爲替相場

及地金相場ニ影響スルヲ最モ明ニ證スル所ノ佛蘭西銀行頭取ノ報告書ヲ示セリ

(問)吾輩ノ今見ル所ノ統計表ニ據ルニ去九月ニ於テハ爲替相場殆ト平均ヲ維持セシニ爾後我國ニ不利トナリ一千八百十五年後ノ如何ナル時ニ於ケルヨリモ甚シキニ至レリ汝ハ斯ク爲替ノ大ニ下落セシヲ何等ノ原因ニ歸スル乎

(答)我紙幣下落セルヲ大原理ヲ外ニシテ時々爲替相場ニ影響スル所ノ特別ノ事情ヲ指摘スルハ難シトス余ハ外國々債證書ニ資本ヲ放下セシガ爲メニ一時爲替相場ノ下落ヲ起セシヲ信ス然レモ余ハ唯下落ノ一小部分ヲ此原因ニ歸スル者ニシテ其主因如何ト云ハ紙幣過剩ナリトノ余ノ原理ニ歸セサル可カラズ余ハ英蘭銀行ガ當時正金ヲ以テ紙幣ヲ兌換セシナランニハ茲ニ云フ所ノ爲替ノ下落ハ決シテ起ラザ

リシナル可キヲ最モ固ク信スルナリ余ハ外國間ノ爲替取引ニ關シテ余ノ實驗セシ所ニ基キ此說ヲ立テシナリ蓋佛國ハ今日殆ト二千萬磅ヲ諸外國ニ仕拂ハザル可カラズシテ既ニ三回ノ仕拂ヲ爲シ今後二十七ヶ月間ニ悉ク其仕拂ヲ了セザル可カラズト雖和蘭及ハムボルクノ如ク正金ヲ以テ其紙幣ヲ兌換スル國ニ對スル佛國ノ爲替相場ハ之ガ爲メニ下落セザルナリ又之ガ爲メニ佛國ノ正貨ガ不便ヲ起ス程ニ減少セシトナク又減少ス可シト思惟セラレザルニ似タリ余ノ說ハ此巨額ノ仕拂中正貨若クハ地金ヲ以テセシ者ハ一小部分ニ止マルト云フニ在リ若シ若干ノ流通媒介物佛國ヲ去ルキハ殘餘ノ流通媒介物其價值ヲ増加シ隨テ物品ノ直段下落ス可シ故ニ殘餘ノ仕拂ハ時々其產物及製造品ヲ以テスル佛國ニ利益アルニ至ル可シ

又同氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(答)余ハ殘餘ノ紙幣ヲシテ金ニ對スル其從前ノ價值ヲ回復セシメ爲替ヲ平均點ニ回復セシメシメシハ斯ク英國銀行紙幣ヲ強ヒテ減少セシムルヲ必要ナリト信スルナリ余ハ英國銀行ガ紙幣兌換ヲ再興スルニ及ンデハ爲替相場ノ忽チニ平均點ニ回復ス可キヲ余ノ確說トシテ斷言スルヲ猶豫セザル可シ余ハ信ス爲替相場ノ下落ハ全ク英國銀行紙幣ノ過發ニ原因スルヲ余ハ請求ニ應シ正金ヲ以テ其紙幣ヲ兌換セザル國ニシテ其紙幣ノ下落セザリシ者アルヲ未ダ曾テ聞カザルナリ

(問)汝ノ說ハ爲替相場及地金相場ハ專ラ紙幣發行額ノ多少ニ因テ影響セラル、者ナリト云フニ在リト解ス可キ乎

(答)然リ余ノ說ハ爾カク云フニ在リ

(問)汝ハ昨年下半季間ハ一千八百十七年下半季間ニ比スレバ流通紙幣ノ額商業上ノ需要ニ對シテ一層大ナリト云ヘリ之ヲ云フニ於テ汝ハ如何ナル理由ヲ有スル乎

(答)如何トナレバ昨年下半季ハ一昨年下半季ニ比スレバ紙幣ノ下落一層甚シクレバナリ即地語以テ之ヲ云ハゞ金ノ市價一層騰貴シタルバナリ

(問)汝ハ金ノ市價ハ據テ以テ銀行紙幣ノ過發ヲ判ス可キ重モナル標準ナリト思惟スル乎

(答)然リ爾カク思惟セリ

余ハ昨年十月偶々巴里ニ在リシニ此時佛蘭西銀行ハ割引ノ爲メニ紙幣ヲ發行スルヲ俄ニ大ニ減少セリ蓋此時佛蘭西銀行ガ割引ノ爲メニ發行セシ紙幣ハ一億三千萬法ニシテ曾テ知ラレタル最高額ヨリモ多キ一倍餘ナリ而テ佛蘭西銀

行取締役ガ斯ク紙幣ヲ減少スルノ處置ニ出テシ者ハ左ノ如キ事情アリシニ因ルナリ蓋此時正貨ハ各方位ヨリ國外ニ流出セリ而テ正貨ノ此流出ハ幾分カハ紙幣ノ過發ニ原因セシナル可シト雖是レ小原因ニシテ其大原因ハ露國ニ於テ或ル財政上ノ大舉動ヲ起セシト佛國ガ殆ト二千萬磅ニ達スル大金額ヲ外國ニ仕拂ハザル可カラザリシトニ在リ是ヲ以テ巴里ノ銀行者ハ諸外國ニ宛テタル爲替手形ノ需要大ニ増加セシトナリ前見シ其諸外國ノ代理店ニ宛テ、振出サント期スル所ノ手形ヲ仕拂フノ資金トシテ諸外國ニ正貨ヲ送り其之ヲ送ルニ就テ小利益ヲ博セリ然ルニ佛蘭西銀行ガ俄ニ割引ヲ節減セシガ爲メニ外國爲替佛國ニ利アルニ至リ爲メニ凡テ此等ノ取引ヲ沮害セリ正貨ノ運動其潮勢ヲ一變シテ巴里及其他最大ノ必迫テ感セシ地方ニ返流セリ

(問) 汝ハ英蘭銀行紙幣ノ過發ハ國內全躰ノ紙幣ノ價值ニ影響スル者ニシテ今日地金ノ市價其造幣價ノ上ニ騰貴シ外國爲替ノ不利トナリシ者ハ該銀行紙幣ノ過發ニ原因スト云ヘリ汝ハ地金相増及爲替相場ニ徴シテ蒐集シタル證左ノ外ニ英蘭銀行紙幣ノ過多ナルヲ證ス可キ他ノ理由ヲ有スル乎

(答) 余ハ世界ノ何レノ國ニ於テモ他ノ原因ヨリシテ此等ノ結果ヲ生セシテ見ザルナリ

(問) 左レバ汝ノ說ハ英蘭銀行ニシテ苟モ地金相場ノ騰貴シ爲替相場ノ下落セルヲ見バ該銀行ハ地金相場ノ平價ニ回復シ爲替相場ノ平均點ニ回復スルマデ若クハ爲替相場ノ下落一國ヨリ一國ニ資金ヲ運送スル費用ニ越ヘザル點ニ回復スルマデハ其紙幣ヲ減少セザル可カラズト云フニ在リト解ス可キ乎

(答) 余ハ斷シテ其說ヲ懷ク者ナリ

(問) 汝ハ紙幣兌換ノ行ハル、際ト其停止セラレ、際トチ問ハズ英蘭銀行ガ常ニ注意セザル可カラザル眞正ノ標準ハ地金相場及爲替相場ニ在リト云フノ說ヲ持スル者ト解ス可キ乎

(答) 余ノ見ル所ヲ以テスレバ是レ實ニ唯一ノ標準ナリ  
余ハ戰爭ノ時ニ於テモ平和ノ時ニ於テモ此理ノ齊シク適合スルヲ信スルナリ

(問) 汝ハ英蘭銀行ガ舉行セシ一部ノ兌換ガ十分ニ其功ヲ奏セザリシ者ハ一部ノ兌換ガ常ニ其効ナキニ因ルニ非スシテ英蘭銀行ガ同時ニ其紙幣ヲ減少セザリシニ因ルト思惟スル乎

(答) 此事ニ關スル余ノ見ヲ以テスレバ先ツ國內紙幣ノ總額ヲ減少シ其價值ヲシテ一部發行ス可キ正貨ノ價值ト同等ノ位ニ回復セシムルニ非ズンバ一部ノ兌換ハ常ニ其功ヲ奏スル



能ハザル可シト思惟スルナリ  
 (問)爲替相場ノ我國ニ利トナリ地金相場ガ其造幣價ト符合スルヲ外ニ紙幣ノ復價ヲ徵ス可キ他ノ標準ナシト汝ハ思惟スル乎

(答)余ハ之ヲ外ニシテ他ニ標準アルヲ知ラズ  
 若シ吾人充分ニ我紙幣流通額ヲ減少セバ資金ハ各方位ヨリ我國ニ流入ス可シ議院ノ如何ナル條例ヲ以テスルモ其流入ヲ制スルヲ能ハザル可シ  
 余ハ金ノ造幣價ヲ變更スルガ如キハ我國ノ政府ニ取テ契約ヲ破ルノ處置タルヲ信スルナリ  
 此證報者ハ己レノ意見ヲ證センガ爲メニ數多ノ詳細ナル論ヲ爲セシト雖長キヲ以テ茲ニ之ヲ引擧スルヲ能ハズ  
 又英蘭銀行取締役ノ一人ニシテ地中海ノ商業ニ從事セル銀行

者ウイレルムウアード氏ト上院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ英蘭銀行紙幣ノ流通高四百萬磅ヲ減少セバ多分ハ爲替ヲ利ナラシムルニ至ル可シト云ヘリ汝ハ理論ニ基キテ此說ヲ立テシ乎將々英蘭銀行ノ紙幣兌換停止以來銀行紙幣ノ總額増減スル毎トニ其増減ニ應スル丈ケノ影響ヲ我國ノ爲替相場及地金相場ニ及ホセシヲ目撃シ銀行者タル汝ノ實驗ニ基キテ此說ヲ立テシ乎

(答)余ハ理論ニ基キテ余ノ說ヲ立テタリ余ハ特ニ銀行紙幣ノ數額ノミニニ依據セズ

(問)吾人ハ銀行紙幣ヲ減少セバ爲替ヲ利ナラシムルノ結果アルヲ必期スルヲ得ル乎

(答)余ノ利害ノ關セル爲替取引ニ於テ余ハ斯カル結果アルヲ必期ス可シ

又同氏ト下院委員トノ問答中ニ左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ爲替相場及地金相場が如何ナル度ニマデ銀行紙幣過發ノ爲メニ影響セラレタリト思惟スル乎

(答)余ハ直接若クハ間接ニ痛ク影響セラレタルヲ信ス

(問)爲替相場ニ影響スル他ノ原因ハ二ノ異ナル時期ニ於テ同一ノ影響ヲ及ホス者ト假定スルキハ地金相場及爲替相場ハ據テ以テ銀行紙幣ノ十分ナルヤ將タ過多ナルヤヲ判ス可キ標準ナリト汝ハ思惟スル乎

(答)然リ余ハ之ヲ信ズ

(問)汝ハ紙幣兌換ノ行ハル、場合ニ於テ地金ノ市價が久シク其造幣價ノ上ニ騰貴シ又外國爲替相場が我國ヨリ歐州大陸ニ金ヲ運送スル費用ヲ越ヘテ下落スル如キヲアリト思惟スル乎

(答)否ナ地金ノ市價ハ永遠ニ其造幣價ノ上ニ騰貴スルヲアラザル可シ

(問)左ノハ英蘭銀行が其買フ金ニ對シテ其造幣價ヨリモ高キ直段ヲ仕拂ハサル可カラザルヲ曾テ之アル可キ乎

(答)余ハ斯カル直段ヲ仕拂ハザル可カラザルヲナカル可シト信ス

又三十九年間英蘭銀行ノ取締役タリシサミュエル、ソルントン氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)英蘭銀行ハ其紙幣發行額ヲ序理スルニ於テ如何ナル主義ニ據テ導カル、乎

(答)余ハ紙幣流通額ノ幾何ナルヤヲ考察シ其増加ヲ求ムル原因ノ何タルヤヲ考察スルヲ以テ常ニ余ノ義務ナリト思惟セリ又余ハ爲替相場及地金相場ニ注目スルヲ以テ余ノ義務ナ

リト思惟セリ

(問)汝ハ紙幣發行額ヲ序理スルニ於テ爲替相場及地金相場ニ注目スルヲ要スト爲ス理由ヲ余輩ニ向テ説明スルコトヲ諾スル乎

(答)若シ國內商業ノ要スル度ヲ越ヘテ銀行紙幣増加セラル、  
キハ爲メニ地金相場ノ騰貴ヲ起スト明ナラザル可カラズ而  
テ余ハ同様ノ結果ヲ爲替相場ノ上ニ及ホスト容易ニ許ス  
可シ

又「レイド、イルヴィング」商社ノジョン、イルヴィング氏ト下院委員トノ  
問答中左ノ如キ語アリ

(問)英蘭銀行紙幣ヲ減少スルガ爲メニ起ル可キ商業上ノ攪雜  
ヲ姑ク考察ノ外ニ置クキハ汝ハ該銀行ガ斯カル處置ニ因リ  
爲替相場ヲ利ナラシメ地金相場ヲ下落セシムルヲ得ルト思

惟スル乎

(答)余ハ其説ヲ懷ケリ

(問)若シ吾人ニシテ外國ニ對スル爲替ノ尺度トシテ正貨ヲ用  
フルアラバ爲替相場ニ斯カル浮沈起ル可キ乎

(答)決シテ然ラズ

又「ベリリング、プロザース」商社ノ社員ホルランド氏ト下院委員  
トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ外國爲替ガ如何ナル度ニマデ英蘭銀行紙幣ノ増減ノ  
爲メニ影響セラル、者ト思惟スル乎

(答)余ハ外國爲替ガ英蘭銀行紙幣ノ増加ノ爲メニ影響セラル  
、ヲ確信セリ

(問)若シ英蘭銀行紙幣ヲ大ニ減少スルキハ外國爲替ヲ我國ニ  
利ナラシメ其甚シキ下落ヲ妨クルノ結果アル者ト汝ハ思惟

スル乎

(答)余ハ其説ヲ懐ケリ

(問)汝ハ若シ我國ノ貨幣ガ正貨若クハ正貨ニ兌換シ得可キ紙幣ヨリ成ルキハ地金相場ニ大浮沈アラザル可シト思惟セリ然ラバ汝ハ今日ノ大浮沈ヲ何等ノ原因ニ歸スル乎

(答)市場ニ流通スル紙幣ノ數額市場ニ要スルヨリモ大ナリ故ニ若シ金ノ市價ヲ三磅十七志十片半ニ下落セシムルヲ望マントセバ獨リ紙幣ヲ減少シ此目的ヲ達シ得可シト余ハ信ス

(問)汝ハ原動及反動ノ勢ニ因リ爲替相場ヲシテ循環セシメ金ヲシテ其平準ニ歸セシムルト云ヘリ若シ之ヲ然リトセバ我今王治世ノ初メヨリ正貨絶ヘズ國外ニ流出シ曾テ反動ノ爲メニ其流入ヲ起サザリシ事實ヲ汝ハ如何ナル理由ヲ以テ解釋スルヲ得ル乎

(答)若シ金ノ市價其造幣價ヨリ貴キキハ之ヲ國內ニ保ツコ能ハズ

(問)爲替ヲ我國ニ不利ナラシメ地金相場ヲ其造幣價ノ上ニ騰貴セシメタル原因ノ一ハ我國事情ノ不利ナルニ在リ即他語以テ之ヲ云ハバ我國ガ仕拂ノ差額ヲ外國ニ借ルニ在リト汝ハ思惟セザル乎

(答)否ナ余ハ爾カク思惟セズ何トナレバ金ハ凡テ商業國間ノ普通ノ平均者ト稱ス可クシテ若シ價值ノ本位トシテ金ヲ以テ金ニ對スルニ於テハ必ス爲替相場ヲ適當ノ平準ニ歸セシメザルヲ得ザレバナリ

(問)英蘭銀行ガ正貨ヲ以テ紙幣ヲ兌換スル場合ニ於テ金ノ造幣價ト市價トノ間ニ著シキ差ノ久シク存シ得可シト汝ハ思惟スル乎

(答)余ハ決シテ斯カル事アラズト思惟ス

又トーマス、トック氏ト上院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ如何ナル手段ニ因リ爲替相場ヲ回復シ地金相場ヲ下落セシムルヲ得ルト思惟スル乎

(答)先ツ英蘭銀行ノ紙幣發行ヲ今日ノ額ニ止メ然ルモ爲替相場及地金相場ノ成行キニ徴シテ此目的ヲ達センニハ更ニ幾何ノ紙幣ヲ減少セザル可ラザル乎ヲ判ス可シ

(問)汝ハ我國ノ貨幣ガ外國ノ貨幣ト平準ヲ保ツト云ヘル語ニ因テ何ヲ意味スル乎

(答)地金相場及爲替相場ノ平價ナル時若クハ其差ノ最モ微ニシテ殆ト平價ニ近キ時ヲ云フ

(問)汝ハ爲替相場ノ利ナルハ紙幣ノ過多ナラザルヲ證スル者ト思惟スル乎

(答)若シ爲替ノ利ナルヲ久シキニ亘ルモハ是レ其時期ニ於テ紙幣ノ過多ナラザリシヲ示ス者ナリ然レモ唯一ノ争フ可カラザル標準ハ地金相場ナリ蓋紙幣ハ金ニ兌換セラル可キ者ナレバナリ

(問)吾輩ノ茲ニ見ル統計表ニ據ルニ一千八百四年四月十三日ヨリ一千八百五年十一月十七日マデノ十八ヶ月間ニ於テハ金ノ市價常ニ四磅ニシテ又此十八ヶ月間ニ於テ爲替相場ノ常ニ我國ニ利ナリシヲ示セリ汝ハ此時期ニ於テ我紙幣過多ナリシト思惟スル乎

(答)概シテ云ハバ余ハ然リト答フ可シ何トナレバ余ガ前ニモ云ヘル如ク誤謬ナキ唯一ノ標準ハ地金相場ニシテ爲替相場ノ如キハ假令久シク利ナルモ唯紙幣過多ナラザルノ兆ヲ示スニ過キザレバナリ

(問)汝が紙幣ノ過多ナルト否トヲ判スルニ於テ爲最相場ヨリモ地金相場ヲ以テ一層正確ナル標準ナリト爲ス理由ヲ示セ

(答)其故如何ト云フニ若シ正貨良好ニシテ紙幣ノ嚴ニ此正貨ニ兌換セラル、キハ獨リ紙幣ヲ發行スル銀行ヲ除クノ外ハ何人ト雖同性合ノ金ニ對シテ一考ニ付三磅十七志十片半以上ヲ與フルノ理ナケレバナリ然ルニ爲替相場ニ至テハ一國ヨリ一國ニ正貨ヲ運送スルニ要スル時間及費用ノ限内ニ於テ種々ノ事情ノ爲メニ影響セラル、者ニシテ隨テ地金相場變動セザル時ト雖爲替相場ハ浮沈スルヲアレバナリ

(問)紙幣ノ過多トハ國內ノ商業上ニ要スル額ニ越ユルノ義ニ非ズシテ金ノ市價ヲ其造幣價ニ符合セシメンガ爲メニ汝が若干額ニマデ紙幣ヲ減少セザル可カラズト思惟スル其若干

額ニ越ユルノ義ナリト汝ハ爲ス乎

(答)余ハ國內ノ商業上ニ要スル流通媒介物ノ額ヲ判ス可キ標準アルヲ知ラズ然レモ若シ國內ノ貨幣單ニ正貨ノミナル時若クハ正貨及正貨ニ兌換シ得可キ紙幣ノミナル時ニ當テ流通ス可キ貨幣ノ額ニ越ユルヲ是レ紙幣ノ過多ト云フナリ

又リカード氏ト上院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(答)英蘭銀行ハ常ニ其紙幣ノ數額ヲ増減シテ以テ地金相場ヲ支配スルノ力ヲ有ス

又氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ今日我國ノ紙幣過多ニシテ金ニ對シテ下落シ地金相場ノ騰貴シ爲替相場ノ下落セルガ如キハ紙幣下落ノ結果ニシテ又之ガ徵證ナリト思惟スル乎

(答)然リ余ハ爾カク思惟ス

(問)然ラバ汝ハ地金相場ノ騰貴ヲ以テ銀行紙幣ノ下落ヲ證ス可キ正確ナル標準ナリト思惟スル乎

(答)余ハ之ヲ以テ銀行紙幣ノ下落ヲ證ス可キ正確ナル標準ナリト思惟ス何トナレバ我國ノ貨幣本位ハ地金ニシテ其價値ノ高低如何ニ拘ラズ紙幣ハ常ニ其價値ニ符合セザル可カラズト余ハ思惟スレバナリ而テ一千七百九十七年前ノ制度ノ下ニ在テハ必ス之ニ符合ス可シ

(問)前ニ云ヘル統計表ニ徵スルニ我國ノ金ノ市價ハ一千八百十五年四月ニハ五磅七志ニシテ一千八百十六年四月ニハ四磅一志トナリ二割五分ヨリ三割マデノ差ヲ呈セルヲ見ル而テ此等ノ市價ハ常ニ我紙幣ヲ以テ算セル者ニシテ汝ハ佛國若クハ其他ノ歐洲大陸ノ國ニ於テ此同時期間ニ金ノ市價ニ斯カル變動ヲ呈セルヲ知ル乎

(答)佛國ニ於テハ貨幣ノ本位タル金屬ノ直段ニ斯カル變動起リ能ハズト余ハ思惟ス而テ貨幣ノ本位ニ非サル他ノ金屬ニ至テハ其變動ハ常ニ全歐洲ニ起ルニ金屬相互割合ノ變動ニ限ラザル可カラズ

(問)前ニ云ヘル時期間ニ於テ巴里ニ在テハ金ノ直段ニ何等ノ變動モナカリシヲ此ノ如シトセハ汝ハ此事實ニ徵シ一千八百十五年四月ヨリ十六年四月マデノ間ニ金相場ノ變動セシハ紙幣價値ノ變動ニシテ地金直段ノ變動ニ非ズト推決セントスル乎

(答)佛國ニ於テハ荷モ本位タル金屬ノ直段騰貴スルアレバ直ニ紙幣流通高ヲ減少シテ之ヲ匡正セリ而テ同様ノ事情ニ際シテ同様ニ我國ノ紙幣流通高ヲ減少セザルニ於テハ紙幣過多トナリ金ノ市價ヲシテ其造幣價ノ上ニ騰貴セシメザルヲ

得<sup>○</sup>ズ能<sup>○</sup>ク整<sup>○</sup>頓<sup>○</sup>セル幣<sup>○</sup>制<sup>○</sup>ノ下<sup>○</sup>ニ在<sup>○</sup>テハ金<sup>○</sup>ノ價<sup>○</sup>値<sup>○</sup>ハ變<sup>○</sup>動<sup>○</sup>セ<sup>○</sup>ン其<sup>○</sup>直<sup>○</sup>段<sup>○</sup>ハ決<sup>○</sup>シテ變<sup>○</sup>動<sup>○</sup>スル能<sup>○</sup>ハザ<sup>○</sup>ルナ<sup>○</sup>リ

(問)汝ガ前回ノ一疑問ニ對スル答辨中ニ用ヒシ變動ナル語ハ茲ニ汝ニ與ヘシ一疑問ニ對スル答辨中ニ用ヒシ紙幣ノ下落ナル語ト同意義ナル乎

(答)紙幣ト金トノ價值ノ差ハ如何ナル原因(其種々ノ原因ハ余之ヲ算擧セリ)ヨリ起ルニ拘ラズ苟モ金ノ市價其造幣價ノ上ニ騰貴スルキハ余之ヲ稱シテ紙幣ノ下落ト云フ

(問)汝ハ金ノ市價ト造幣價トノ差ヲ以テ銀行紙幣ノ下落ヲ判ス可キ標準ナリト思惟スル乎

(答)精密ニ然リ

(問)汝ハ地金若クハ正貨ト紙幣トノ間ニ左ノ如キ緊要ナル區別アリト思惟セザル乎即地金若クハ正貨ハ貿易ノ普通ノ媒

介物ナルヲ以テ爲替手形ノ如キ性質ヲ帶ブト雖銀行紙幣ハ斯カル性質ヲ有セザルト是ナリ故ニ地金若クハ正貨ノ價值ハ爲替相場ノ動搖ニ追隨スルト雖銀行紙幣ハ爲替取引ノ爲メニ影響セラレ能ハザルト是ナリ

(答)如何ニモ然リ正貨ニ兌換スル能ハザル銀行紙幣ハ内地ノ流通ノミニ止マリ以テ外國ノ仕拂ニ充ツ可カラズ正貨ニ兌換シ得可キ紙幣ニ至テハ正貨若クハ地金ト全ク同一ナリ

(問)左ノバ銀行紙幣ト地金トノ間ニ價值ノ差ヲ生スルモ國內商品ノ價值ヲ測ルニ於テハ銀行紙幣下落セリト云フ可カラスシテ二者價值ノ差ハ二者性質ノ此異同ヲ以テ之ヲ解釋スルニ足ラザル乎

(答)否ナ余ハ之ヲ解釋スルニ足ラズト思惟ス蓋余ノ見ル所ヲ以テスレバ下落ナル語ハ單ニ價值ノ減少セシヲ意味スル



ニ非スノ本位タル或ル物ニ比照シ其相對的ノ價值ノ減少セシトナシテ意味スル也故ニ假令銀行紙幣ノ價值騰貴スルアルモ據テ以テ其下落ヲ判ス可キ本位タル物ト同一ノ度ヲ以テ騰貴セザルニ於テハ尙ホ銀行紙幣下落セルナリト余ハ信ズ

(問)汝ハ紙幣ノ發行高ヲ減少セバ常ニ金ノ市價ヲ其造幣價ニ符合セシメ外國爲替ヲ我國ニ利ナラシムルノ効アリトノ説ヲ爲セリ然ラハ若シ我國仕拂ノ差額ヲ外國ニ借ルト假定スルハ汝ハ如何ナル手段ニ因リ之ヲ仕拂フ者ト思惟スル乎

(答)余ハ紙幣ヲ減少セバ常ニ地金ノ市價ヲ其造幣價ニ符合セシムルノ効アリト思惟ス然レモ之カ爲メニ常ニ爲替相場ヲ平均點ニ回復スルノ効アリトハ云ハザリキ

又アレキサンダー、ペーリリング氏(其後アシバルトン公ノ爵ヲ受ケシ人)ト上院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ

(問)汝ハ爲替相場及地金相場ガ英國銀行紙幣増減ノ爲メニ影響セラル、者ト思惟スル乎

(答)余ハ其影響セラル、トニ關シテハ一疑テモ懷カズ此點ヨリ云ハ、地金相場モ爲替相場モ到底一物ニシテ其相場ハ紙幣ニ因テ定マリ紙幣増減ノ爲メニ支配セラル、者タルヲ余ハ常ニ信セリ然レモ余ハ外國爲替相場若クハ地金相場ガ常ニ英國銀行紙幣ノ増減ト同一ノ割合ヲ以テ變動スト云フニ非ズ又國內紙幣總額ノ増減ト同一ノ割合ヲ以テ變動スト云フニモ非ズ何トナレバ時々各國ニ要スル流通媒介物ノ數額ヲ變ス可キ種々ノ事情アレバナリ例セハ時トシテハ二千五百萬磅ノ銀行紙幣ト雖多キニ過クルコトアル可ク又時トシテハ三千萬磅ノ銀行紙幣ト雖少キニ過クルコトアル可クレバナリ而テ事情ノ此變化ニ適應スル能ハザルハ是レ則紙幣ノ大

缺點ナリ

(問)平和後諸外國就中佛國ノ募集セシ國債ハ爲替相場ヲ我國ニ不利ナラシムルノ結果アリタリト汝ハ思惟スル乎

(答)我國ノ貨幣今日ノ如キ有様ナル以上ハ如何ナル原因ヨリ起ルニ拘ラズ外國ヘノ仕拂ハ必ス爲替相場ニ影響セザル可カラズ

(問)汝ノ所謂我國ノ貨幣今日ノ如キ有様トハ如何ナル意ナル乎

(答)余ノ意ハ若シ我國ノ幣制従前ノ如クニシテ正貨ヲ以テ仕拂キ爲スニ於テハ假令外國ヘ仕拂キ爲スアルモ外國爲替相場ヲ著シク平均點以下ニ下落セシムル者ニ非ズト云フニ在リ然レニ據テ以テ其價值ヲ序整ス可キ者ナキ紙幣行ハルニ於テハ曩ニ戰爭間ニ於テ十分ニ其實證ヲ見タルガ如ク外

國ヘ仕拂キ爲スガ爲メニ其價值必ズ下落セザル可カラズト云フニ在リ

(問)汝ハ佛蘭西銀行ノ大必迫ノ時ニ巴黎ニ在リシ乎

(答)余ハ巴黎ニ在リキ而テ紙幣ノ減少ガ外國爲替相場及該銀行ノ正金在高ニ及ボシタル影響ニ關シ該銀行頭取ガ去一月ヲ以テ其株主ニ示セル報告書中ニ記スル所ハ余其當レルヲ信スルナリ該銀行ガ其割引ヲ節減シタルガ爲メニ外國爲替相場及該銀行ノ正金在高ニ及ボシタル結果ハ恰モ我今日ノ疑問ニ的中スル所アリト余ハ信ズルナリ蓋該銀行ハ濫リニ紙幣ヲ發行セシガ爲メニ其正金在高ハ一億一千七百萬法ヨリ三千四百萬法ニ減少セシト雖其後其管理ヲ慎ミシヲ以テ一億萬法ニマテ回復シ十日前ニ於テハ現ニ此額ニ立チタリキ

(問)然ラバ汝ノ説ニ從ヘバ凶歉ノ年ニ巨額ノ穀物ヲ輸入スルハ爲替相場ヲ不利ナラシムルノ結果アリト解ス可キ乎

(答)請求ニ應シテ正貨ニ兌換シ得可カラザル紙幣行ハレ正貨ガ自カラ伸縮スルガ如クニ紙幣ヲ伸縮セシム可キ手段ナキニ於テハ如何ナル國タルヲ問ハズ斯カル結果ヲ生ス可キヲ余ハ思惟スルナリ

(問)紙幣兌換停止前ニ於ケルガ如クニ國內ノ貨幣一部ハ正貨ヨリ成リ一部ハ正貨ニ兌換シ得可キ紙幣ヨリ成ル場合ニ於テモ之ト同一ノ結果若クハ同一ナラザルモ幾分カノ結果ヲ生ス可キ乎

(答)余ハ正貨ノ需要如何ニ切ニシテ其如何ナル性質ノ需要タルニ拘ラス正貨ヲ運送スル費用ト法律ヲ犯ス危險(正貨輸出ヲ禁スル法律ノ存スル間ハ)トシ償フ額ヲ越ヘテ爲替相場ヲ下

落セシムル者ニ非スト思惟ス此説ハ貨幣ノ原理ニ基キテ立テラレシ所ニシテ兌換停止前ノ我國ノ實驗及余ノ知ル所ノ各國ノ實驗ニ因テ十分ニ證明セラレシ所ナリ惟フニ此説ノ當否ハ過クル二年間佛國ニ於テ如何ナル他ノ場合ニ於ケルヨリモ一層嚴密ニ試験セラレシ所ナリ蓋佛國ハ己レニ代償ヲ得ルコトナクシテ其商業ノ能ク及バザルガ如クニ思ハルハ程ノ巨額ノ仕拂ヲ外國ニ爲ササルヲ得サリシト雖之ガ爲メニ該國流通媒介物ノ上ニ何等ノ攪擾ヲモ生セザリキ

又貨幣ノ取引ニ關シテ實驗ニ富メル商人ナルジョン、ウアード氏ト下院委員トノ問答中左ノ如キ語アリ  
(問)汝ハ外國爲替相場及地金相場ガ銀行紙幣ノ増減ニ因テ影響セラル、者ト思惟スル乎  
(答)實ニ然リ

(問) 英蘭銀行紙幣ヲ減少シテ以テ爲替相場ヲ利ナラシメ金ノ市價ヲ其造幣價ニ符合セシムルハ該銀行ノ力ニ在リト汝ハ思惟スル乎

(答) 余ハ其說ヲ懷ケリ

(問) 汝ハ紙幣兌換停止ノ際ニ在テ金ノ市價ガ其造幣價ノ上ニ騰貴スルアレバ是レ紙幣下落セルノ徴ナリト思惟スル乎

(答) 實ニ然リ

(問) 汝ハ金ノ市價ト其造幣價トノ差ハ紙幣ノ下落ヲ測ル尺度ナリト思惟スル乎

(答) 實ニ之ガ尺度ナリ

(問) 汝ハ英蘭銀行紙幣ガ其過發ノ爲メニ下落セリト信スル旨ヲ告ゲタリ汝ハ其下落如何ニ久シク續キシト思惟スルヤ

(答) 余ハ金ノ價值ト之ヲ比較スルニ非ズンバ其如何ニ久シク

續キシ乎ヲ明瞭ニ云フ能ハズ

(問) 大約如何ニ久シク續キシ乎

(答) 金ノ市價ガ其造幣價ノ上ニ騰貴セシ間續ケリ

以上引擧セシ所ハ大多數ノ證報者ガ與ヘシ答辨ノ纔ニ一部タルニ過ギズト雖紙幣ト地金相場及爲替相場トノ關係如何ノ大問題ニ就テ地金報告書ノ出デシ以來商業社界ノ輿論ノ驚ク可ク變セシヲ證スルニ足ル可シ夫ノ舊說ヲ是トスルノ論ハ殆ト一語ダニ之ヲ見ズシテ從前地金報告書ノ原理ノ最モ執拗ナル反對者タリシハルマン氏ノ如キモ其意見大ニ破レタリ然レニ英蘭銀行ノ頭取ト副頭取及數名ノ取締役ハ地金報告書ノ原理ヲ是認セシニ拘ラズ尙ホ多數ノ取締役ハ舊說ヲ株守シ下院委員ガ或ル疑問ヲ之ニ下附セシヲ幸機トシテ今ヤ勢力大ニ振フ所ノ此等ノ原理ヲ非トスル意見ヲ公言セリ即三月二十五日

取締役會ハ左ノ決議ヲ爲セリ

日本會ハ爲替相場ヲ利ナラシメ隨テ資金ヲ流入セシメ  
ハ單ニ英蘭銀行ガ其紙幣ヲ減少セバ足ルトノ或ル人ノ強ク  
主張セル說ニ心ヲ留メザルヲ得ス而テ本會ハ斯カル說ニ對  
シテ正確ナル基礎ヲ發見スル能ハザルヲ公言スルヲ以テ本  
會ノ義務ナリト信ス

上院委員ノ報告書ハ彼レノ如ク久シク爭論セラレタル此問題  
ニ就テ諸證報者ノ意見ヲ記錄セシニ止マリ諸種意見ノ當否ニ  
關シ更ニ已レノ判斷ヲ下サバリキ然レモ能ク商業上ノ利害ニ  
注意シ成ル可ク速ニ從前ノ正貨本位ニ回復セザル可カラザル  
ヲ主張スルニ於テハ甚斷然タル者アリキ而テ下院委員ハ爲替  
不利トナリ金ノ市價其造幣價ノ上ニ騰貴スルニ當テハ英蘭銀  
行カ正貨ヲ流通上ニ保チ得可キ唯一ノ手段ハ其紙幣發行ヲ減

縮スルニ在リトノ意見ヲ公言セリ委員ノ說ニ曰昨年及一昨年  
間ニ於テ爲替相場ガ如何ナル原因ノ爲メニ影響セラレタルニ  
モセヨ英蘭銀行ガ絶ヘズ爲替相場及地金相場ニ注目シ之ヲ必  
要トスルニ從ヒ慎ンテ其紙幣ヲ減少スルニ於テハ漸次ニ其紙  
幣ノ價值ヲシテ金ノ價值ニ近邁セシメ途ニ平價ニ至ラシメテ  
且之ヲ維持スルヲ得可シ英蘭銀行ヲシテ之ヲ爲ス能ハザラシ  
ムル程ニ強ク此等ノ原因及其他ノ原因ガ爲替相場ニ影響ス可  
キヲ恐ル、ノ理由ナシト而テ上下兩院ノ委員ハ左ノ議ヲ勸告  
スルヲ一致セリ曰一千八百二十年二月一日後ハ英蘭銀行ヲ  
シテ一匁ニ付四磅一志ノ相場ヲ以テ一口六十匁ニ下ラザル額  
ヲ本位金ニテ仕拂ハシムルヲ曰一千八百二十年十月一日後ハ  
右ノ相場ヲ三磅十九志六片ニ減少シ一千八百二十一年五月一  
日後ハ之ヲ一匁ニ付三磅十七志十片半ノ造幣價ニ減少スルヲ

日地金ニテ仕拂フ可キ此義務ハ一千八百二十一年五月一日後二年ヨリ少ナカラス三年ヨリ多カラザルノ間續ク者ニシテ此時限ヲ經バ正貨ヲ以テ紙幣兌換ヲ再始セシムルト是ナリ又委員ハ一千八百十六年及十七年ニ於テ地方銀行紙幣ノ大ニ減少セシトハ當時ニ於テ幾分カ地金ノ直段ヲ下落セシメ爲替相場ヲ騰貴セシムルノ効アリシトテ説キ又英蘭銀行紙幣ノ價值ニ影響スル事情甚多クシテ商業上信憑ノ消長ノ如キ地方銀行紙幣ノ増減ノ如キ皆之ニ影響スル者ナレバ單ニ或ル時ニ於ケル英蘭銀行紙幣ノ數額ニ徴シテ決シテ満足ス可キ決論ニ達スル能ハザルトテ説キタリ

此報告書ハ一千八百十九年五月廿一日ヲ以テ上院ニ提出セラレシガ此時報告書ノ議ヲ非トスル歎願書差出サレ商人銀行者其他ヲ合セ約ソ五百名ノ人之ニ調印セリ其之ヲ非トスル理由

ハ報告書ニ云フ如キ短時期ニ於テ俄然大ニ英蘭銀行紙幣ヲ減少スルキハ爲メニ一般ノ擾擾ヲ起ス可シト云フニ在リ又英蘭銀行ノ取締役モ同様ノ意見ヲ痛言セル諫告書ナリゾアール公ニ呈シ此諫告書モ亦上院ニ差出サレタリ然レモ此夕ハルロトビト公ハ報告書ノ趣意ニ從テ草セラレタル宰相ノ決議案ヲ提出セリ而テ其最後ノ一條ニ曰我國ノ金銀貨幣ヲ鑄解シ輸出スルヲ禁スル凡テノ法律ヲ廢止スルヲ便利トス」ト然ルニラウテルタル公ハ之ニ反對スル一連ノ決議案ヲ動議セリ而テ其重モノナル者ハ金ノ造幣價ハ其市價ニ從テ之ヲ更定セザル可カラズト云フニ在リ

上院ニ於テハリツアール公、明確剴切其例稀レナルノ演説ヲ爲シ以テ宰相ノ決議案ニ關スル討論ヲ開ケリ氏ガ發シタル一言一語ハ一千八百十年ノ政府ノ處置ヲ痛撃シテ碎クカ如クナ

リキ氏ハ全ク其說ヲ變シテ地金報告書ノ原理ヲ十分ニ是認セ  
 リ氏曰本問題ノ三大要點ハ左ノ如シ第一或ル一定セル價值ノ  
 本位ニ復スルヲ便利トスル乎第二此本位ハ從前ノ本位タル可  
 キ乎第三如何ナル手段ニ因テ此目的ヲ達ス可キ乎ノ三點即是  
 ナリト又曰第一點ハ最モ緊要ナリ何トナレバ此議案ニ對スル  
 凡テノ反對論ハ畢竟スルニ紙幣兌換ヲ再興スル乎非トスル  
 論ノ形ヲ裝ヒシ者ニ過キサレバナリ或ハ價值ノ本位アル可カ  
 ラズトノ說ヲ懷ク者多シ然レモ世界開闢以來又如何ナル文明  
 國ノ斯カル主義ヲ施セシ者アル乎往昔ニ在テハ本位ヲ劣惡ニ  
 スル最モ聡ツ可キ處置行ハレシヲアリ然レモ是レ尙ホ全ク本  
 位ヲ有セザルコトノ如クニ甚シカラザル也世界ノ如何ナル國ト  
 雖一定セル本位ナクシテ貨幣ヲ立テシ者一トノ之アラズ其本  
 位ハ金タルト銀タルト銅タルト鐵タルトチ問ハズト雖要スル

ニ實價ヲ有スル或ル物ナラザル可カラズ實價ヲ有セズノ單ニ  
 價值ノ約束タルニ過キザル紙幣ノ如キハ本位タル能ハザルナ  
 リ而テ商業ト經濟學上ノ知識トニ關シテ第一位ヲ占ムル英國  
 ハ決シテ己レノ利害ノ示スニ從テ貨幣ヲ造ルノ權ヲ一組ノ人  
 ニ與フ可カラズ假令此一組ノ人ノ意志ト行狀トハ如何ニ公明  
 潔白ナルモ決シテ之ヲ爲ス可カラズ政略ニ徵スルモ德義ニ徵  
 スルモ正道ニ徵スルモ共ニ吾人が往時ノ本位ニ復セザル可カ  
 ラザルコトヲ示ス國債ノ或ル者ハ下落紙幣ヲ以テ募集セラレシ  
 ニ相違ナシト雖尙ホ其契約ハ往時ノ本位ニ從テ之ヲ償還スル  
 ニ在テ吾人苟モ正直ヲ守ラント欲セハ固ク此本位ニ據ラザル  
 可カラズト而テ氏ハ之ヲ爲スコト危險ニシテ且困難ナリトノ論  
 ナラケリ更ニ論シテ曰一千八百十六年ニ於テ金ノ市價ハ其造  
 幣價ニ符合シ公然ノ相場表ニ於テ三磅十八志六片ナリト揭示

セラレシキ實際ニ於テハ更ニ廉價ヲ以テ之ヲ買フヲ得可カリ  
 シナリ唯英蘭銀行ガ獨リ之ガ買人ヲラント決心シテ此直段ヲ  
 拂ヒシノミ爾來金ノ市價其造幣價ノ上六分五厘ニ騰貴セリ然  
 レモ今日ニ於テハ僅ニ造幣價ノ上三分ニ在ルニ過キズ或ル貴  
 族ハ英蘭銀行ガ其紙幣ヲ減縮シテ以テ金ノ市價ヲ其造幣價ニ  
 符合セシメ得ルヤ否ヤヲ疑ヘリ蓋此問題タル幾分カ疑ハシキ  
 所ナキニ非ス然レモ委員ノ報告書ヲ見ルキハ實際家ニシテ英  
 蘭銀行ガ紙幣ヲ減少セバ必ス爲替ヲ我國ニ利ナラシメ地金相  
 場ヲ下落セシムルノ効ナカラザル可カラザルヲ許サザル者  
 一人トシテ之ナキヲ知ル可シ其報告書ノ議ニ最モ敵對スル者  
 ト雖尙ホ且之ヲ許セリ余ニ至テハ此事ニ關シテ毫モ疑ヲ懷カ  
 ズ而テ決議案ニ陳示セル策ハ急激ナル紙幣減縮ノ爲メニ商業  
 上ノ利害ヲ攪擾スルヲナクシテ必要ノ準備ヲ爲ス可キ十分ノ

時間ヲ英蘭銀行ニ與フル者ナリ商業上ノ取引ニ必要ナル流通  
 媒介物ノ額如何ハ最大緊要ノ問題ナリ然レモ精密ニ其割合ヲ  
 定ムルガ如キハ決シテ能ハザル所ナリ而テ余ノ見ル所ヲ以テ  
 スレバ貨幣ノ額十分ナルヤ將タ過多ナルヤヲ判ス可キ唯一ノ  
 標準ハ實金ニ對スル其價值ノ如何ニ在リト思惟ス紙幣ノ真正  
 ノ價值ハ其正貨ニ兌換セラルハ一ニ因テノミ之ヲ確知スルヲ  
 得ル也若シ此標準ダニ遵守セラレナバ流通媒介物ノ何ヨリ成  
 ル乎ハ敢テ關スル所ニ非ズランカシーヤニ於テハ流通媒介物  
 專ラ爲替手形ヨリ成ルト雖該州ニ於テハ十分ニ能ク其功ヲ奏  
 セリ如何ナル國若クハ地方ニ於テモ實ノ富ヲ有スル以上ハ流  
 通媒介物ヲ得ルヲ甚容易ナル可シ余ノ見ル所ヲ以テセバ茲ニ  
 提出セラレタル議案ハ何等ノ不便ヲモ起ス者ニ非ズト思惟ス  
 若シ或ル不便起ル可クンバ是レ既ニ冒セル者ナリ若シ議院ニ



シテ茲ニ勸告スル政略ヲ固守セバ何人ニモ著シキ損害ヲ蒙ラシムルコトナクシテ從前ノ本位ノ回復セラル、チ見ル可シト  
 リヴァプール公ガ十二年間自カラ抵抗シタリシ原理ヲ主張セ  
 ンガ爲メニ爲シタル此強固ナル演説ニ對シラウデルダル公ハ  
 或ル嚴ナル批評ヲ下ダセリキング公ハ熱心ニ決議案ヲ賛成シ  
 就中議院ガ英蘭銀行ノ紙幣兌換ヲ再始スル時期ヲ定ムルコトヲ  
 賛成セリ蓋斯ク定ムル以上ハ又英蘭銀行取締役ガ隨意ニ動カ  
 スコトヲ得スシテ世人安キヲ得レバナリ公曰單ニ銀行紙幣數額  
 ノ多少ニ徴シテ其過不足ヲ判スルコト能ハズ其數額ヲ序理スル  
 ニ於テ遵守ス可キ唯一ノ規則ハ金ノ市價ヲ其造幣價ニ符合セ  
 シムルニ在リ二十二年ノ久シキニ行ハレ或ル人ガ之ニ慣レテ  
 視テ以テ我國貨幣ノ尋常ノ有様ナリト爲スニ至リシ有害ナル  
 風習ヲ制遏スルノ法唯此一事ニ在リト

グレンヴィル公ハ決議案ヲ賛成スル最モ熱心ナル演説ヲ爲セリ  
 而テ公ハ最初兌換停止條例ヲ出シタル内閣ノ一員クリシガ故  
 ニ氏ノ説ハ特ニ注意ス可キ者アリ今ヤ公ハ其既ニ明言セシ所  
 ヲ最モ痛切ニ反覆シ兌換停止ヲ以テ我國ノ曾テ蒙リシ最大災  
 害ノ一ナリト信スル旨ヲ述ベタリ公ハ最初兌換停止條例ヲ出  
 タシ尋テ戰爭間之ヲ繼續シタル處置ニ與カリシコトヲ屢悔ヒ且  
 歎ケリ公ハ直實ノ人タルニ背カズ戰爭ノ始メニ於テ斯カル處  
 置ニ與カリシコトノ過テルヲ明言シ之ヨリ起ル可キ慘禍ヲ前見  
 シ今ヤ我國ガ此有害不幸ナル條例ノ廢止ヲ必期シ得ルニ至レ  
 ルヲ大ニ喜ベリ公曰英蘭銀行紙幣ノ過發ト雖填地利、普露士、露  
 士亞ノ紙幣ノ過發ト雖理ニ於テ毫モ異ナル所ナシト公ハ兌換  
 停止ノ害ハ遙ニ其利ニ超過スル所ニシテ後世ノ政治家チシテ  
 此處置ハ國家ヲ救ヘリトノ説ハ決シテ異議ナキ所ニ非ラザリ

シヨチ知ラシメタシトノ公ノ意見ヲ記録ニ存セシト熱望セ  
 リ公ハ今除カント議スル所ノ此條例ノ極メテ不策且狂愚ナリ  
 シヨハ我國カ之ガ爲メニ蒙リシ危險ノ大ナルト其度ヲ同フス  
 ルトチ公ノ確信セル意見トノ記録ニ存セシト熱望セリ公曰  
 紙幣ノ發行濫ニ失スルガ爲メニ假令一時如何ナル利益ヲ一箇  
 人ニ與フルアルモ其一箇人ハ一般ニ之ニ十倍スルノ損害ヲ蒙  
 ル可シ英蘭銀行ハ右手ヲ以テ貨幣ヲ貸付スルト同時ニ左手ヲ  
 以テ契約ノ基礎ヲ破壊シ各物品ノ直段ヲ動搖セシメ全國ヲシ  
 テ悲惨ノ境ニ沈淪セシメ一箇人ヲシテ紙幣過發ノ爲メニ享ク  
 ル利益ニ十倍スルノ損害ニ苦マシムルナリ破産ノ増加ハ必ス  
 紙幣ノ過發ニ續ヒテ起ラザルヲ得ズ一千八百十六年ノ慘狀ノ  
 如キハ則前年ノ紙幣過發ノ避ク可カラザルノ結果ナリ地方銀  
 行紙幣ハ英蘭銀行紙幣ノ如クニ法律ヲ以テ強ヒテ支持セラレ

サルヲ以テ怖ル可ク下落シ全王國ヲ一般荒廢ノ中ニ卷キ込ミ  
 タリ貿易、商賣、農業ヨリ其他紙幣制度ニ最モ關係ノ遠キ階級ニ  
 至ルマデ俄然免ル可カラザルノ零落ニ陥ラシメラレタリ斯ク  
 シテ起リタル慘狀ヲ一見セバ恐怖ヲ以テ吾人ヲ滿タス可シ商  
 業ニ於テモ戰爭ニ於ケルガ如ク正確ナル管理ヲ施スノ基礎唯  
 一アルノミ而テ其基礎トハ價值アル金屬ノ本位ニ因テ序整セ  
 ラレタル貨幣是ナリ蓋金屬タルノ故ヲ以テ金屬ヲ必要トスル  
 ニ非ズシテ價值アルノ故ヲ以テ之ヲ必要トスル者ナリ價值ヲ  
 以テスルニ非ズンバ價值ヲ表スルヲ能ハザルナリ理斯ノ如ク  
 ナルヲ以テ凡テノ文明國金屬ノ本位ヲ採用セザルナシ吾人ニ  
 知ラレタル凡テノ國語ニ於テ貨幣ノ最初ノ名稱ハ金屬量目ノ  
 名稱ニ出テザルナシ「ヒブリウ」人、希臘人、羅馬人、佛國人、英國人  
 ニ於ケル皆然ラザルナシ英國ノ「ポンド」及佛國ノ「リヴル」ハ原ト金屬

一「パウンド」ノ量目ヲ表セシ者ナリ而テ各國ニ於テ時々貨幣ニ含ム金屬ノ量目ヲ減少セシト雖斯ノ如ク之ヲ減少スルハ人民ヲ欺ク者ナラズンバアラズ而テ常ニ不平擾亂ノ間ニ之ヲ爲セリ我國ニ於テモエドワード四世ノ時ニ此處置ニ出デント企テシト雖之ガ助言者ハ人民ノ反抗ヲ恐レテ其議ヲ棄テザルヲ得ザルニ至レリ故ニ今ヤ一定セル本位ニ復セザル可カラザルノ時ナリ各人ノ財産ヲ一組ノ人ノ意志如何ニ屬セシムル如キ動搖本位ノ制ヲ絶タザル可カラザルノ時ナリ吾人ハ國家ノ信憑即國家ノ法律ニ基キタル貨幣ヲ有セザル可カラズ紙幣ノ下落ハ殆ト三分ノ一ニ達シ之ヲ有セル各人ハ則其三分ノ一ヲ失ヘル者ナリ而テ今日如何ナル階級ノ人ト雖此事實ヲ拒マントスル者ナシ獨リ英蘭銀行取締役ハ大人故ホルテル氏ガ確立セル地金報告書ノ爭フ可カラザル原理ヲ許ステ拒メリ此報告書タル

ヤ其主義ノ深奧且正確ナルニ嘆服スルコトナクシテ之ヲ讀ム能ハザル所ナリ我國ヲ益シ我國ノ光榮ヲ加フ可キ資格具ハリタル此大政治家ヲ早ク失ヒタルヲ痛哭スルコトナクシテ之ヲ讀ム能ハザル所ナリ若シ今日英蘭銀行取締役ニシテ報告書ノ原理ヲ信スルアラバ尙ホ多少ノ望ミヲ彼輩ニ屬ス可キ者アラシ然レモ彼輩之ヲ信セザルカ故ニ彼輩ハ已レノ隨意ヲ以テ貨幣ヲ管理スルコトニ最モ適セザルノ人ナリ余ハ一國ニ必要ナル流通媒介物ノ數額如何ニ聞シテハ何等ノ計算ニモ信ヲ置カザルナリ今ヤ政府ト英蘭銀行トノ關係ヲ離解セザル可カラサルノ時ナリ蓋此關係ノ如キハ英蘭銀行ガ據テ以テ立ツ所ノ原理ヲ直接ニ破ル者ナリ吾人ハ我貨幣ニ關シ我國正統ノ本位ニ復セザル可カラズ本位トハ貨幣ノ價值ニ非ズシテ猶ホ紙幣ガ地金ノ直段ニ因テ規制セラレタルガ如ク據テ以テ貨幣ノ價值ヲ規制

スル所ノ金屬ノ價值ヲ云フ地金報告書ハ今後我國經濟學ノ永  
 遠不朽ノ誤謬ナキ標準トナルヲ余ノ疑ヲ容レザル所ニシテ公ハ  
 近頃ニ至ルマテ其非常ノ功德ヲ悟ラザリキ此報告書ニ於テ本  
 位ノ事最モ明瞭ニ説明セラレタリト而テ公ハ宰相ノ決議案ニ  
 無限ノ賛可ヲ與ヘタリ

此緊要重大ナル問題ニ關シリヴァーポール公及グレンヴィル公ノ  
 演說ノ簡短ナル大意此ノ如シ而テ此二公ガ此ノ如ク強ク且懇  
 ロニ攻撃セシ所ノ誤說謬見ハ今日再ヒ世人ノ問ニ發シツ、ア  
 ルガ如クナレバ二公ノ演說ハ今日ニ於テモ大ニ之ヲ講究スル  
 ノ價值アル者ナリ而テ宰相ノ決議案ハ起立ヲ取ルヲ要セズシ  
 テ可決セラレタリ

下院ニ於テハ此決議案ハ五月廿四日ヲ以テピール氏之ヲ提出  
 セリ氏ハ證報者ノ答辨ヲ聽キ之ニ關シテ討究ヲ爲セシガ爲メ

ニ己レノ意見ノ大ニ變セシヲ覆フ所ナク明言セリ氏ハ一千  
 八百十一年ニ於テ氏ガホルテル氏ノ決議案ニ反對スルノ投票  
 ヲ爲セシキト其意見ノ大ニ異ナルニ至リシヲ恥ツル所ナク  
 又悔ユル所ナク明言セリ氏ハ從來ノ意見及氏ガ以前ニ爲セシ  
 投票ノ記憶ヲ悉ク己レノ心ヨリ排掃シ偏頗ナキ專一ノ注意ヲ  
 此問題ニ與ヘンヲ決心シ遂ニホルテル氏ノ決議案ハ我國幣  
 制ノ真正ノ性質及法則ヲ云ス者ナリトノ決論ニ達シタリ氏曰  
 真正ノ價值ノ本位ハ地金ノ一定ノ量目ヨリ成ル者ニシテ理解  
 シ得可ク且川ニ適スル價值ノ本位ハ其量目性合ヲ證ス可キ紋  
 章ヲ具ヘタル一定量目ノ地金ニ在ルヲハ確實ナル記者ノ凡テ  
 一致スル所ナリ英蘭銀行ガ十分ノ資産ヲ有スルヲ疑フ可カラ  
 ズト雖單ニ資産アルノ故ヲ以テ紙幣過發ノ事アル可カラズト  
 云フ可キ乎若シ資産豐ナルノ一事ノミヲ以テ紙幣ノ過發ナキ

一ノ十分ノ證據トスルニ足ラバ夫ノシヨノローノ説モ亦正確ナ  
 リト云ハザル可カラズシテ土地ノ如キモ國債證書ト同様ニ之  
 ナ流通媒介物ニ變シテ安全ナル可シ金ノ直段ト比較スルヲチ  
 外ニシテ紙幣ノ過不足ヲトス可キ標準アルナシ英蘭銀行ハ彼  
 レノ如ク全ク地金報告書ノ原理ヲ拒ミシテ以テ此等ノ原理ヲ  
 遵守スルヲ期ス可カラズ故ニ外國爲替ニ對スル英蘭銀行ノ  
 カチ安全ニモンガ爲メニ其紙幣發行額ヲ制限スルヲ必要ナル  
 ニ似タリ余ニ在テハ斯ノ如キ處置ヲ甚不策ナリト爲ス何トナ  
 レバ紙幣發行額多キニ過クルト否トハ專ラ事情ノ如何ニ因ル  
 者ナレバナリ英蘭銀行ニ對シテ夫ノ所謂兌換促進ナル者起ル  
 ニ當リ其紙幣ヲ増發シテ以テ其有害ナル結果ヲ避クルヲ得可  
 キヲアリ又時トシテハ斯カル事情ニ際シ紙幣ノ減少ヲ要ス可  
 キヲアリ夫ノ一千七百九十七年ニ於テハ英蘭銀行ニ對シ兌換

逼促起リシト雖外國爲替ハ我國ニ利ニシテ地金相場ハ騰貴セ  
 ザリキ而テ紙幣ノ増發ハ信憑ヲ回復シテ以テ最初ノ減縮ヲ不  
 要ト爲スニ至ル可カリシト此時ノ事情ニ徴シテ證セラレタリ  
 之ニ反シテ爲替不利トナリ隨テ地金相場騰貴シ其結果トシテ  
 兌換逼促起ルルハ紙幣減縮ノ手段ヲ以テ其恐慌ニ應セザル可  
 カラズ故ニ如何ナル時ニ於テモ嚴ニ紙幣發行額ヲ制限スルガ  
 如キハ能ハザル所ナリ信憑行ハル、時ニ要セラル、貨幣ノ額  
 ハ信憑破レタル時ニ要セラル、貨幣ノ額ト非常ノ懸隔アルガ  
 故ニ紙幣發行額一定ノ額ニ制限スルガ如キハ全ク能ハザル所  
 ナリト氏又曰政府ト英蘭銀行トノ關係ヲ離解シ該銀行ヲシテ  
 其元來ノ營業主義ニ復故セシメザル可カラザルノ時來レリ英  
 蘭銀行取締役ハ我英國金錢上事務ノ管理ヲ托スルニ足ラザル  
 ハ其懐ク頑陋ナル説ニ徴シテ之ヲ知ル可シ下院ハ其久シク放

擲シタリシ權力ヲ回收セザル可カラズ英蘭銀行ヲシテ造幣價ニ從ヒ正貨ヲ以テ其紙幣ヲ兌換セシムルニ於テ毫モ不便アルナシ現ニ該銀行ハ一千七百七十六年ヨリ九十七年ニ至ルマデ之ヲ爲セシ所ニシテ金ノ直段ハ決シテ三磅十七志六片ノ上ニ騰貴セザリキ然レモ或ハ云フ爾後金ノ直段ハ五磅二志ニマデ騰貴セリト又云フ本位ハ變ス可キ者ナリト斯ノ如キハ他ナシ吾人當時金ノ代表物ヲ導キ金ノ直段ヲ算スルニ此代表物ヲ以テセルニ因ルノミ下院ヲシテ直段ト價トヲ混同スル如キ計算ノ爲メニ誘惑セラレシムルヲ勿レ世人金ノ直段騰貴セリト云フニ當リ其實價ノ騰貴セシヲ示サント期セシ乎世人ヲシテ紙幣ヲ以テ金ノ直段ヲ算セシメズシテ一定ノ實價アル或ル他ノ物品ヲ以テ之ヲ算セシメヨ金ノ價值ハ過クル五十年來騰貴セザリシ耳ナラズ一部ハ其増加ニ基キ一部ハ之ガ代表物ノ

行ハル、ニ基キ現ニ下落セリ金ノ價值ニ因テ紙幣ヲ規制セズシテ反テ紙幣ノ價值ニ因テ金ヲ規制セザル可カラズトノ説大ニ行ハル蓋此説タルヤ政府ノ債主ヲ欺カントスル者ニ外ナラザルノミ斯カル處置ニ因テ外國人ヲ欺キ得可シト思惟スルガ如キハ無益ナリ之ガ唯一ノ結果ハ政府ノ債主ヲ欺キシ後チ貨幣劣惡トナルニ過ギサルナリ吾人ノ取ル可キ正路ハ我國往時ノ本位ニ復シ以テ世ヲ欺ク耳ナラズ其目的ヲモ達シ得ズシテ反テ今日ノ困難ヲ增長スル如キ議論ヲ防クニ在ルノミ古來ノ風習ニ背ク一一度ヲ加フル毎トニ更ニ一層甚シク之ニ背クノ先例ヲ重ヌル者ナリ後世困厄起ルニ際シテ紙幣兌換停止ノ主張者ハ其祖先ノ舉動ヲ援引シテ之ヲ賞賛シ紙幣ニ對スル地金ノ直段一層騰貴セルガ故ニ一層此主義ヲ擴張セサル可カラズトノ決論ヲ爲スニ至ル可シ貨幣ノ價值ヲ回復スルヲハ常ニ我

國ノ歴史上ニ著明ナル政治上ノ一事件ニシテ最も高名ナル政治家ノ最も熱心ニ希望セシ所ニテアリキ就中貨幣上ノ大改革ノ爲メニ最も著明ナル時期三アリ即エドワード一世ノ時代、女王エリズベスノ時代、ウイレム三世ノ時代是ナリ此三時期ハ吾人ノ常ニ誇リ且喜ビテ回想セサル可カラザル所ナリ而テ此三時期ニ於テハ今日ニ於ケルヨリモ一層困厄甚シカリシナリ女王エリズベスノ位ニ即クニ當リ貨幣劣惡トナリ其實價ハ其呼價ノ四分ノ一ニマデ減少セリ而テ女王ハバルレイフノ助言ヲ容レテ其價值ヲ回復センコトニ決心セリ數多ノ人ハ此事ノ極メヲ困難ナルヲ唱ヘ其決心ノ非ナルヲ女王ニ諫メタリト雖バルレイフハ此困難ハ我國位ヲ高メ且確立セシメ敵國ヲシテ吾レヲ畏敬セシムル者ナレバ彌々之ニ堪ヘテ以テ貨幣改良ノ策ヲ固執セザル可カラズト主張シ斷乎トシテ動カザリキ而テ女王

ガ此策ヲ固執セシハ最も貴ム可クシテ女王記功ノ銘中貨幣其正當ノ價值ニ復セリトノ一句ハ最も著明ニ輝ケリト次ニ氏ハウイレム三世ガ貨幣價值ヲ回復セシ始末ヲ詳記シ述ベテ曰當時ニ在テ之ヲ非トセシ者ノ論ハ今日ニ於テ之ヲ非トスル者ノ論ト同一ナリキ然レモ幸ニシテウイレム王及モンタギュー氏ノ果斷ヲ以テ謬論ヲ却ケ誤説ヲ破リ財政上及政治上ノ最大困難ヲ排掃シタリ我國ノ光榮及軍事上ノ名譽ハ不換紙幣ニ基クト云フ如キ説ハ實ニ笑フニ堪ヘタリ吾人ガ不換紙幣ノ惠ヲ受ケザリシ前即一千七百九十七年前ト雖吾人ハ多ク繁榮ト軍事上ノ名譽トヲ享ケタリ我國ガ他ノ諸國ト相異ナル所以ノ者ハ我國ガ常ニ國家ノ誠信ヲ破ラザリシニ在リ凡テノ危難ノ下ニ立テ我國ヲシテ愉樂ヲ以テ慰撫シ遂ニ勝利ヲ以テ雀躍スルニ至ラシメシ者ハ則之ニ因ルナリ我國ヲシテ其曩ニ遭遇セル鬱々

懐々タル航海ヲ遂グルヲ得セシメシ者ハ則之ニ因ルナリ而テ  
 無難ニ彼ノ岸ニ達シタル今日ニ於テ吾人ヲシテ決シテ吾人ヲ  
 支ヘタル此大原理ヲ擲棄セシムル勿レ政略ヨリスルモ徳義ヨ  
 リスルモ正道ヨリスルモ往時ノ永遠不變ノ價值ノ本位ニ復セ  
 シトナシ吾人ニ要セザルナシト氏ハ曾テ氏ノ今唱フル所ト異ナ  
 ル意見ヲ懷キシコアルヲ許セリ然レモ氏ハ其全心ヲ洗テ再ヒ  
 此問題ノ全局ヲ熟考シ遂ニ氏ガ曾テ抵抗セシ所ノ我貨幣ニ關  
 スル原理ヲ是認スルニ至リシコト明言セザル可カラズト感セ  
 シナリ  
 氏ノ演説ニ續ヒテ起リタル討論ハ專ラ政府ノ取リタル處置ヲ  
 祝賀欣喜シ其決議案ヲ稱賛スルニ在リキトイルテハ餘リ  
 ニ強クピール氏ヲ稱賛スルヲ欲セザリキ何トナレバピール氏  
 ノ述ベシ所ハトイルテハ及氏ノ朋友ガ多年間主張セシ所ニ

外ナラザレバ之ヲ稱賛スルハ己レヲ稱賛スルニ當レバナリ然  
 レモトイルテハ己レガ彼レノ如ク久シク主張シタリシ原  
 理ノ遂ニ下院ノ爲メニ真正ノ政略トシテ採用セラレ、ニ至リ  
 シヲ見テ心中大ニ愉快ヲ感シタリ况ヤ今始テ之ニ服セシコト  
 明言セルピール氏ガ十分ニ此等ノ原理ヲ翼賛セシコト彼レノ如  
 クナルニ於テナヤ而テリカイド氏ハ論シテ曰英蘭銀行取締役  
 ガ一人ツ、委員ノ諮問ヲ受クルニ當リテハ凡テ彼輩ハ地金相  
 場及爲替相場ノ英蘭銀行紙幣ノ増減ニ因リテ影響セラル、コ  
 トヲ十分ニ許セリ然レトモ其相集リテ取締役會ヲ成スニ至テ  
 ハ全ク之ニ反對スルノ決議ヲ爲セリ彼輩ハ此ノ如クニ撞着セ  
 ル意見ヲ公言シ且其舉動ニ關シテハ下院ノ既ニ實驗セシ所ヲ  
 レバ國會ガ紙幣兌換再興ヲ準備スルノ業ヲ彼輩ノ手ヨリ奪ハ  
 ザルガ如キハ無分別ノ最モ甚シキ者ナリト而テ一千八百十一



年ノ國會ノ意見ヲ固執セシ者ハ殆トアルデルマン、ヒーゲート氏ノ一人アル耳ニシテ氏ハ此時ニ於テ紙幣現ニ下落セズ又永遠其下落スルヲナキヲ主張セリ且大跡ニ於テハ決議案ノ趣意ヲ是認シ唯其細目ヲ小變スル所ノ或ル不緊要ナル修正案出デザリシニ非ズト雖輿論ノ勢力強大ニシテ侵ス可カラザリケレバ此等ノ修正案ハ悉ク取消サレ宰相ノ決議案ハ之ニ反對スル投票一ダニナクシテ可決セラレタリケンニング氏ハ歡聲湧クガ如キ際ニ立テ大言シテ曰我國ガ金屬貨幣ヲ確立シテ成ル可ク速ニ往時ノ價值ノ本位ニ復セザル可カラズト云フハ國會ノ一異議ナキ決議ナリト而テ此議案ハ殆ト他ニ議論ナクシテ下院ヲ通過セリ

上院ニ於テハランズダウン公ハ此議案ノ提出セラル、ニ當リ此議案ガ金屬ノ本位ヲ以テ流通媒介物ノ唯一ノ安全ナル基礎

ト爲セシハ頗ル經濟學ノ正確ナル原理ニ合ヘリトシテ之ヲ悅ベリ氏ハ此議案ガ地金相場及爲替相場ハ貨幣ノ有様如何ニ因ルトノ大原理ヲ認メシヲ述ベ貨幣ノ事ニ關シテ從來廣ク行ハレシ謬說ヲ再ヒ聞クナカラシテ望ム旨ヲ述ベ此議案ノ爲メニ此等ノ謬說適當ニ汚辱セラレ議案ノ各條ニ於テ其偽妄ナルヲ證セシヲ述ベタリ又此等ノ謬說ニ從ヒシガ爲メニ我國ガ壓スル所ノ巨額ノ國債及租稅ヲ擔フニ至リシヲ述ヘタリ又リヴァトプール公ハ此議案ノ毫モ抵抗テ受ケズシテ辨護ヲ要セザリシヲ述ベタリ此議案ハ一千八百十九年第四十九號ノ條例トナリシ者ニシテ其要點左ノ如シ

- 第一、紙幣兌換ヲ停止スル現行ノ諸條例ハ一千八百二十三年五月一日マデ之ヲ繼續セシメ該期ニ至リ之ヲ廢止ス可シ
- 第二、一千八百二十年二月一日ヨリ十月一日マデノ間ニ在テ

ハ英蘭銀行ハ何人タルヲ問ハズ地金六十号以上ノ價值若クハ直段ニ當ル紙幣ヲ持參シテ兌換ヲ請求スル者アルハ一号ニ付四磅一志ノ割合ニ從ヒ造幣局ニ於テ試験證印セル造幣金ヲ其請求ニ應ジテ仕拂フ可シ

第三、一千八百二十年十月一日ヨリ一千八百二十一年五月一日マデノ間ニ在テハ一号ニ付三磅十九志六片ノ割合ヲ以テ同様ニ地金ヲ仕拂フ可シ

第四、一千八百二十一年五月一日ヨリ一千八百二十三年五月一日マデハ一号ニ付三磅十七志十片半ノ割合ヲ以テ同様ニ地金ヲ仕拂フ可シ

第五、前記第一期間ニ於テハ英蘭銀行ハ一号ニ付四磅一志以下三磅十九志六片以上ノ如何ナル割合ヲ以テ地金ヲ仕拂フモ可ナリ又第二期間ニ於テハ三磅十九志六片以下三磅

十七志十片半以上ノ如何ナル割合ヲ以テ地金ヲ仕拂フモ可ナリ尤モ其割合ヲ確定シ三日前ニ「ガゼット」新聞ニ廣告セザル可カラズシテ一トヲビ斯ク確定セシ後ハ再ヒ其割合ヲ引上クルヲ能ハズ

第六、此等ノ仕拂ハ各々量目六十号ノ棒金若クハ金塊ヲ以テス可シ而テ英蘭銀行ハ右六十号以上ノ端數四十志ニ越ヘサル分ハ合法銀貨ヲ以テ仕拂フヲ得可シ

第七、地金及正貨ノ賣買ハ全ク自由タル可シ

此條例ト共ニ英蘭銀行取締役ガ一千七百九十七年ノ困厄ニ因テ起サレシト唱ヘシ所ノ弊害ヲ除カンガ爲メニ最モ有益ナル他ノ一條例(一千八百十九年第七十六號條例)可決セラレタリ其弊害トハ議院ノ何等ノ保證モナクシテ政府ガ恣ニ英蘭銀行ヨリ貨幣ヲ借入スルノ習慣即是ニシテ此習慣ハピット氏ガ彼レ

ノ如ク大ニ濫用セシ所ナリ此條例ニ據リ英蘭銀行ハ先ツ國會  
 ノ明ナル承認ヲ經ルコトナクシテ何等ノ貸付金ヲモ政府ニ爲ス  
 コトヲ禁セラレタリ  
 斯ノ如クニノ國家ノ誠信ヲ維持スルノ大業遂ニ成就セラレタ  
 リ正確ニシテ且公明ナル此等ノ大原理ノ此最後ノ勝利ハ真理  
 ガ隱然勢力ヲ有シテ苟モ自由言論ノ測ル可カラザル利益ノ許  
 サルニ及ンテハ到底勝ヲ制セザルナキコトノ記憶ス可キ一例  
 タリ蓋地金委員ノ任セラレシ時ニ當テ紙幣ノ大ニ下落セシ  
 及當時若シ正貨ヲ紙幣ノ價值ニマテ引下ケタランニハ是レ唯  
 國家ノ破産タルニ外ナラザルコトハ今日尋常ノ智アル者ノ一人  
 トシテ拒ミ肯ンゼザル所ナル可シ然ルニ當時ニ在テハ銀行紙  
 幣ノ下落セザリシコトヲ主張センガ爲メニ巧ミナル詭辨驚ク可  
 ク多ク出デタリ而シテ此等ノ詭辨タル誤謬ナリト雖而カモ正

直ナル意見ヨリ出テシ者多シト雖抑又此説ヲ主張スルヲ以テ  
 商業ノ利益ナリト爲ス思想ヨリ出テシテ一層多シトス然ルニ  
 ソルントン氏及キング公ノ爲メニ真理發見セラレ此二人ハ小  
 冊子ニ於テ之ヲ世ニ公ニセリ而テ此真理ノ一トタビ出ツルヤ  
 當時ノ最大政治家ノ猶豫ナクシテ容ル、所トナリシコトハ一千  
 八百四年ノ委員ノ報告書ニ徴シテ之ヲ知ル可ク亞テ一千八百  
 十年ノ地金調査委員ノ爲メニ此真理ハ一層ノ勢力ヲ以テ一層  
 強ク且明ニ宣言セラレタリ然ルニ此真理ハ商人ノ粗暴ナル投  
 機取引ヲ制遏スルノ効アル者ニシテ商業社會ノ大多數ハ之ヲ  
 嘲笑シ非難シ一千八百十一年ノ議院ニ於テハ非常ノ多數ヲ以  
 テ排却セラレタリ然レモ此真理ノ爲メニ盡セシ勤勞ハ決シテ  
 無益ニ空費セシ者ニ非ズシテ真理ノ種子ハ深ク世上ノ人心ニ  
 播カレ一千八百十一年ニ此ノ如ク甚シク賤蔑セラレ排却セラ

レタル原理ハ次ノ八年間ニ公衆ノ吟味講究スル所トナリ一千八百十九年ヲ以テ之ニ關スル次回ノ討論起ルニ及ンデハ此等ノ原理ハ世上ノ人心ニ抗ス可カラザルノ勢力ヲ占メ之ニ反對スル投票一ダニナクシテ議院ノ熱心ニ採用スル所トナソリ一千八百十九年ニ於テハ商業社會ノ覆フ所ノ輿論ハ地金報告書ノ原理ニ傾同シ頑固ニ之ニ服スルヲ拒ミシ者ハ單ニ一組ノ人即英蘭銀行取締役會ノ多數アルノミニ至レリ蓋取締役中ノ六人ハ委員ノ諮問ニ應シテ此等ノ原理ヲ是認スルノ答辨ヲ爲シタリト雖尙ホ取締役會ノ多數ハ醫ス可カラザルノ頑固ヲ以テ最後ノ凌辱ヲ此等ノ原理ニ加ヘント決心シ余ガ前文ニ引擧セシ如キ決議ヲ爲セリ而テ真理ノ光線英蘭銀行ノ會室ニ注入スルニ至ルマデニハ爾後更ニ八ヶ年ノ星霜ヲ經過セリ然レニ遂ニ一千八百二十七年ニ至リ英蘭銀行ハ其旗ヲ卷キ一千八

百十九年ニ爲シタリシ決議ヲ嚴正ニ其記録簿中ヨリ剛除セザル可カラザルニ至レリ吾輩ノ既ニ見タリシ如ク貨幣下落ノ爲メニ地金相場騰貴シ爲替相場下落スルノ理ハ一千六百九十六七年ノ商人并ニ政治家及前世紀ノ經濟學者ノ能ク之ヲ了解セシ所ナリ故ニ爾來有力ニシテ且公明直實ナル人が彼レノ如ク久シク陥リシ所ノ謬見ハ如何ナル者ナルヤ又一千六百九十六年ヨリ一千八百十一年マデノ間ニ正確ナル真理ノ世ニ埋没シテ再ヒ根本ヨリ此問題ヲ論セザル可カラザルニ至ラシメシ原因ハ如何ナル者ナルヤヲ穿鑿スルハ甚興味アル所タル可シ憶フニ之ヲ然ラシメシ者ハ一千六百九十六年ノ人ハ貨幣實際ノ量目ガ其正常ニ含マザル可カラザル量目ノ半額ニ越ヘザリシヲ見ルヲ得シト雖一千八百十一年ノ人ハ銀行紙幣ガ正貨ニ對シテ或ル一定ノ割合

ヲ有スル時ニ於テ始テ其價值ヲ維持シ得ル者タルヲ悟ル能  
 ハザリシニ因ル可シ即一千八百十一年ノ人ハ銀行紙幣ノ數額  
 過多ナルキハ金ニ對スル其價值ヲ減少スル者ニシテ其表スル  
 ト唱フル金ニ比シテ約束タル銀行紙幣ノ價值ノ此減少ハ恰モ  
 他物ヲ雜ヘシガ爲メ若クハ其含ム地金ノ量目不足ナルガ爲メ  
 ニ正貨劣惡トナルト理ニ於テ毫モ異ナルナキヲ悟ル能ハザ  
 リシナリ若シ夫レ英蘭銀行紙幣ニシテ價值ノ尺度トナリシ以  
 上ハ此紙幣ガ市場ニ於テ其表スルト唱フル丈ケノ地金ノ量目  
 ナ買ヒ得ルヲ最モ必要ナリトス然ルニ銀行紙幣ヲ以テ仕拂フ  
 キハ地金ノ直段五磅十志ニ騰貴セルヲ見レバ此紙幣タルヤ恰  
 モウイレルム三世ノ時代ニ於テ其量目ノ二割五分ヲ失ヒシ所ノ  
 貨幣ト同様ノ地位ニ在ルヤ明ナリ而テ貨幣量目ノ減少ハ肉眼  
 以テ之ヲ知ルヲ得ルト雖「仕拂フ可キ約束」ノ價值ノ減少ニ至テ

ハ論理及智力ノ眼ヲ以テスルニ非ズンバ之ヲ知ルヲ能ハズ故  
 ニ紙幣ノ下落ハ久シク人ノ看破ヲ免レ此等ノ人ハ誠ニ紙幣ノ  
 下落セルヲ信セザリシナリ  
 余ハ地金報告書ノ原理ハ適當ニ案説ト稱ス可キ者ニ非スシテ  
 純理ト稱ス可キ者タルヲ一言シ以テ此長クシテ而カモ最モ  
 緊要ナル論辨ノ局ヲ結ブ可シ諸種ノ詩歌ヤ繪畫ヤ音樂ノ優劣  
 ニ關シテハ最モ秀絶ナル嗜好及判斷ヲ有スル人ト雖互ニ大ニ  
 其意見ヲ異ニス可シ蓋此等ノ事ニ關シテハ據テ以テ其是非ヲ  
 判ス可キ純正ナル標準ナキガ故ニ何人ト雖互ニ異ナル意見ノ  
 當否ヲ決スルノ仲裁者タル能ハサルナリ又假令斯カル純正ナ  
 ル標準アルニモセヨ尙ホ未タ發見セラレザルナリ詩人ヤ藝術  
 家ヤ音樂家ハ互ニ相異ナル諸種ノ心性ニ支配セラル、モノニ  
 シテ其優劣ヲ判ス可キ過失ナキ標準ノ存スルナシ政治學ニ於

ケルモ亦斯ノ如クニシテ如何ナル政躰ガ至美至善ナル乎如何ナル政躰ガ或ル特別ノ國民ニ最モ適スル乎ハ全ク案說臆斷ニ屬スルノ事タリ然レモ地金報告書ニ於テ設置セラレタル貨幣學ノ原理ハ全ク之ト性質ヲ異ニシ争フ可カラザル幾何學的ノ純理ナリ此等ノ原理ハ案說ナル語ノ正當ノ意義ニ從テ案說ト稱ス可キ者ニ非ザルコトハ猶ホ幾何學ノ原則ノ案說ト稱ス可カラザルガ如シ此等ノ事ニ關シハ眞偽是非ヲ判ス可キ純正ナル標準アルコトハ承認セラレ、所ナリ蓋他ノ點ニ於テハ能力ニ富メル卓越ナル人ニシテ其心性組織ノ然ラシムル所ヨリ據テ以テ幾何學上ノ或ル有名ナル原則ヲ確立セシ所ノ論理ヲ會得スル能ハザルコト往々之アリ然レモ幾何學ノ原則ヲ駁スル小冊子ヲ著ハセシ如キ人ハ吾人曾テ之アルヲ聞カザルナリ而テ地金相場ニ徴シテ紙幣ヲ序理セザル可カラズト云フ有名ナル原理

ハ是レ争フ可カラザルノ純理ニシテ之ヲ駁スル小冊子ヲ記スルノ無益ナルハ猶ホ幾何學ノ原則ヲ駁スル小冊子ヲ記スルノ無益ナルガ如シ近世ノ一記者ノ說ニ曰此問題ニ關シテハスキッソン氏及地金調査委員ノ根本ノ誤謬ハ其確則トノ設置セシ所ノ紙幣下落ノ尺度ハ金ノ市價ト其造幣價トノ差額ニ在リト云ヘル原理ニ存ス」ト蓋此說ノ愚ナルハ猶ホ「コッケル氏及爾後ノ數學者ノ根本ノ誤謬ハ其確則トノ採用セシ所ノ二十一ハ二十一ニ同シト云ヘル原理ニ存ス」ト云フノ愚ナルガ如シ而テ該記者更ニ一步ヲ進メ「如何トナレバ銀行紙幣ハ假令党派心ヲ以テ如何ニ之ヲ下落セリト主張スルアルモ決シテ正貨ニ對シテ其價值下落セザリケレバナリ」ト云フニ至テハ是レ唯無數ノ事實ノ偽妄ナリト證セシ所ノ說ヲ爲スニ外ナラザルノミ

一千七百九十年ヨリ一千八百十九年ニ至ルマデノ地金直



一八一九年一月廿二日	一八一九年二月六日	一八一九年三月十三日	一八一九年三月廿三日	一八一九年四月九日	一八一九年四月廿三日	一八一九年五月十三日	一八一九年五月十五日	一八一九年五月廿四日
四	四	四	四	四	三	三	三	三
三	二	二	一	〇	九	八	九	〇
〇	〇	六	〇	〇	〇	六	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一八一九年九月五	一八一九年八月一	一八一九年七月六	一八一九年六月一	一八一九年五月一	一八一九年四月一	一八一九年三月一	一八一九年二月一	一八一九年一月一
九	八	九	九	九	九	九	八	七
五	〇	三	一	〇	〇	〇	〇	四

第十章 一千八百十九年紙幣兌換再始條例ノ發布ヨリ一

千八百四十四年ノ銀行條例發布マデ

往時ノ價值ノ本位ニ複シテ以テ國家ノ誠信ヲ維持スルノ大業  
 ハ一般頌贊ノ間ニ成就セラレシト雖此事ノ法律トナルヤ否ヤ  
 不幸ニシテ多種產物ノ需要供給ノ割合上ニ非常ニ甚シクシテ  
 且久シキニ續キタル攪擾起リ而テ此非常ナル攪擾ノ避ク可  
 カラザル結果トシテ物品段直激烈ニ動搖シタリケレバ之ガ爲  
 メニ世上ノ難害ヲ起シ一千八百十九年ノ條例ノ反對者ハ此機  
 ニ投シテ大ニ勢力ヲ加ヘ政府ヲシテ此條例ノ未タ十分ニ實行  
 セラレザルニ先テ之ニ干涉セシメントスルニ至レリ  
 一千八百十五年及十六年ニ於テ國內大部ノ製產者全ク斃レシ  
 カバ爲メニ甚シキ困窮ヲ起シ人民ノ消費力ヲ非常ノ度ニマテ  
 減少シタリ左レバ一千八百十六年ニ於テ重モナル消費品ノ輸  
 入高ハ多クハ一千八百十四年ノ半額ニダモ達セザリキ而テ一



千八百十七年ニ於テ一般ノ繁榮回復セントスルニ際シ其供給ノ足ラザリシガ爲メニ商品ノ直段一般ニ且速ニ騰貴セリ故ニ又避ク可カラザルノ結果續ヒテ起リ投機取引再ヒ振ヒ且一千八百十八年ニ於テ穀物缺乏ノ見込ミアリシガ爲メニ更ニ助長セラレタリ蓋五月ヨリ九月ニ亘リテ旱魃續キケレバ爲メニ收穫ノ大半ヲ破リタリト想像セラレ其上ニ外國產物ノ輸入高非常ニ少ナカリシヲ以テ各種農產物ノ直段ハ格外ノ高點ニ騰貴セリ獨リ小麥ハ外國ヨリ巨額ノ輸入アリ且内地ノ收穫豫期セラレシヨリモ遙ニ豊ナリシカバ其直段寧ロ下落セシト雖他ノ農產物ニ至テハ悉ク非常ノ高點ニ達シ一千八百十八年十二月ニ於テハ大麥ハ六十三志六片トナリ燕麥ハ五十三志トナリ蠶豆ハ七十六志トナリ豌豆ハ七十志トナリキ我國ニ於テ直段斯ノ如クニ騰貴セシカバ一千八百十八年ノ晚末ニ至リ極メテ巨

額ノ輸入ヲ起セリ即殖民地及外國ヨリセル輸入高ハ其再輸出セラレシ者ヲ扣除スルモ尙ホ一千八百十六年ノ一倍以上ニ達セリ商品直段ノ高低ガ顯然其勢ヲ示スニ先チテ多少久キニ亘レル不進不退ノ一時期アルヲ猶ホ潮水ノ満干スルニ先チテ姑ク澁滯スルガ如シト云ヘルトツク氏ノ説ハ眞ニ至言ナリ若シ直段最高點ニ達スルキハ買人之ニ從フヲ欲セス若シ又直段最低點ニ達スルキハ賣人之ニ從フヲ欲セズシテ賣買ノ甚行ハレ難キ一時期アリ而テ一千八百十八年ヨリ十九年ニ亘ル秋冬ノ交ニ在テハ此類ノ脱合ヒノ商况行ハレ紙幣兌換再始ノ條例可決セラレシ時ニ當テハ直段昇降ノ趨勢既ニ決シテ下落シツ、アリキ

以上過度ナル輸入ニ續ヒテ之ガ通常ノ結果起レリ蓋輸入商人ハ物品直段ノ一千八百十七年ノ如クナラントナリ期シ此等ノ直

段ニ基キテ製産者ニ注文ヲ與ヘタリシニ收穫ノ市場ニ供出セラル、ニ及ンテ物品直段既ニ下落シタリシカバ一千八百十九年ニ於テハ英國及米國ニ在テ共ニ破産ノ數甚多カリキ蓋此ノ如キハ物品缺乏ノ爲メニ起リタル直段騰貴ノ有様ヨリ物品過剩ノ爲メニ起リタル直段下落ノ有様ニ遷移スル際ニ於テ常ニ免レザル所タリ然レモ該年ノ秋季ニ至リ商業上ノ信憑漸ク回復セリ而テ一千八百十八年ニ於テ小麥ノ輸入多カリシガ爲メニ一千八百十九年ニ至テ其直段稍下落シタリト雖尙ホ八月ノ直段ハ七十五志ニシテ全年ノ平均ハ七十二志ナリキ此直段ハ翌二十年八月マテハ小高下アリシ耳ニテ依然トシテ續キ即此時ニ於テモ尙ホ七十二志ナリキ是レ實ニ議院ノ討論及紙幣兌換再興ノ條例ガ穀物ノ直段ニ何等ノ影響ヲモ及ホサザリシトノ争フ可カラザル確證ナリ英蘭銀行ハ一号ニ付四磅一志ノ割

合ニ從ヒ地金ヲ以テ其紙幣ヲ兌換スルヲ許サレシト雖一千八百十九年八月ニ於テハ地金ノ直段三磅十七志十片半ニ下落シ一千八百二十二年六月マデハ此直段ニテ續キ此時ニ至テ更ニ三磅十七志六片ニ下落シタルヲ以テ實際市場ニ於テハ既ニ金紙ノ間ニ平均ヲ復シタリシナリ而テ一千八百十六七年ノ交ニ在テハ紙幣ノ實價ハ其呼價ヨリモ下ルヲ僅ニ二三片ニシテ爾來其下落五分ノ上ニ出デシヲナキテ記憶セザル可カラズ一千八百二十年ノ春季ハ不順ニシテ植物ノ成育大ニ後レ此有様六月十八日マデ續キシニ恰モ小麥花ヲ開キ歲ノ豐歉決スルノ節柄タル此時ニ至リ温暖ニシテ且快晴ナル天氣起レリ而テ七月ニ至リ天氣稍霖濕ナリシカバ收穫ノ凶ナラシテ恐レテ小麥ノ直段七十二志ニ騰貴セシト雖八月ノ初メニ至リ天氣快晴トナリ爾後小麥ノ熟シ之ヲ刈ルノ時ニ至ルマテ常ニ好順ナリ

キ故ニ收穫非常ニ豊登ニシテ且其質亦非常ニ精良ナリキ而テ  
 此歳ノ收穫斯ク豊登ナリシトハ二三年後ニ至ルマデハ十分ニ  
 知ラレザリシガ此時ニ至ルモ其收穫尙ホ全ク盡キザリキ今最  
 モ信ヌ可キ説ニ據ルニ一千八百二十年ノ收穫ハ例年ノ上ニ出  
 ツルト三分ノ一ナリシト云ヘリ是ニ於テ乎一千八百十九年八  
 月ニ七十二志ナリシ小麥ノ直段一千八百廿一年七月ニ至テ五  
 十一志ニ下落セリ而テ一千八百二十一年五月六月七月ノ交ニ  
 在テハ天氣冷濕ニシテ收穫大ニ後レ九月ニ至テ小麥ノ直段六  
 十二志ニ騰貴セリ然ルニ此年ノ收穫ハ質甚惡シカリシト雖モ  
 量ハ甚多カリキ而テ一千八百二十年ノ餘穀尙ホ甚多カリシカ  
 爲メニ一千八百二十一年ノ晩末ニハ小麥ノ直段五十志ニ下落  
 シ翌二十二年八月ニハ更ニ四十二志ニ下落セリ且一千八百二  
 十二年ノ收穫ハ質良ク量豊ニシテ其收穫ノ期早ク未タ前年ノ

收穫ノ盡キザル久シキ以前ニ之ヲ取入レタリ加之愛爾蘭ヨリ  
 ノ輸入未曾有ノ度ニ達シタリ蓋一千八百十七年ニハ英蘭ヨリ  
 愛爾蘭ニ穀物ヲ輸出セザルヲ得ザリシニ一千八百二十年及二  
 十一年ニ於テハ愛爾蘭ヨリ英蘭ニ諸種ノ穀物合計四百萬クォー  
 ター以上ヲ輸入セリ左レハ此事ノ當然ニシテ避ク可カラザル  
 結果ハ各種農産物直段ノ非常ノ下落ニシテ小麥ハ一千八百二  
 十二年ノ晩末ニハ三十八志ニ下落セリ  
 一千八百二十年間ニ英蘭銀行庫中ニ正金ノ積集セルト甚大ナ  
 リシヲ以テ一千八百二十一年ノ初メニ及ビ取締役ハ紙幣兌換  
 ヲ再始シ得可シト爲スニ至レリ是ニ於テ乎一條例ヲ發シ一千  
 八百二十三年ヲ俟タズシテ二十一年五月一日ヨリ紙幣兌換ヲ  
 再始スルヲ許セリ而テ此時ニ至ルマデニ政府ハ英蘭銀行ニ  
 對スル負債中一千萬磅ヲ償還セリ蓋該銀行取締役ヲシテ其紙

幣ヲ減少スルヲ得セシメンニハ先ツ政府ニ於テ此負債償還ヲ行フヲ必要トスルコトハ各人ノ凡テ然リトセシ所ナリ而テ一千八百二十一年第二十六號ノ此條例ヲ以テ制定シテ曰英蘭銀行ハ一千八百二十一年五月一日ヨリ金貨ヲ以テ紙幣兌換ヲ再始スルヲ得可シ曰金貨ヲ以テ仕拂ハンコヲ申出サレタル人ハ金塊ヲ要求スルノ權利ヲ有セズ曰英蘭銀行ニ於テ金貨ヲ以テ仕拂ハンコヲ申出サレタル場合ニ於テハ金塊ヲ要求スルノ權利ハ從前ノ如クニ存ス可シト又此條例ヲ以テ正貨ノ輸出ニ關スル最後ノ障害ヲ除去シ又大額紙幣ヲ持參シテ兌換ヲ請フ者アルキハ英蘭銀行ハ一磅紙幣若クハ金貨ヲ以テ之ヲ兌換セザル可カラザルコト爲セリ然レモ其一磅紙幣ヲ以テスルト金貨ヲ以テスルトハ該銀行ノ隨意ニ任ス可キコト爲セリ

農産物非常ノ缺乏久シキニ亘リシト一千八百一十二年ノ頃ニ

於テ大ニ下落セル紙幣ヲ以テ仕拂ヲ爲セシトノ二事情相合シテ農産物ノ直段格外ニ騰貴シタリケレバ之ガ爲メニ農業上ニ非常ノ投機取引ヲ起セリ左レバ巨費ヲ冒シテ荒蕪ノ地ヲ開拓セシ者多クシテ此等ノ巨費ハ穀物ノ饑饉直段續クニ非ズンバ決シテ之ヲ償フニ由ナキ者ナリ而テ借地料及負債ノ如キモ同様ノ勢ヲ以テ増加シ農夫地主其他各階級ノ農民ハ何レモ高直段ノ續ク可キヲ豫期シテ其出費ヲ増加シ財産ヲ妻子ニ配與スルコト及ヒ土地ヲ抵當トスルコトノ如キモ大ニ行ハレタリ然ルニ平和後農産物一層豐ナリシト腐敗セル地方銀行紙幣ノ通用止ミシトノ故ヲ以テ各種農産物ノ直段俄然下落シ農業ニ關係セル各人ハ凡テ零落ノ境ニ陥ラントセリ是ヲ以テ一千八百十五年ノ穀物條例激烈ナル討論ヲ經シ後チ遂ニ可決セラレタリ抑此條例ノ企圖セシ所ハ小麦直段ノ「クォーター」ニ付八十志以下